



MB2770、MX721、MX722、 MX725、XM5365、XM5370 MFP

ユーザーズガイド

2018 年 12 月

www.lexmark.com

機種番号:

7464

モデル:

036、037、096、336、337、388、396、836

目次

安全情報.....	7
表記規則.....	7
製品ステートメント.....	7
プリンタの詳細.....	10
プリンタに関する情報を見つける.....	10
プリンタの設置場所を選択する.....	11
プリンタ構成.....	12
ケーブルを接続する.....	14
操作パネルを使用する.....	15
電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する.....	16
ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する.....	17
ホーム画面を使用する場合.....	17
ホーム画面をカスタマイズする.....	18
[カードコピー]を設定する.....	18
ショートカットナビを使用する.....	18
ディスプレイのカスタマイズを使用する.....	19
スキャンセンターを設定する.....	19
Cloud Connector プロファイルの作成.....	20
デバイスの数量制限を設定する.....	20
QR コードジェネレータを使用する.....	20
[エコ設定]を設定する.....	21
カスタマサポートの利用.....	21
ブックマークを管理する.....	21
連絡先を管理する.....	22
ユーザー補助機能を設定して使用する.....	25
音声ガイダンスを有効にする.....	25
ジェスチャを使用して画面を操作する.....	25
拡大モードを有効にする.....	26
音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する.....	26
ディスプレイのキーボードを使用する.....	26
音声のパスワードまたは個人識別番号を有効にする.....	26

用紙と特殊用紙をセットする.....	27
特殊用紙のサイズとタイプを設定する.....	27
ユニバーサル用紙設定を構成する.....	27
250 枚または 550 枚トレイに用紙をセットする.....	27
2100 枚トレイに用紙をセットする.....	30
多目的フィーダーに用紙をセットする.....	34
トレイのリンク.....	35
用紙サポート.....	37
サポートされている用紙サイズ.....	37
サポートされている用紙タイプ.....	38
サポートされている用紙の重さ.....	39
印刷.....	40
コンピュータから印刷する.....	40
モバイルデバイスから印刷する.....	40
フラッシュドライブから印刷する.....	41
サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ.....	42
コンフィデンシャルジョブを設定する.....	43
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する.....	43
Cloud Connector プロファイルからの印刷.....	44
フォントサンプルリストを印刷する.....	44
ディレクトリリストを印刷する.....	44
コピー.....	45
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	45
コピーを作成する.....	45
写真をコピーする.....	45
レターヘッド紙にコピーする.....	45
用紙の両面にコピーする.....	46
コピーを縮小または拡大する.....	46
丁合印刷する.....	46
コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する.....	46
1 枚の用紙に複数ページをコピーする.....	46
コピーショートカットを作成する.....	47

E メールで送信する.....	48
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	48
E メール機能を設定する.....	48
E メール設定を構成する.....	48
E メールを送信する.....	49
E メールショートカットを作成する.....	49
FAX.....	50
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	50
プリンタを設定して FAX を送信する.....	50
Fax を送信する.....	56
FAX の予約送信.....	57
FAX 宛先のショートカットを作成する.....	57
FAX の解像度変更.....	57
FAX の濃度を調整する.....	57
FAX ログの表示.....	58
迷惑 FAX のブロック.....	58
FAX の保留.....	58
Fax の転送.....	58
スキャン.....	59
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	59
FTP サーバーへのスキャンデータの送信.....	59
FTP ショートカットを作成する.....	59
フラッシュドライブにスキャンする.....	60
スキャンして FAX サーバーに送信する.....	61
スキャン文書をコンピュータに送信する.....	61
Cloud Connector プロファイルにスキャンする.....	61
プリンタメニューを理解する.....	62
メニューマップ.....	62
デバイス.....	63
印刷.....	73
用紙.....	81
コピー.....	83
FAX.....	86

E メール.....	98
FTP.....	105
USB ドライブ.....	109
ネットワーク/ポート.....	114
セキュリティ.....	126
レポート.....	134
ヘルプ.....	135
トラブルシューティング.....	136
メニュー設定ページを印刷する.....	136
プリンタを保護する.....	137
セキュリティスロットの場所.....	137
プリンタメモリを消去する.....	137
プリンタハードディスクメモリを消去する.....	137
プリンタのハードディスクを暗号化する.....	137
初期状態のデフォルト設定を復元する.....	138
揮発性に関する記述.....	138
プリンタのメンテナンス.....	139
スピーカー音量の調整.....	139
ネットワーク.....	139
シリアル印刷を設定する (Windows のみ).....	141
プリンタ部品の清掃.....	142
部品と消耗品を注文する.....	145
消耗品を交換する.....	149
プリンタを移動する.....	174
電力と用紙を節約する.....	175
リサイクル.....	176
紙詰まりを取り除く.....	177
紙詰まりを防止する.....	177
紙詰まりの場所を確認する.....	178
トレイの紙詰まり.....	180
ドア A の紙詰まり.....	180
ドア C の紙詰まり.....	183
標準排紙トレイの紙詰まり.....	184
多目的フィーダーの紙詰まり.....	185

ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり.....	186
トラブルシューティング.....	188
ネットワーク接続の問題.....	188
ハードウェアオプションの問題.....	190
消耗品の問題.....	191
給紙の問題.....	192
印刷の問題.....	195
FAX に関するトラブル.....	227
スキャンに関するトラブル.....	229
カスタマサポートに問い合わせる.....	234
アップグレードと移行.....	235
ハードウェア.....	235
ソフトウェア.....	248
ファームウェア.....	248
付録.....	250
索引.....	256

安全情報

表記規則

メモ: メモは、役立つ情報を示します。

注意: 注意は、製品本体またはソフトウェアに障害を与える可能性のある場合を示します。

警告: 警告は、人体に損傷を与える可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。

以下の警告文があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 損傷の危険性を示します。

 **注意—感電危険:** 感電の危険性を示します。

 **注意—表面高温:** 接触した場合、火傷を起こす危険性を示します。

 **注意—転倒危険:** 押しつぶしの危険性を示します。

 **注意—挟み込み危険:** 動作している部品の上に挟まれる危険があることを示します。

 **注意—ファンブレード回転:** 動作中のファンブレードにより負傷する危険があることを示します。

製品ステートメント

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の近くにあって簡単にアクセスでき、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを接続してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品をご使用の際は、延長コードや、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に電力容量を超過してしまい、火災、機器の故障、プリンタの性能低下などの原因になる可能性があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品とともに使用できるのは、プリンタと付属の電源コードの間に適切に接続できる Lexmark インラインサージプロテクタのみです。Lexmark 以外のサージプロテクタを使用すると、火災、物的損傷、プリンタの性能低下などが起こるおそれがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアで使用する場合は、ケーブルはオーストラリア通信メディア庁によって承認されているものである必要があります。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、電話など、電気的な接続を行わないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷のときは、FAX を使用しないでください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 18 kg (40 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動するときは、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
- プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
- プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
- プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
- プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
- 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
- オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。
- 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
- プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

 **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

 **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

 **注意—挟み込み危険:** 挟み込みを防止するため、このラベルが貼られている作業領域では、十分注意してください。挟み込みによる負傷は、ギア、ドア、トレイ、およびカバーなどの動作している部品の周りで起こる可能性があります。

 **注意—ファンブレード回転:** 動作中のファンブレードで負傷することがないように、この記号でマークされている場所にアクセスする前に、プリンタの電源をオフにして、コンセントから電源コードを外してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品はレーザーを使用しています。『ユーザーズガイド』に記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計、テスト、承認されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

この製品は、通常の操作中に少量のオゾンが発生する可能性があるため、推奨される被爆制限値をはるかに下回るレベルまでオゾンの濃度を抑制するよう設計されたフィルタが取り付けられています。非常に頻繁に使用してもオゾンの濃度レベルが高くないよう、この製品は換気のよいエリアに設置し、製品の保守説明に記載されているとおり、オゾンおよび排気フィルタを交換してください。フィルタに関する記述が製品の保守説明に見当たらない場合、この製品には交換が必要なフィルタが搭載されていないことを意味します。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタの詳細

プリンタに関する情報を見つける

検索する場所	入手先
初期セットアップ手順： - プリンタに接続する - プリンタソフトウェアをインストールする	詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照するか、 http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタを使用するための詳細な設定および手順： - 用紙および特殊用紙を選択して保存する - 用紙をセットする - プリンタ設定を構成する - ドキュメントおよび写真を表示して印刷する - プリンタソフトウェアをセットアップして使用する - ネットワーク上でプリンタを構成する - プリンタの手入れと保守を実施する - 問題に対処して解決する	情報センター— http://infoserve.lexmark.com にアクセスします。 [ヘルプ]メニューページ—プリンタのファームウェアのガイドを参照するか、 http://support.lexmark.com を参照してください。 タッチ画面ガイド— http://support.lexmark.com を参照してください。 製品ビデオ— http://infoserve.lexmark.com/idv/ を参照してください。
プリンタのユーザー補助機能のセットアップと設定に関する情報	Lexmark アクセシビリティガイド— http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ	Microsoft® Windows® または Macintosh のオペレーティングシステムのヘルプ—プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[ヘルプ]をクリックします。  をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。 メモ： - ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 - オペレーティングシステムに応じて、プリンタソフトウェアは、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップに配置されます。

検索する場所	入手先
最新の補足情報、更新、およびお客様サポート: • マニュアル • ドライブダウンロード • ライブチャットサポート • E メールサポート • 電話サポート	http://support.lexmark.com を参照してください。 メモ: 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。お住まいの国または地域を担当するサポートの連絡先情報については、Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書でご確認ください。 カスタマサポートにお問い合わせの際には、次の情報を手元に用意しておいてください。 • ご購入の場所と日付 • プリンタタイプとシリアル番号 
• 安全情報 • 規制情報 • 保証情報 • 環境情報	保証情報は国または地域によって異なります。 • 米国—プリンタに同梱されている『限定保証宣言』を参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。 • その他の国および地域—プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。 『製品情報ガイド』—詳細については、プリンタに同梱されているマニュアルを参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。

プリンタの設置場所を選択する

プリンタの設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、およびドアが開けて、ハードウェアオプションを取り付けるため十分なスペースがあることを確認します。

- プリンタをコンセントの近くにセットします。

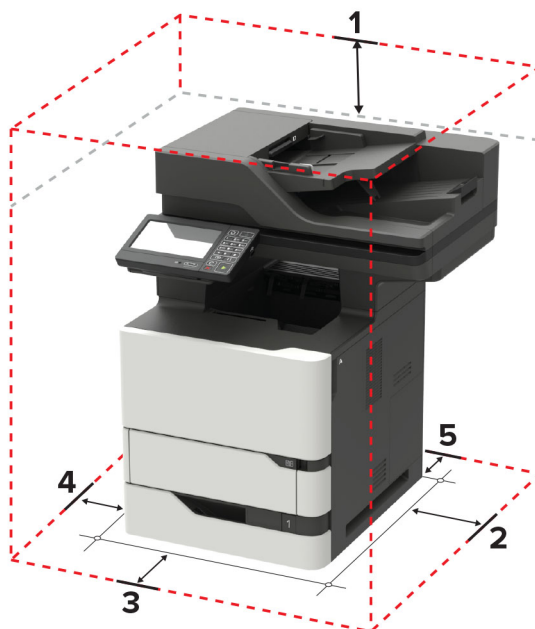
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険をさけるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
 - ホチキスや紙クリップを近くに置かない。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
 - 直射日光、極度の湿気を避ける。
- 推奨温度になるように観察し、変動しないようにします。

周辺温度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F)
保管温度	-40 ~ 43.3°C (-40 ~ 110°F)

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	上部	152 mm (6 インチ)
2	右側	152 mm (6 インチ)
3	正面	406 mm (16 インチ) メモ: プリンタの前面に必要な最小スペースは 75 mm (3 インチ) です。
4	左側	152 mm (6 インチ)
5	背面	152 mm (6 インチ)

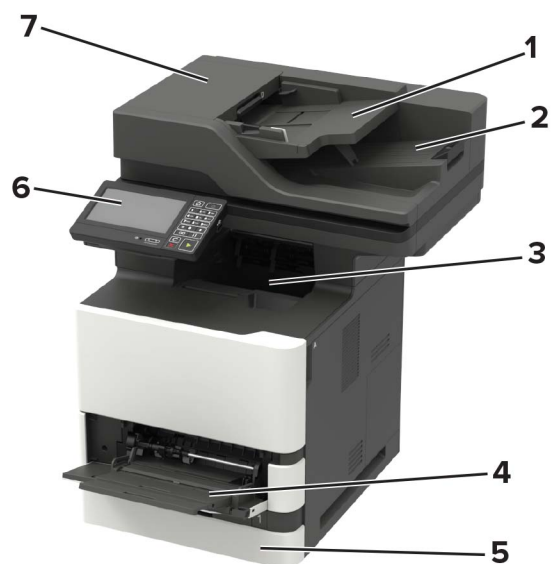
プリンタ構成

注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

注意—転倒危険: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

オプションの 250 枚、550 枚、または 2100 枚トレイを追加して、プリンタを構成できます。(⇒『[250 枚または 550 枚トレイを取り付ける](#)』、[244 ページ](#)』または『[2100 枚トレイを取り付ける](#)』、[245 ページ](#)』)。

基本モデル



1	ADF(自動原稿フィーダー)トレイ
2	ADF 排紙トレイ
3	標準排紙トレイ
4	多目的フィーダー
5	標準 550 枚カセット
6	操作パネル
7	ADF

構成されたモデル



1	オプションの 2100 枚トレイ
2	キャスターベース
3	オプションの 250/550 枚力セット

オプションのトレイを使用する場合：

- 2100 枚トレイで構成されている場合は、必ずキャスターベースを使用してください。
- 2100 枚トレイは常に構成の最下位に位置し、オプションの 250 枚または 550 枚トレイのいずれか 1 台のみと併用できます。
- オプションの 250 枚または 550 枚トレイを合計 3 つ組み合わせ、任意の位置に取り付けできます。

ケーブルを接続する

⚡ 注意—感電危険： 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電氣的接続、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり： 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり： 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

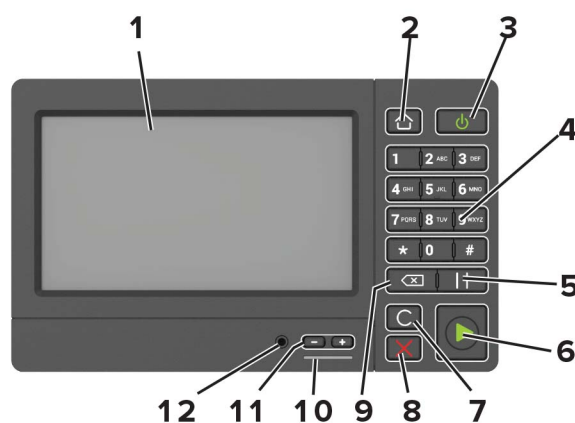
⚠ 注意—傷害の恐れあり： 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

警告—破損の恐れあり： データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、印刷を実行している間は、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、またはプリンタの以下のエリアに触れないでください。



	項目	目的
1	電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。
2	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。
3	イーサネットポート	プリンタをネットワークに接続します。
4	USB ポート	キーボードまたは互換性のあるオプションを接続します。 メモ: このポートは、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。
5	LINE ポート	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または Fax を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。

操作パネルを使用する



	項目	目的
1	ディスプレイ	- プリンタのメッセージと消耗品の状態を表示します。 - プリンタを設定して操作します。
2	[ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3	電源ボタン	- プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 - メモ: プリンタの電源を切るには、電源ボタンを 5 秒間押し続けます。 - プリンタのスリープモードまたは休止モードを設定します。 - スリープモードまたは休止モードからプリンタを復帰します。
4	キーパッド	入力欄に数字または記号を入力します。

	項目	目的
5	[ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
6	[スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
7	[すべてクリア]または[リセット]ボタン	コピー、FAX、スキャンなどの機能の初期設定をリセットします。
8	[ストップ]または[キャンセル]ボタン	現在のジョブを停止します。
9	バックスペースボタン	カーソルを後ろに移動し、入力欄の文字を削除します。
10	インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。
11	音量ボタン	ヘッドセットまたはスピーカーの音量を調整します。
12	ヘッドセットまたはスピーカーポート	ヘッドセットまたはスピーカーを接続します。 メモ: プリンタ機器によりこの機能が無いものもあります。

電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する

インジケータランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタは、オフまたは休止モードです。
青	プリンタは、準備ができているかデータの処理中です。
赤	ユーザーによるプリンタ操作が必要です。

電源ボタンのランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタはオフか、準備ができているか、データの処理中です。
黄色で点灯	プリンタは[スリープ]モードです。
黄色で点滅	プリンタは[休止]モードです。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

ホーム画面を使用する場合

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。



タッチ		目的
1	コピー	コピーを作成します。
2	E メール	E メールを送信します。
3	設定	プリンタのメニューを表示します。
4	FAX	FAX を送信します。
5	アドレス帳	プリンタの他のアプリケーションがアクセスできる連絡先リストを管理します。
6	状況/消耗品	- プリンタで処理を続行するために操作が必要な場合には、必ずプリンタ警告またはエラーメッセージが表示されます。 - プリンタ警告またはメッセージの詳細と解決方法を示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
7	USB ドライブ	- フラッシュドライブ上の写真やドキュメントを印刷します。 - 写真やドキュメントをスキャンしてフラッシュメモリに保存します。
8	ジョブのキュー	現在の印刷ジョブをすべて表示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
9	保持されたジョブ	プリンタメモリに保留中の印刷ジョブを表示します。
10	ショートカットナビ	すべてのショートカットを整理します。
11	アプリのプロファイル	アプリケーションのプロファイルにアクセスします。
12	スキャンプロファイル	ドキュメントをスキャンして、直接コンピュータに保存します。
13	FTP	ドキュメントをスキャンして、直接 FTP サーバーに保存します。

タッチ		目的
14	ブックマーク	すべてのブックマークを整理します。
15	言語を変更	ディスプレイの言語を変更します。

ホーム画面をカスタマイズする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [デバイス] > [表示されたホーム画面のアイコン]をクリックします。

- 3 ホーム画面に表示させたいアイコンを選択します。

- 4 変更を適用します。

[カードコピー]を設定する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [カードコピー] > [設定]の順にクリックします。

メモ:

- [アイコンの表示]が有効になっていることを確認します。
- E メール設定とネットワーク共有設定が設定されていることを確認します。
- 1 枚のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 200 dpi 以下、モノクロの場合で 400 dpi 以下になるようにします。
- 複数のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 150 dpi 以下、モノクロの場合で 300 dpi 以下になるようにします。

- 3 変更を適用します。

メモ: 複数のカードをスキャンするには、プリンタのハードディスクが必要です。

ショートカットナビを使用する

- 1 ホーム画面で、[ショートカットナビ]をタッチしてから、プリンタ機能を選択します。

- 2 [ショートカットを作成]をタッチしてから、設定を構成します。

3 [保存]をタッチしてから、一意のショートカット名を入力します。

4 変更を適用します。

ディスプレイのカスタマイズを使用する

アプリケーションを使用する前に、以下を確認してください。

- EWS で、[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]をクリックします。
- スクリーンセーバー、スライドショー、壁紙の設定を有効にして設定します。

スクリーンセーバーとスライドショーの画像を管理する

1 [スクリーンセーバーとスライドショーの画像]セクションで、画像を追加、編集、または削除します。

メモ:

- 最大 10 個の画像を追加できます。
- 有効にすると、エラー、警告、またはクラウドベースの通知がある場合のみ、スクリーンセーバーにステータスアイコンが表示されます。

2 変更を適用します。

壁紙のイメージを変更する

1 ホーム画面で、[壁紙を変更]をタッチします。

2 使用するイメージを選択します。

3 変更を適用します。

フラッシュドライブからスライドショーを実行する

1 フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。

2 ホーム画面から[スライドショー]をタッチします。

イメージがアルファベット順で表示されます。

メモ: スライドショーが開始された後はフラッシュドライブを取り外すことができますが、イメージはプリンタ内に保存されていません。スライドショーが停止した場合は、フラッシュドライブを再度挿入するとイメージが表示されます。

スキャンセンターを設定する

1 ホーム画面で、[スキャンセンター]をタッチします。

2 送信先を選択および作成してから、設定を構成します。

メモ:

- ネットワーク送信先を作成するときは、エラーが発生しなくなるまで設定を検証し、調整するようにしてください。
- 内蔵 Web サーバーで作成された送信先だけが保存されます。詳細については、ソリューションに同梱されているマニュアルを参照してください。

3 変更を適用します。

Cloud Connector プロファイルの作成

プロファイルを作成する前に、プリンタにログインすることをお勧めします。ログイン方式を有効にする方法については、『EWS セキュリティ管理者ガイド』を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[カードコピー]をタッチします。
- 2 クラウドサービスプロバイダを選択します。
- 3 [プロファイルを作成]または  をタッチします。
- 4 一意のプロファイル名を入力します。
- 5 必要に応じて、PIN を入力します。

メモ: ゲストとしてプリンタを使用する場合は、PIN を使用してプロファイルを保護します。

- 6 [作成]をタッチしてから、認証コードをメモします。

メモ: 認証コードは 24 時間のみの有効です。

- 7 Web ブラウザを開き、<https://lexmark.cloud-connect.co> にアクセスします。

- 8 [次へ]をクリックして、利用規約に同意します。

- 9 認証コードを入力し、[接続]をクリックします。

- 10 クラウドサービスプロバイダのアカウントにログインします。

- 11 権限を付与します。

メモ: 認証プロセスを完了するために、72 時間以内にプロファイルを開きます。

デバイスの数量制限を設定する

アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [デバイスの数量制限] > [設定]をクリックします。

- 3 [ユーザアカウント]セクションで、ユーザーを追加または編集し、ユーザーの数量制限を設定します。

- 4 変更を適用します。

メモ: アプリケーションとそのセキュリティ設定を行う方法に関する情報については、『デバイスの数量制限管理者ガイド』を参照してください。

QR コードジェネレータを使用する

アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アプリ] > [QR コードジェネレータ] > [設定]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- 標準設定の QR コード値を選択します。
- QR コード値を入力します。

4 変更を適用します。

[エコ設定]を設定する

1 ホーム画面で、[エコ設定]をタッチします。

2 エコモードを設定するか、または省電力モードのスケジュールを設定します。

3 変更を適用します。

カスタマサポートの利用

1 プリンタのホーム画面で、[カスタマサポート]をタッチします。

2 情報を印刷または E メール送信します。

メモ: アプリケーション設定に関する情報については、『カスタマサポート管理者ガイド』を参照してください。

ブックマークを管理する

ブックマークを作成する

サーバーまたは Web 上に保存されている、頻繁にアクセスするドキュメントを印刷する場合は、ブックマークを使用します。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ブックマークの設定] > [ブックマークの追加]をクリックし、一意のブックマーク名を入力します。

3 アドレスのプロトコルの種類を選択し、以下のいずれかの手順を実行します。

- HTTP および HTTPS の場合は、作成するブックマークの URL を入力します。
- HTTPS の場合、IP アドレスの代わりにホスト名を使用してください。たとえば、「123.123.123.123/sample.pdf」の代わりに「myWebsite.com/sample.pdf」を入力します。また、ホスト名がサーバー証明書の共通名 (CN) の値と一致していることも確認します。サーバー証明書の CN 値の取得の詳細については、Web ブラウザのヘルプ情報を参照してください。
- FTP の場合は、FTP アドレスを入力します。たとえば、「myServer/myDirectory」と入力します。FTP ポートを入力します。コマンドを送信する場合は、ポート 21 がデフォルトのポートです。
- SMB の場合は、ネットワークフォルダのアドレスを入力します。たとえば、「myServer/myShare/myFile.pdf」と入力します。ネットワークドメイン名を入力します。
- 必要に応じて、FTP および SMB の認証タイプを選択します。

ブックマークへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

メモ: アプリケーションでは、以下の種類のファイルがサポートされています。PDF、JPEG、TIFF、HTML ベースの Web ページ。DOCX や XLXS など、その他のファイルタイプは一部のプリンタ機種でサポートされています。

4 [保存]をクリックします。

メモ: ブックマークを管理するには、[ブックマークの設定]をクリックします。

フォルダを作成する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ブックマークの設定] > [フォルダの追加]をクリックし、一意のフォルダ名を入力します。

メモ: フォルダへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

3 [保存]をクリックします。

メモ:

- フォルダ内にフォルダやブックマークを作成することができます。ブックマークを作成するには、[「ブックマークを作成する」、21 ページ](#) を参照してください。
- フォルダを管理するには、[ブックマークの設定]をクリックします。

連絡先を管理する

連絡先を追加する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先]セクションから連絡先を追加します。

メモ: 1 つまたは複数のグループに連絡先を割り当てることができます。

4 必要に応じて、アプリケーションアクセスを許可するためにログイン方式を指定します。

5 変更を適用します。

グループを追加する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先グループ]セクションからグループ名を追加します。

メモ: グループに 1 つまたは複数の連絡先を割り当てることができます。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを編集する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで連絡先名をクリックして、情報を編集します。
- [連絡先グループ]セクションでグループ名をクリックして、情報を編集します。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを削除する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで、削除する連絡先を選択します。
- [連絡先グループ]セクションで、削除するグループ名を選択します。

ユーザー補助機能を設定して使用する

音声ガイダンスを有効にする

操作パネルから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[OK]**を選択します。

キーボードから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **Tab** キーを押してフォーカスカーソルを**[OK]**ボタンに移動し、**Enter** キーを押します。

メモ:

- 音声ガイダンスは、ヘッドホンヘッドホンジャックに挿入しても有効になります。
- 音量を調整するには、操作パネルの下部で音量ボタンを使用します。

ジェスチャを使用して画面を操作する

メモ:

- 音声ガイダンスを有効にしている場合のみ、ジェスチャで操作できます。
- 拡大とパンのジェスチャを使用するには、**[拡大]**を有効にします。
- 文字の入力と特定の設定の調整を行うには、物理キーボードを使用します。

ジェスチャ	機能
ダブルタップ	画面でオプションまたはアイテムを選択します。
トリプルタップ	文字とイメージを拡大/縮小します。
右または下にスワイプ	画面で次のアイテムに移動します。
左または上にスワイプ	画面で前のアイテムに移動します。
パン	画面の限界を超えて拡大してイメージの特定の部分を表示します。 メモ: このジェスチャでは、拡大/縮小したイメージをドラッグするために 2 本の指で操作する必要があります。
上にスワイプして左	アプリケーションを終了してホーム画面に戻ります。
下にスワイプして左	• ジョブをキャンセルします。 • 前の設定に戻ります。 • 設定または値を変更せずに、表示された画面を終了します。
上にスワイプして下	音声のプロンプトを繰り返します。

拡大モードを有効にする

- 1 操作パネルで、音声メッセージが聞こえるまで 5 キーを長押しします。
- 2 [拡大モード]を選択します。
- 3 [OK]を選択します。

拡大した画面を操作する方法の詳細については、[「ジェスチャを使用して画面を操作する」](#)、25 ページ を参照してください。

音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [ユーザー補助機能] > [スピーチ速度]を選択します。
- 2 スピーチ速度を選択します。

ディスプレイのキーボードを使用する

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 指をキーにドラッグすると、その文字が発音されます。
- 画面から指を離してその文字を入力するか、フィールドに文字を打ち込みます。
- 文字を削除するには、**Backspace** キーを押します。
- 入力フィールドの内容を聞くには、**Tab** キーを押して次に **Shift + Tab** キーを押します。

音声のパスワードまたは個人識別番号を有効にする

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [ユーザー補助機能] > [パスワード/PIN を発声]を選択します。
- 2 設定を有効にします。

用紙と特殊用紙をセットする

特殊用紙のサイズとタイプを設定する

トレイが自動的に普通紙のサイズを検知します。特殊用紙(ラベル、厚紙、封筒など)の場合は次のようにします。

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[設定] > [用紙] > [トレイ構成] > [用紙のサイズ/タイプ] > で給紙源を選択
- 2 特殊用紙のサイズとタイプを設定します。

ユニバーサル用紙設定を構成する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [メディアの構成] > [ユニバーサル設定]をタッチします
- 2 設定を行います。

250 枚または 550 枚トレイに用紙をセットする

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

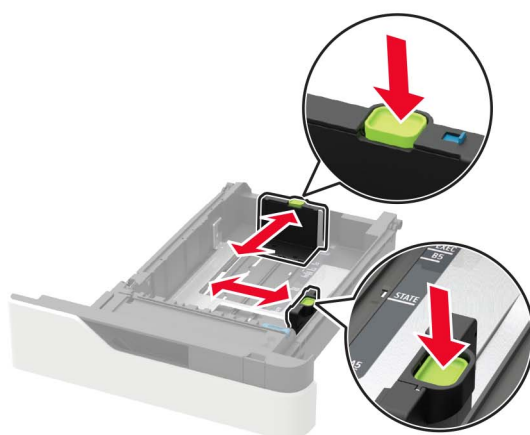
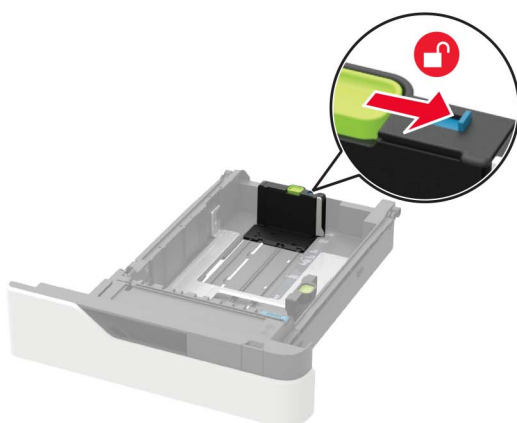
- 1 トレイを取り外します。

メモ: 紙詰まりを防ぐために、プリンタがビジー状態の間はトレイを取り外さないでください。

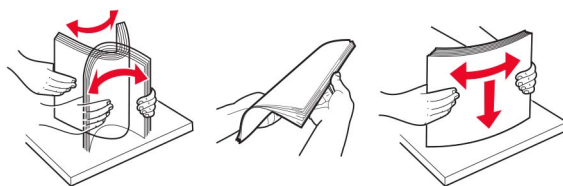


- 2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。

メモ: トレイの下部にあるインジケータで、ガイドの位置合わせをします。



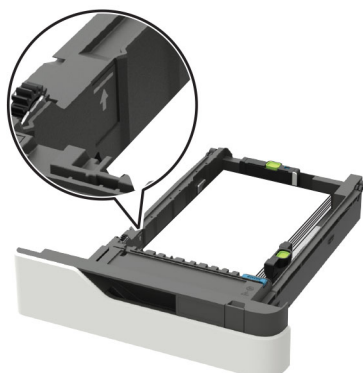
3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



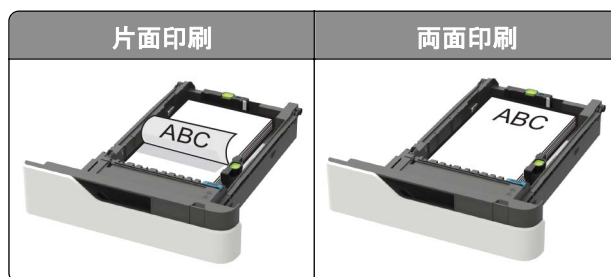
4 印刷面を下にして、用紙の束をセットしたら、用紙ガイドが用紙にぴったりと合っていることを確認します。



- 用紙をトレイにスライドしないでください。
- 紙詰まりを避けるために、重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。



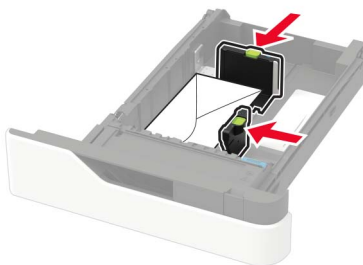
- レターヘッド紙をセットする場合は、次のいずれかを実行します。



- 穴あき用紙をセットする場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にくるようにします。



- フラップ面を上にして、トレイの左側に封筒をセットします。



警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

5 トレイを挿入します。

6 操作パネルから用紙サイズとタイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

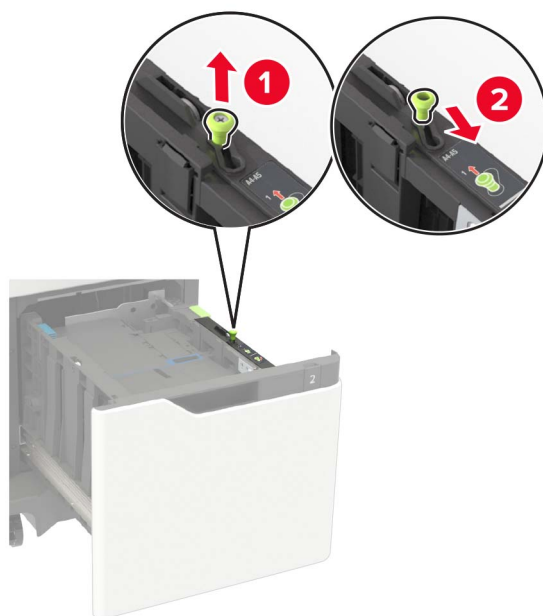
2100 枚トレイに用紙をセットする

 **注意—転倒危険：**本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

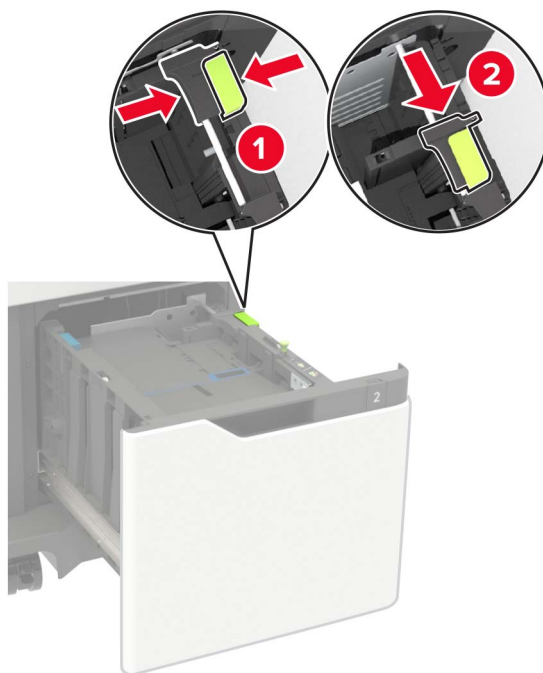
- 1 トレイを引き出します。
- 2 ガイドを調整します。

A5 サイズの用紙をセットする

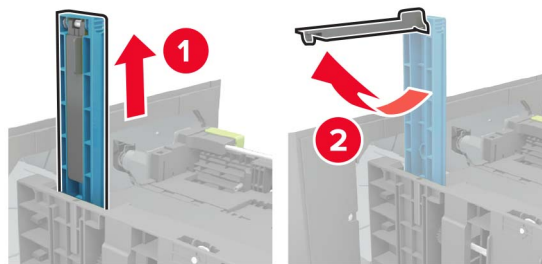
- a 幅ガイドを引き上げ、A5 の位置までスライドします。



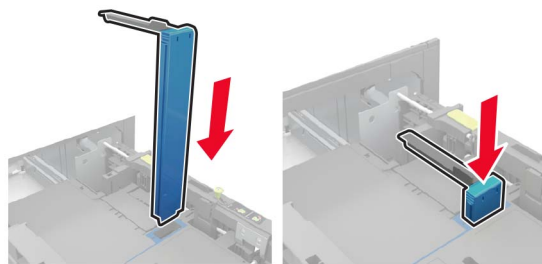
- b** 長さガイドのタブをつまみ、所定の位置でカチッと音がするまで、A5 用紙の位置までスライドします。



- c** A5 長さガイドをホルダーから取り外します。



- d** ガイドを指定のスロットに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

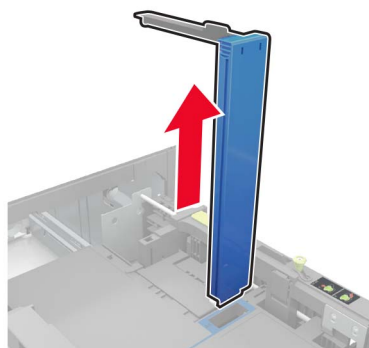


A4、レター、リーガル、オフィシオ、およびフォリオサイズの下紙をセットする

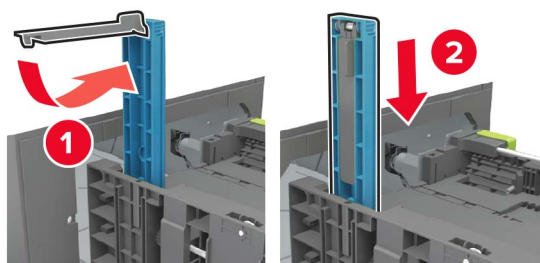
a 幅ガイドを引き上げ、セットしている下紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



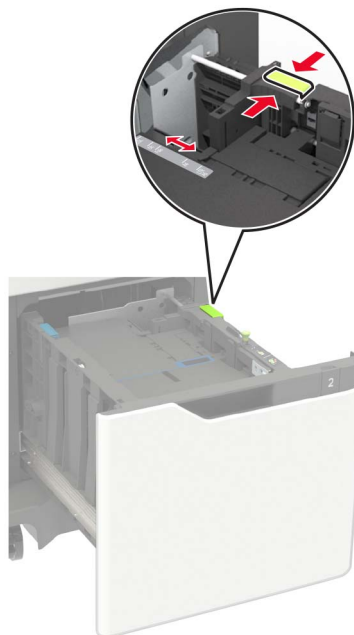
b A5 長さガイドがまだ取り付けられている場合は、取り外します。ガイドが取り付けられていない場合は、[手順 d、33 ページ](#)に進みます。



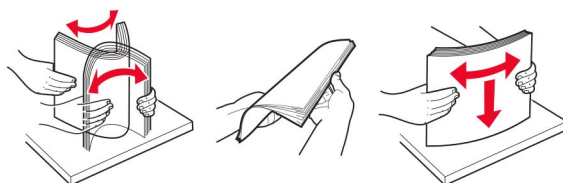
c A5 長さガイドをホルダーに入れます。



- d 長さガイドをつまんで、セットする用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



- 3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



- 4 印刷面を下にして、用紙の束をセットします。

- レターヘッド紙をセットする場合は、次のいずれかを実行します。

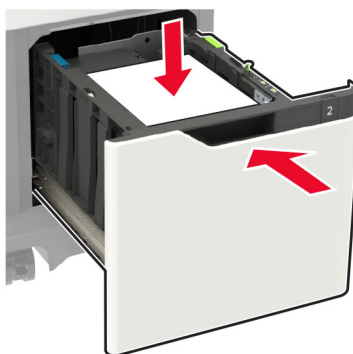


- 穴あき用紙をセットする場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にくるようにします。



5 トレイを挿入します。

メモ: 用紙の束を下に押しながらトレイを挿入します。



6 プリンタ操作パネルで、操作パネルの用紙サイズと用紙タイプをセットした用紙に一致させます。

多目的フィーダーに用紙をセットする

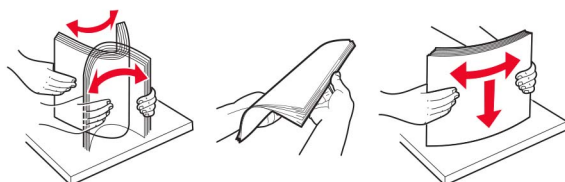
1 多目的フィーダーを開きます。



- 2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。

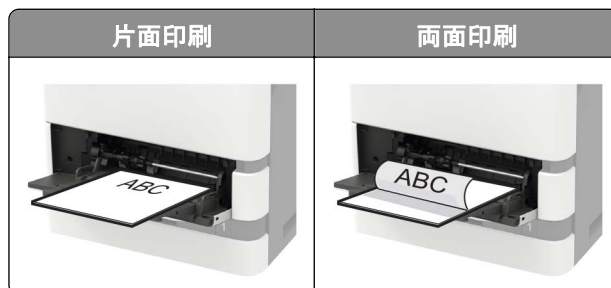


- 3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。

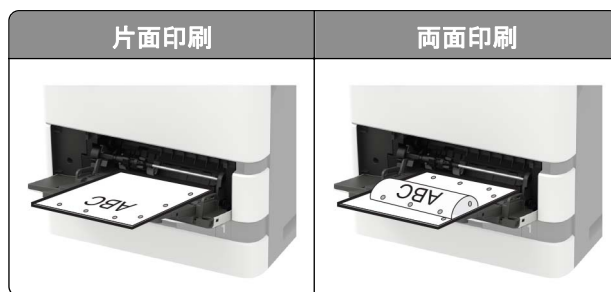


- 4 印刷面を上に向けて用紙をセットしてください。

- レターヘッド紙をセットする場合は、次のいずれかを実行します。



- 穴あき用紙をセットする場合は、用紙の長辺の穴が用紙ガイドの右側にくるようにします。



- フラップ面を下にして、用紙ガイドの左側に封筒をセットします。

警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

- 5 操作パネルから用紙サイズとタイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

トレイのリンク

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定]をクリックします。

3 リンクしているトレイと同じ用紙サイズと用紙タイプを設定します。

4 設定を保存します。

5 [設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [トレイ構成設定]をクリックします。

6 トレイのリンクを[自動]に設定します。

7 設定を保存します。

トレイとのリンクを解除するには、同じ用紙サイズと用紙タイプの設定を持つトレイが他にないことを確認してください。

警告—破損の恐れあり: フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。印刷の問題を回避するには、プリンタの用紙タイプの設定をトレイにセットした用紙に合わせます。

用紙サポート

サポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	標準の 550 枚トレイ、オプションの 250 枚または 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
A4 210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓
A5 LEF¹ 210 x 148 mm (8.3 x 5.8 インチ)	✓	✓	✓	✓
A5 SEF 148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ)	✓	X	✓	X
A6 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	✓	X	✓	✓
JIS B5 182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	X	✓	✓
オフィシオ (メキシコ) 216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓
ステートメント 140 x 216 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✓	X	✓	✓
エグゼクティブ 184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	X	✓	✓
レター 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓
リーガル 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓
フォリオ 216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓
ユニバーサル 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ) ~ 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	X	✓	✓
7 3/4 封筒 (Monarch)³ 98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ)	✓	X	✓	X
9 封筒³ 98 x 225 mm (3.9 x 8.9 インチ)	✓	X	✓	X

¹ A5 短辺給紙 (SEF) を超えるサイズの場合は、A5 長辺給紙 (LEF) をお勧めします。

² 101.6 mm (4.5 インチ) よりも幅の広い封筒の場合、しわがでることがあります。この用紙タイプが使用可能か必ずテストしてください。

³ 封筒は Lexmark MX725 ではサポートされていません。

用紙サイズ	標準の 550 枚トレイ、オプションの 250 枚または 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
10 封筒 ^{2,3} 105 x 241 mm (4.1 x 9.5 インチ)	✓	X	✓	X
DL 封筒 ^{2,3} 110 x 220 mm (4.3 x 8.7 インチ)	✓	X	✓	X
C5 封筒 ^{2,3} 162 x 229 mm (6.4 x 9 インチ)	✓	X	✓	X
B5 封筒 ^{2,3} 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✓	X	✓	X
その他の封筒 ^{2,3} 98.4 x 162 mm (3.9 x 6.4 インチ) ~ 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✓	X	✓	X
¹ A5 短辺給紙 (SEF) を超えるサイズの場合は、A5 長辺給紙 (LEF) をお勧めします。 ² 101.6 mm (4.5 インチ) よりも幅の広い封筒の場合、しわがでることがあります。この用紙タイプが使用可能か必ずテストしてください。 ³ 封筒は Lexmark MX725 ではサポートされていません。				

サポートされている用紙タイプ

用紙タイプ	標準の 550 枚トレイ、オプションの 250 枚または 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
普通紙	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	X	✓	✓
OHP フィルム ¹	✓	X	✓	X
ラベル紙	✓	X	✓	X
ビニールラベル紙 ²	✓	X	✓	X
ボンド紙	✓	✓	✓	✓
封筒	✓	X	✓	X
ラフ紙封筒	✓	X	✓	X
レターヘッド紙	✓	✓	✓	✓
事前印刷用紙	✓	✓	✓	✓
¹ OHP フィルムがくっつかないようにするには、印刷の上限を 20 ページまでにしてください。3 分後に後続のページが印刷されます。 ² Lexmark MX725 プリンタ機種でのみサポートされています。				

用紙タイプ	標準の 550 枚トレイ、オプションの 250 または 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
カラー用紙	✓	X	✓	✓
軽量紙	✓	X	✓	✓
重量紙	✓	X	✓	✓
ラフ紙/コットン紙	✓	X	✓	✓
カスタム紙種 [x]	✓	X	✓	✓

¹ OHP フィルムがくっつかないようにするには、印刷の上限を 20 ページまでにしてください。3 分後に後続のページが印刷されます。

² Lexmark MX725 プリンタ機種でのみサポートされています。

サポートされている用紙の重さ

用紙タイプと重量	標準の 550 枚トレイ、オプションの 250 または 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
普通紙またはボンド紙¹ 60 ~ 176 g/m ² 縦目 (16 ~ 47 ポンドのボンド紙)	✓	✓	✓	✓
厚紙 203 g/m ² 縦目 (125 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
厚紙 199 g/m ² 縦目 (110 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
厚紙 176 g/m ² 縦目 (65 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
OHP フィルム 138 ~ 146 g/m ² 縦目 (37 ~ 39 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X
ラベル紙 180 g/m ² (48 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
統合フォーム² 140 ~ 175 g/m ² (37 ~ 47 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
統合フォーム 75 ~ 135 g/m ² (20 ~ 36 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
封筒³ 60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓

¹ 176 g/m² (47 ポンド) を超える場合には、横目の用紙をお勧めします。

² 圧力に敏感な部分が最初にプリンタに入る必要があります。

³ 28 lb ポンドの封筒は、コットン含有率が 25% に制限されます。

印刷

コンピュータから印刷する

メモ: ラベル、厚紙、封筒の場合、プリンタで用紙サイズとタイプを設定してから印刷ジョブを送信してください。

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

モバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark™ モバイル印刷では、サポートされている Lexmark プリンタにドキュメントや画像を直接送信できます。

- 1 ドキュメントを開いてから、ドキュメントを Lexmark モバイル印刷に送信または共有します。

メモ: サードパーティ製アプリケーションの中には、送信機能または共有機能をサポートしていないものもあります。詳細については、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

- 2 プリンタを選択します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

Google クラウドプリントを使用してモバイルデバイスから印刷する

Google Cloud Print™ は、お好きな Google クラウドプリント対応のプリンタへ印刷することができる、印刷サービスです。

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタが Google Cloud Print サーバーに登録されている。
- Google Play™ ストアからクラウドプリントプラグインがダウンロードされ、モバイルデバイスで有効になっている。

- 1 Android™ モバイルデバイスでドキュメントを開くか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2  > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択して、 をタップします。

Mopria プrintサービスを使用してモバイルデバイスから印刷する

Mopria® プrintサービスは、Android バージョン 4.4 以降が実行されているモバイルデバイス用の、モバイル印刷ソリューションです。このソリューションをお使いになると、お好きな Mopria 認定プリンタへ直接印刷できます。

メモ: 印刷の前に、Mopria プリントサービスが有効になっていることを確認してください。

- 1 モバイルデバイスのホーム画面で、対応アプリケーションを起動します。
- 2 [印刷]をタップし、プリンタを選択します。
- 3 次のように印刷ジョブを送信します。

AirPrint を使用してモバイルデバイスから印刷する

AirPrint は、Apple デバイスから AirPrint 認定プリンタへ直接印刷することができる、モバイル印刷ソリューションです。

メモ: このアプリケーションは、一部の Apple デバイスのみでサポートされています。

- 1 モバイルデバイスのホーム画面で、対応アプリケーションを起動します。
- 2 印刷する項目を選択し、[共有]アイコンをタップします。
- 3 [印刷]をタップし、プリンタを選択します。
- 4 印刷ジョブを送信します。

フラッシュドライブから印刷する

- 1 フラッシュメモリをセットします。



メモ:

- エラーメッセージが表示されているときにフラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブはプリンタで認識されません。
 - フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、画面に[ビジー]が表示されます。
- 2 画面から、印刷するドキュメントをタッチします。
必要に応じて、印刷設定を構成します。
 - 3 次のように印刷ジョブを送信します。

他の文書を印刷するときは、[USB ドライブ]をタッチします。

警告—破損の恐れあり：データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ

フラッシュドライブ

- Lexar JumpDrive S70 (16GB および 32GB)
- SanDisk Cruzer (16GB および 32GB)
- PNY Attaché (16GB および 32GB)

メモ：

- プリンタは、フルスピード規格の高速 USB フラッシュドライブをサポートします。
- USB フラッシュドライブで、FAT (File Allocation Table) システムをサポートしている必要があります。

ファイルタイプ

ドキュメント：

- .doc または .docx
- .xls または .xlsx
- .ppt または .pptx
- .pdf
- .xps

画像：

- .dcx
- .gif
- .jpeg または .jpg
- .bmp
- .pcx

- .tiff または .tif
- .png

コンフィデンシャルジョブを設定する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定]
- 2 設定します。

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な PIN を入力できる回数を設定します。 メモ: この上限回数に達すると、該当するユーザー名に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 保留中のコンフィデンシャルジョブは、手動でリリースするか削除するまでプリンタに保存されます。
期限切れジョブの繰り返し	繰り返し印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 保留中の繰り返しジョブは、再印刷のためにプリンタのメモリに保存されます。
期限切れジョブの確認	残りのコピーを印刷する前に、コピーを実行する有効期限を設定します。 メモ: 確認印刷を最初に 1 部印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷します。
期限切れジョブの予約	予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。 メモ: 保留ジョブは、印刷後に自動的に削除されます。
すべてのジョブを保留にする	すべての印刷ジョブを保留にするように、プリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持	同じファイル名を持つすべてのドキュメントを印刷するようにプリンタを設定します。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 [プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。
- 3 [印刷して保持]をクリックします。
- 4 [[印刷して保持]を使用する]を選択して、ユーザー名を割り当てます。
- 5 印刷ジョブのタイプ(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択します。
印刷ジョブがコンフィデンシャルの場合、4 桁の暗証番号 (PIN) を入力します。
- 6 [OK]または[印刷]をクリックします。

7 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。

- コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]
- 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]

Macintosh の場合

1 ドキュメントを開いた状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。

必要に応じて、開閉用ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。

2 印刷オプションまたは[印刷部数と印刷ページ]メニューから、[ジョブ振分け]を選択します。

3 印刷ジョブのタイプ(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択します。

印刷ジョブがコンフィデンシャルの場合、ユーザー名および 4 桁の PIN を割り当てます。

4 [OK]または[印刷]をクリックします。

5 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。

- コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]
- 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]

Cloud Connector プロファイルからの印刷

1 ホーム画面で、[カードコピー]をタッチします。

2 クラウドサービスプロバイダを選択し、プロファイルを選択します。

メモ: Cloud Connector プロファイルの作成の詳細については、[「Cloud Connector プロファイルの作成」](#)、20 ページを参照してください。

3 ファイルを選択します。

メモ: サポートされていないファイルを選択することはできません。

4 必要に応じて、設定を変更します。

5 [印刷]をタッチします。

フォントサンプルリストを印刷する

1 ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [印刷] > [フォントの印刷]をタッチします。

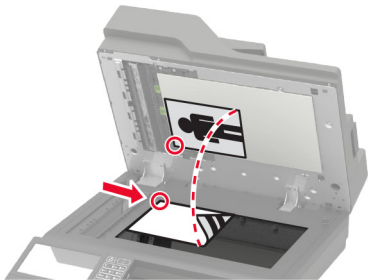
2 [PCL フォント]または[PostScript フォント]をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [印刷] > [印刷ディレクトリ]をタッチします。

コピー

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コピーを作成する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

メモ: 画面が途切れることを防止するには、原稿と印刷物の用紙サイズが同じであることを確認してください。

- 2 ホーム画面から[コピー]をタッチして、コピー部数を指定します。

必要に応じて、コピー設定を調整します。

- 3 ドキュメントをコピーします。

メモ: クイックコピーを実行するには、操作パネルで  を押します。

写真をコピーする

- 1 写真を原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > [内容] > [内容の種類] > [写真]
- 3 [内容のソース]メニューで、元の写真に最適な設定を選択します。
- 4 写真をコピーします。

レターヘッド紙にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[コピー]をタッチして、原稿のサイズを指定します。

- 3 [コピー先]をタッチして、特殊用紙をセットしたトレイを選択します。
特殊用紙を多目的フィーダにセットしている場合は、次のメニューを選択します。
[多目的フィーダ] > 特殊用紙のサイズを選択 > [レターヘッド紙]
- 4 コピージョブを送信します。

用紙の両面にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [用紙設定]をタッチします。
- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

コピーを縮小または拡大する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > [拡大縮小] > で拡大縮小の値を指定
メモ: [拡大縮小]を設定してから、原稿または出力のサイズを変更すると、拡大縮小の値は[自動]に戻ります。
- 3 ドキュメントをコピーします。

丁合印刷する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[コピー]をタッチして、[丁合印刷]を[オン]に設定します。
- 3 ドキュメントをコピーします。

コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [セパレータ紙]をタッチします。
- 3 設定を調整します。
- 4 コピージョブを送信します。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [ページ/面]をタッチします。

- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

コピーショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

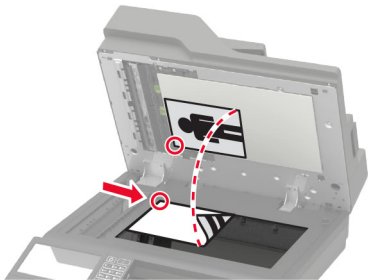
メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。
- 3 [ショートカットタイプ]メニューで[コピー]を選択して設定します。
- 4 変更を適用します。

E メールで送信する

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

E メール機能を設定する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール] > [E メール設定]をクリックします。

- 3 設定を構成します。

- 4 変更を適用します。

E メール設定を構成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール]をクリックします。

- 3 必要な情報を入力します。

- 4 変更を適用します。

E メールを送信する

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[E メール]をタッチして、必要な情報を入力します。
メモ: アドレス帳やショートカット番号を使用して受信者を入力することもできます。
- 3 必要な場合は、出力ファイルタイプを設定します。
- 4 E メールを送信します。

ショートカット番号を使用する

- 1 操作パネルで # を押してから、キーパッドを使用してショートカット名を入力します。
- 2 E メールを送信します。

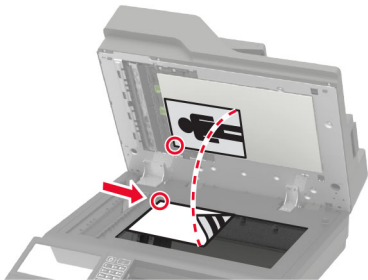
E メールショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ:
 - ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。
- 3 [ショートカットタイプ]メニューで[E メール]を選択して設定します。
- 4 変更を適用します。

FAX

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 ADF (Automatic Document Feeder) diagram showing a document being fed into the top of the machine. • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 Original Document Stage diagram showing a document being placed on the flatbed scanner. • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

プリンタを設定して FAX を送信する

メモ:

- 以下の接続方法は、一部の国と地域でのみご利用できます。
- プリンタの初期設定時には、[FAX 機能]チェックボックスや後で設定する他の機能をオフにして、[続行]を選択します。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、実際に FAX を送受信している間は、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



FAX 機能をセットアップする

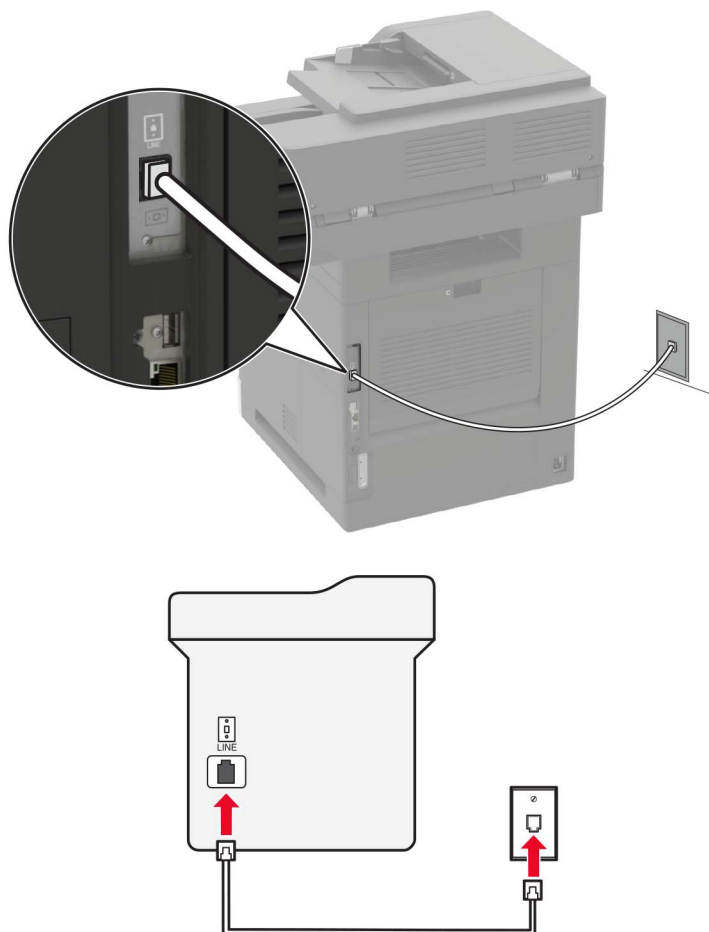
- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [初期設定を実行]の順にタッチします。
- 2 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。

- 3 [開始する前に]画面で、[このウィザードを続行して標準設定を変更する]を選択します。
- 4 [FAX/E メールサーバー設定]画面で、必要な情報を入力します。
- 5 セットアップを完了します。

標準電話回線を使用して FAX を設定する

-  **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電氣的接続、電話などとのケーブル接続を行わないでください。
-  **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

セットアップ 1: プリンタが専用 FAX 回線に接続されている場合



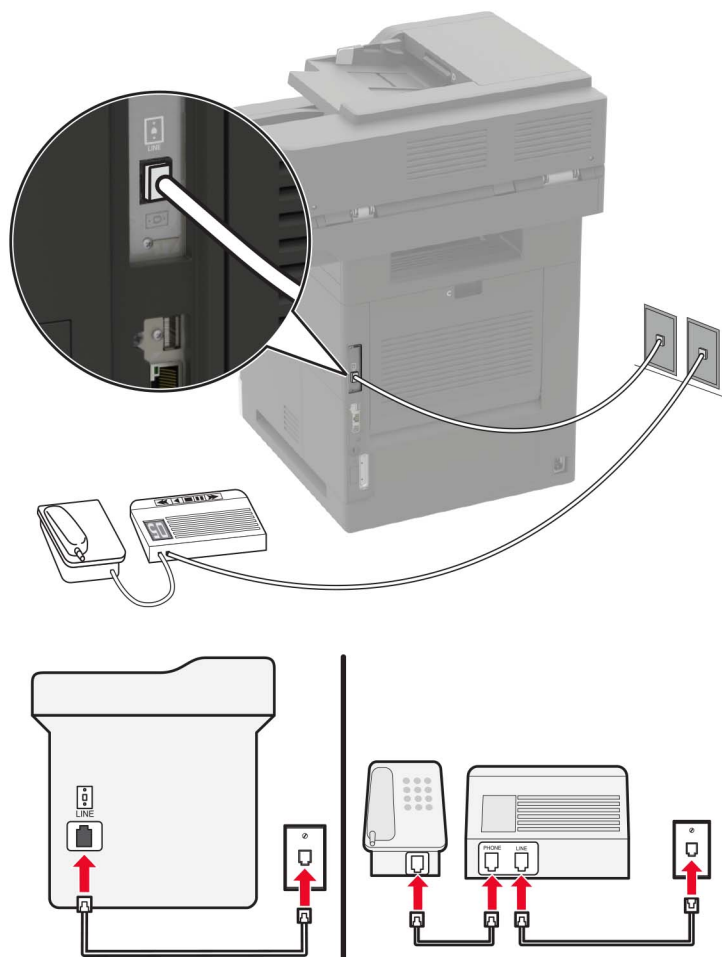
- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

メモ:

- FAX を自動(自動受信オン)または手動(自動受信オフ)で受信するようにプリンタを設定できます。
- FAX を自動的に受信する場合は、応答するまでの呼び出し回数を設定してください。

セットアップ 2: プリンタが留守番電話機と回線を共有している場合

メモ: 着信識別サービスに加入している場合は、プリンタが正しい着信音に応答するように設定します。間違った着信音を設定すると、FAX を自動受信するように設定していたとしてもプリンタは FAX を受信しません。

別々の電話コンセントに接続されている場合

- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

メモ:

- お使いの電話回線で 1 つの電話番号しか持っていない場合は、FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
- 留守番電話が応答してから着信音が 2 回鳴った後でプリンタが応答するように、プリンタを設定します。たとえば、留守番電話が着信音 4 回で応答する場合は、プリンタの[呼び出し回数]設定を 6 回に設定します。

異なる電話のモジュージャックとプラグを使用する国または地域で FAX を設定する

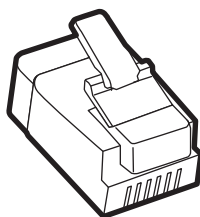
 **注意—感電危険：**感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。

 **注意—感電危険：**雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

 **注意—傷害の恐れあり：**火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

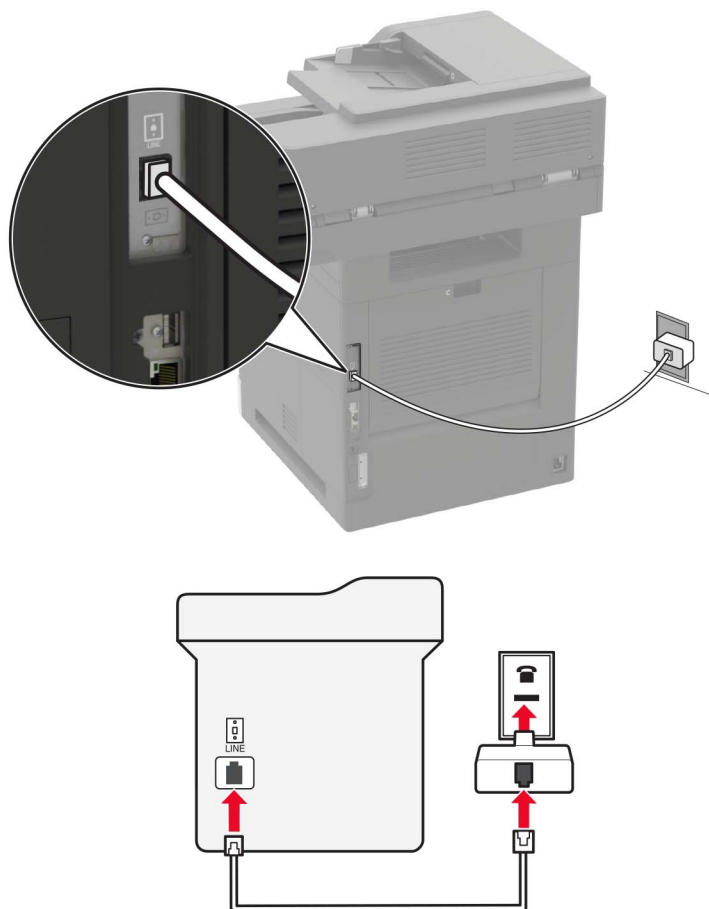
ほとんどの国または地域で標準として採用されているモジュージャックは、RJ11 です。ファシリティ内のモジュージャックまたは機器がこのタイプの接続に互換性がない場合は、電話アダプタを使用します。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに含まれておらず、別途購入する必要がある場合があります。

プリンタの電話ポートにアダプタプラグが取り付けられている場合があります。シリアルまたはカスケード式電話システムに接続している場合、プリンタの電話ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

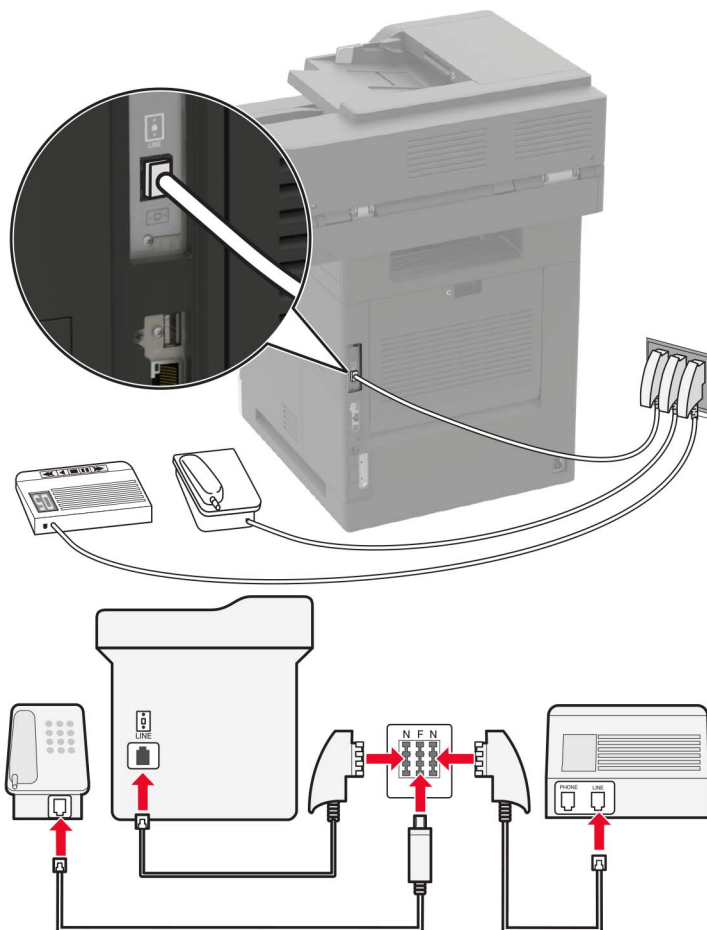
プリンタを RJ11 以外のモジュージャックに接続する



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタをモジュージャックに接続します。
- 3 RJ11 以外のコネクタを使用した別のデバイスを同じモジュージャックに接続する場合は、直接電話アダプタに接続します。

プリンタをモジュージャックに接続する(ドイツ)

ドイツのモジュージャックには 2 種類のポートがあります。N ポートは FAX 機、モデム、留守番電話用のポートで、F ポートは電話用のポートです。プリンタは N ポートに接続します。



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタを N ポートに接続します。
- 3 電話や留守番電話などを同じ壁のモジュージャックに接続する場合、図のように接続してください。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスを使用すると、1 つの電話回線で複数の電話番号を持つことができます。各電話番号がそれぞれ異なる着信音に割り当てられています。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理制御] > [受信の設定]の順にタッチします。
- 2 着信音を選択します。
- 3 変更を適用します。

FAX の日時を設定する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日時] > [構成]の順にタッチします。
- 2 設定を構成します。

夏時間に構成する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日時] > [構成]の順にタッチします。
- 2 [タイムゾーン]メニューで、[カスタム]を選択します。
- 3 設定を構成します。

Fax を送信する

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX]をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 次のように FAX ジョブを送信します。

コンピュータを使用する

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。
- 3 [FAX] > [FAX を有効にする]をクリックして、送信先番号を入力します。
- 4 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 5 次のように FAX ジョブを送信します。

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 プリンタを選択し、送信先番号を入力を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 次のように FAX ジョブを送信します。

FAX の予約送信

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[FAX] > FAX 番号を入力 > [送信時刻]
- 3 FAX を送信する日時を設定します。
- 4 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 5 次のように FAX ジョブを送信します。

FAX 宛先のショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。
- 3 [ショートカットタイプ] メニューで [FAX] を選択して設定します。
- 4 変更を適用します。

FAX の解像度変更

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX] をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 解像度設定を調整します。
- 4 次のように FAX ジョブを送信します。

FAX の濃度を調整する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX] をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 濃度の設定を調整します。
- 4 次のように FAX ジョブを送信します。

FAX ログの表示

メモ: FAX ログを表示するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [レポート] > [FAX]をクリックします。
- 3 [FAX ジョブのログ]または[FAX 通信ログ]をクリックします。

迷惑 FAX のブロック

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理制御] > [無記名の FAX をブロック]をタッチします。
- 2 変更を適用します。

FAX の保留

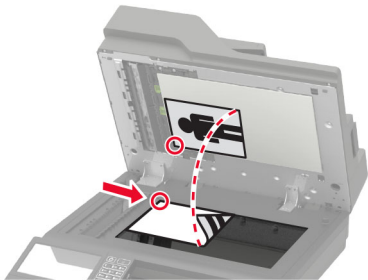
- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [FAX の保留]をタッチします。
- 2 モードを選択します。

Fax の転送

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理制御]をタッチします。
- 2 [FAX フォワード]、[転送先]、[転送のショートカット]の設定を行います。
- 3 変更を適用します。

スキャン

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

FTP サーバーへのスキャンデータの送信

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FTP]をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FTP 設定を変更します。
- 4 FTP ジョブを送信します。

FTP ショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。
- 3 [ショートカットタイプ]メニューで[FTP]を選択して設定します。
- 4 変更を適用します。

フラッシュドライブにスキャンする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 フラッシュメモリをセットします。



- 3 **[USB にスキャン]**をタッチし、必要に応じて設定を調整します。

メモ: **[USB ドライブ]**画面が表示されない場合は、ホーム画面で**[USB ドライブ]**をタッチします。

- 4 原稿をスキャンします。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



スキャンして FAX サーバーに送信する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で[スキャンセンター]をタッチし、送信先リストから[FAX]を選択します。
- 3 FAX の送信先を選択します。
メモ: FAX の送信先を作成するには、[FAX の作成]をタッチします。
- 4 原稿をスキャンします。

スキャン文書をコンピュータに送信する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[スキャンプロファイル] > [コンピュータにスキャン]をタッチします。
- 3 原稿を保存するスキャンプロファイルを選択します。

Cloud Connector プロファイルにスキャンする

- 1 ドキュメントを ADF トレイの中、または原稿台の上にセットします。
- 2 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 3 クラウドサービスプロバイダを選択してから、プロファイルを選択します。
メモ: Cloud Connector プロファイルの作成の詳細については、[「Cloud Connector プロファイルの作成」、20 ページ](#)を参照してください。
- 4 必要に応じて、フォルダを選択します。
- 5 [スキャン]をタッチします。
- 6 必要に応じて、スキャン設定を変更します。
- 7 [スキャン]をタッチします。

プリンタメニューを理解する

メニューマップ

デバイス	- 基本設定 - 遠隔操作パネル - 通知 - 電源管理 - Lexmark に送信される情報	- ユーザー補助機能 - 工場出荷状態に復元 - メンテナンス - ホーム画面アイコンの表示 - このプリンタについて
印刷	- レイアウト - 設定 - 印刷品質 - ジョブアカウント情報 - XPS	- PDF - PostScript - PCL - HTML - イメージ
用紙	トレイ構成設定	用紙構成
コピー	コピー初期設定	
FAX	- FAX モード - アナログ FAX 設定	FAX サーバー設定
E メール	- E メール設定 - E メール初期値設定	Web リンク設定
FTP	FTP 初期値設定	
USB ドライブ	フラッシュドライブスキャン	フラッシュドライブ印刷
ネットワーク/ポート	- ネットワークの概要 - ワイヤレス - イーサネット - TCP/IP - SNMP - IPSec	- LPD 構成設定 - HTTP/FTP の設定 - ThinPrint - USB - Google クラウド プリント
セキュリティ	- ログイン方式 - USB デバイスのスケジュール - セキュリティ監査ログ - ログイン制限 - コンフィデンシャル印刷設定	- ディスク暗号化 - 一時データファイルの消去 - ソリューション LDAP 設定 - モバイルサービスの管理 - その他
レポート	- メニュー設定ページ - デバイス - 印刷	- ショートカット - FAX - ネットワーク

ヘルプ	- すべてのガイドを印刷 - モノクロ品質ガイド - 接続ガイド - コピーガイド - E メールガイド - FAX ガイド	- 情報ガイド - 用紙ガイド - 移動ガイド - 印刷品質ガイド - スキャンガイド - 消耗品ガイド
トラブルシューティング	印刷品質テストページ	スキヤナの清掃

デバイス

基本設定

メニュー項目	説明
表示言語 [言語リスト]	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。
国／地域 [国または地域のリスト]	プリンタが動作するように設定する国または地域を特定します。
初期設定を実行 オン オフ*	セットアップウィザードを実行します。
キーボード キーボードタイプ [言語リスト]	キーボードタイプとして言語を選択します。 メモ: - キーボードタイプの値がすべて表示されなかったり、表示するには特殊なハードウェアの取り付けが必要になる場合があります。 - このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
ホーム画面に表示する情報 表示テキスト 1 [IP アドレス*] 表示テキスト 2 [日付/時間*] カスタムテキスト 1 カスタムテキスト 2	ホーム画面に表示する情報を指定します。 メモ: カスタムテキスト 1 とカスタムテキスト 2 は、一部のプリンタ機種でのみ表示されます。
日付/時刻 設定 現在の日時 日時を手動設定 日付形式 [MM-DD-YYYY*] 時間形式 [12 時間表示 A.M./P.M.*] タイムゾーン [GMT*]	プリンタの日時を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
日付/時刻 ネットワークタイムプロトコル NTP の有効化[オン*] NTP サーバー 認証を有効化	ネットワークタイムプロトコル (NTP) を設定します。 メモ: • [認証を有効化]は、一部のプリンタ機種でのみ表示されます。 • [認証を有効化]が[MD5 キー]に設定されている場合は、キー ID とパスワードが表示されます。
用紙サイズ インチ* メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
画面明るさ 20 ~ 100%(100*)	ディスプレイの明るさを調整します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
フラッシュメモリアクセス 有効* 無効	フラッシュメモリへのアクセスを有効にします。
背景削除を許可 オン* オフ	背景削除を可能にするかどうかを指定します。
ユーザー定義ジョブスキャンを許可 オン* オフ	複数のジョブをスキャンして 1 つのファイルに保存します。
1 ページフラットベッドスキャン オン オフ*	原稿台から一度に 1 ページずつコピーするよう設定します。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボタンのフィードバック オン* オフ	ボタンの押下、パネルの操作、用紙セットの要請、エラーの通知の際に、音で注意を促します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボリューム 1 ~ 10(5*)	プリンタのスピーカーの音量を調整します。 メモ: • 音量の変更は、現在のユーザーセッションの終了後に適用されます。 • このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
画面タイムアウト 10 ~ 300(60*)	ディスプレイにホーム画面が表示されるまでのアイドル時間、またはユーザーアカウントが自動的にログオフされるまでのアイドル時間を秒単位で設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

遠隔操作パネル

メニュー項目	説明
外部 VNC 接続 許可しない* 許可	外部の Virtual Network Computing (VNC) クライアントをリモート操作パネルに接続します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
認証タイプ なし* 標準認証	VNC クライアントサーバーにアクセスする際の認証タイプを設定します。 メモ: [標準認証]に設定すると、[VNC パスワード]が表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

通知

メニュー項目	説明
エラーランプ オフ オン*	プリンタエラーの発生時にインジケータランプが点灯するように設定します。
ADF セットビープ オフ オン*	ADF に用紙をセットするときの音を有効にします。
アラーム音設定 オフ 1 回* 連続	プリンタでユーザーの操作が必要なときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品の寿命表示 寿命を表示* 寿命を表示しない	消耗品の寿命を表示します。
消耗品 寿命を表示 ページ数* パーセント	プリンタが、消耗品使用量を推定し、ユーザーの操作が必要な場合にカスタム通知を実行するために使用する単位を決定します。 メモ: このメニュー項目は、EWS でのみ表示されます。
消耗品 消耗品残量低下時のアラーム オフ* 1 回 連続	トナーカートリッジの残量が少なくなるときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品のカスタム通知	ユーザーの操作が必要なときの通知設定を構成します。 メモ: このメニュー項目は、EWS でのみ表示されます。
E メールアラート設定	プリンタでユーザーの操作が必要なときに、一覧にある連絡先に E メール警告を送信するようプリンタを設定します。
エラー防止 紙詰まり時の復旧サポート オフ オン*	詰まった用紙を取り除いた後に、空白ページまたは一部印刷されたページを自動的に排出するようプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
エラー防止 自動続行 無効 5～255 (5*)	特定の操作が必要な状態が解消された後に、プリンタがジョブの処理や印刷を自動的に続行するようにします。
エラー防止 自動再起動 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動* 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。
エラー防止 自動再起動 最大自動再起動回数 1～20 (2*)	プリンタが実行可能な自動再起動回数を指定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動までの時間 1～525600 (720*)	プリンタが自動的に再起動するまでの秒数を設定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタ	再起動カウンタの読み取り専用情報を表示します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタをリセット キャンセル 続行	[自動再起動カウンタ]の値をリセットします。
エラー防止 「用紙が短すぎます」エラーを表示 オン 自動クリア*	「用紙が短すぎます」エラーが発生した場合に、プリンタにメッセージを表示するかどうかを設定します。 メモ: 短い用紙とは、セットされている用紙のサイズを示します。
エラー防止 ページ保護 オフ* オン	印刷の前に、ページ全体をメモリで処理するように設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 紙詰まりしたページの再印刷 オフ オン 自動*	紙詰まりが発生したページを再印刷するかどうかを設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 スキャナで紙詰まりしたページの再読み込み ジョブ別 用紙レベル*	紙詰まりの解決後にスキャンジョブを再開する方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

電源管理

メニュー項目	説明
スリープモード時の動作 画面消灯時の印刷 印刷時に画面を点灯 画面を消灯して印刷 *	画面を消灯した状態での印刷を許可します。
タイムアウト時間 スリープモード 1 ~ 120 分 (15 *)	プリンタがスリープモードになるまでのアイドル時間を指定します。
タイムアウト時間 休止モード 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 * 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタが休止モードになるまでの時間を指定します。
タイムアウト時間 ネットワーク接続時の休止モード 休止モード 休止モードにしない *	有効なイーサネット接続が存在する場合でも、プリンタを休止モードに設定します。
エコモード オフ * 電力 電力/用紙 用紙	電力や用紙、特殊紙の使用量を最小にします。 メモ: [エコモード]を[電力]または[用紙]に設定すると、プリンタのパフォーマンスに影響が生じる場合がありますが、印刷品質には影響しません。
電力モードの定期実行 スケジュール	プリンタのスリープモードまたは休止モードをスケジュールします。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

Lexmark に送信される情報

メニュー項目	説明
Lexmark に送信される情報 消耗品およびページ使用率(匿名) デバイスのパフォーマンス(匿名) 上記のいずれも送信しない	プリンタの利用およびパフォーマンスに関する情報を Lexmark へ送信します。 メモ: [情報送信時刻]と[ユーザー情報 - レベル]は、[Lexmark に送信される情報]で[上記のいずれも該当しない]以外の設定を選択した場合にのみ表示されます。
情報送信時刻 開始時刻 停止時刻	
ユーザー情報 - レベル 匿名セッション情報のみ * 一般ユーザー情報のあるセッション情報 実際のユーザー ID のあるセッション情報	

ユーザー補助機能

メニュー項目	説明
重複したキー操作の間隔 0 ~ 5(0*)	接続したキーボードで連続で押されたキーをプリンタに無視させる間隔を秒単位で設定します。
キー繰り返しの初期遅延 0.25 ~ 5(1*)	反復キーが繰り返しを開始するまでの遅延の初期時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目は、キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
キー繰り返し率 0.5 ~ 30(30*)	反復キーを 1 秒間に押す回数を設定します。 メモ: このメニュー項目は、キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
画面タイムアウトの延期 オフ* オン	期限が切れても、ユーザーはホーム画面に戻らずに同じ場所に留まり、画面タイムアウトの時間をリセットできます。
ヘッドホンの音量 1 ~ 10(5*)	ヘッドホンの音量を調整します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
ヘッドホン接続時に音声ガイダンスを有効にする オフ* オン	ヘッドホンがプリンタに接続されている場合に、音声ガイダンスを有効にします。
パスワード/PIN を発声 オフ* オン	発声されたパスワードまたは個人 ID 番号を認識するようにプリンタを設定します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンまたはスピーカーがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スピーチ速度 非常に遅い 低速 普通 * 速い より速い 非常に速い 高速 非常に高速 最速	音声ガイダンスのスピーチ速度を設定します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンまたはスピーカーがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

工場出荷時設定に復元

メニュー項目	説明
設定を復元 すべての設定を復元 プリンタ設定の復元 ネットワーク設定の復元 アプリ設定の復元	プリンタの工場出荷時設定を復元します。 メモ: [アプリ設定の復元]は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。

メンテナンス

設定メニュー

メニュー項目	説明
USB 設定 USB PnP 1 * 2	プリンタの USB ドライバモードを変更して、PC との互換性を向上させます。
USB 設定 ローカルに USB スキャン オン * オフ	USB デバイスドライバを USB シンプルデバイス(単一インターフェイス)として表示するのか、USB 複合デバイス(複数インターフェイス)として表示するのかを設定します。
USB 設定 USB 速度 最大 自動 *	USB ポートが最高速で動作するように設定し、USB ポートの高速機能を無効化します。
トレイ設定 同一用紙サイズのトレイのリンク 自動 * オフ	同じ用紙タイプと用紙サイズが設定されているトレイをリンクするように、プリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トレイ設定 トレイ挿入時のメッセージ表示 オフ 不明なサイズのみ * 常時	トレイ挿入メッセージ を表示します。
トレイ設定 A5 をセット 短辺 * 長辺	A5 サイズの用紙をセットするときの用紙の向きを指定します。
トレイ設定 用紙の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダー 手差し用紙 封筒の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダー 手動封筒	用紙または封筒をセットするよう要求された場合に、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。 メモ: 多目的フィーダーを表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。
トレイ設定 用紙変更時のアクション ユーザーに確認 * 続行 現在の用紙を使用	用紙または封筒関連の変更を求めるプロンプトを表示するようにプリンタを設定します。
レポート メニュー設定ページ イベントログ イベントログサマリ	プリンタメニュー設定、状況、イベントログに関するレポートを印刷します。
消耗品使用量とカウンタ 消耗品使用履歴をクリア ブラックカートリッジのカウンタをリセット ブラックイメージングユニットのカウンタをリセット メンテナンスカウンタをリセット	消耗品ページカウンタをリセット、または印刷済みページ合計を表示します。
プリンタエミュレーション PPDS エミュレーション オフ * オン	PPDS データストリームを認識して使用するようプリンタを設定します。
FAX 設定 FAX 低電力サポート スリープしない スリープする 自動 *	プリンタが判断した時点でいつでも低電力モードになるように FAX チップを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷設定 フォントのシャープ度 0 ~ 150(24*)	フォントデータの印刷時に高周波数スクリーンを使用する場合の、テキストポイントサイズの最高値を設定します。 たとえば、値が 24 の場合、サイズが 24 ポイント以下であるすべてのフォントが高周波数スクリーンを使用します。
印刷設定 印刷濃度 1 ~ 5(3*) コピー濃度 1 ~ 5(3*)	ドキュメントの印刷またはコピー時のトナー濃度を調整します。
デバイスの操作 静音モード オフ* オン	プリンタを静音モードで作動するように設定します。
デバイスの操作 パネルメニュー 有効* 無効	操作パネルメニューへのアクセスを有効にします。
デバイスの操作 セーフモード オフ* オン	既知の問題が発生しても、プリンタを特別なモードで動作させ、できるだけ多くの機能の提供を続行するかどうかを設定します。 例えば、[オン]に設定しても、デュプレックスモーターが機能しない場合、プリンタは両面印刷ジョブでも片面印刷を実行します。
デバイスの操作 最小コピーメモリ 20MB* 30MB 50MB 80MB 100MB	コピージョブを保存するために、メモリの割り当てを設定します。 メモ: この値は、取り付けられた DRAM の量が少なくとも値の 2 倍以上の場合にのみ表示されます。
デバイスの操作 カスタムメッセージをクリア	デフォルトのカスタムメッセージ、または代替のカスタムメッセージにユーザーが定義した文字列が消去されます。
デバイスの操作 クラウドからのメッセージをすべて消去	リモートでインストールしたメッセージが消去されます。
デバイスの操作 エラー画面の自動表示 オン* オフ	[画面タイムアウト]設定で指定した時間、ホーム画面のままプリンタを使用しない状態が続くと、ディスプレイに既存のエラーメッセージが表示されます。
デバイスの操作 高速コピー時に向きの設定を使用 オフ* オン	プリンタでクイックコピージョブを送信する場合に、[コピー]メニューの[向き]設定を使用できるようにします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャナ設定 スキャナ手動登録 正面 ADF 登録 背面 ADF 登録 フラットベッド登録	ADF、原稿台、またはコントローラボードを交換したら、フラットベッドと ADF を手動で登録します。
スキャナ設定 枠消し ADF フチ消去 0 ～ 6(3*) フラットベッドフチ消去 0 ～ 6(3*)	ADF またはフラットベッドスキャンジョブの周囲にある非印刷領域のサイズをミリメートル単位で設定します。
スキャナ設定 スキャナを無効化 有効* 無効 ADF 無効	スキャナが正常に動作しない場合、スキャナを無効にします。
スキャナ設定 スキャナ手動登録 印刷簡易テスト	スキャナのマージン設定を示すテストページを印刷します。
スキャナ設定 Tiff バイトオーダー CPU エンディアン* リトルエンディアン ビッグエンディアン	TIFF 形式のスキャン出力のバイトオーダーを指定します。
スキャナ設定 正しい Tiff RowsPerStrip オン* オフ	TIFF 形式のスキャン出力の RowsPerStrip タグ値を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

未使用時の消去

メニュー項目	説明
未使用時の消去 前回消去したメモリ 前回消去したハードディスク	プリンタのメモリまたはハードディスクの前の消去がいつだったかを示します。 メモ: [前回消去したハードディスク]は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
未使用時の消去 不揮発性メモリにあるすべての情報を消去 ハードディスクのすべての情報を消去 すべてのプリンタおよびネットワーク設定を消去	プリンタのメモリまたはハードディスクに保存されているすべての設定およびアプリケーションを消去します。 メモ: [ハードディスクのすべての情報を消去]は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。

ホーム画面アイコンの表示

メニュー	説明
状態/消耗品 ジョブ表示 言語設定 アドレス帳 ブックマーク 保留ジョブ USB アプリのプロファイル ディスプレイのカスタマイズ エコ設定	ホーム画面に表示するアイコンを指定します。

このプリンタについて

メニュー項目	説明
備品札	プリンタのシリアル番号を示します。
プリンタの設置場所	プリンタの設置場所を特定します。最大文字数は 63 文字です。
連絡先	プリンタ名を定義します。最大文字数は 63 文字です。
設定ファイルを USB にエクスポート	設定ファイルをフラッシュドライブにエクスポートします。
圧縮ログを USB にエクスポート	圧縮ログファイルをフラッシュメモリにエクスポートします。

印刷

レイアウト

メニュー項目	説明
印刷面 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺 * 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙の辺（長辺または短辺）が綴じられていないかどうかを確認します。 メモ: 選択したオプションに応じて、プリンタはページの各印刷情報を自動的にオフセットしてジョブを正しく綴じます。
空白ページ 印刷 印刷しない *	印刷ジョブに含まれる空白ページを印刷します。
ソート (1 部ごと) オフ [1,1,1,2,2,2] * オン [1,2,1,2,1,2]	特にジョブを複数部印刷する場合は、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
挿入紙 なし * 各コピー部数の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を挿入します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	挿入紙の給紙トレイを指定します。 メモ: 多目的フィーダーは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。
ページ集約 オフ * 2 ページ/面 3 ページ/面 4 ページ/面 6 ページ/面 9 ページ/面 12 ページ/面 16 ページ/面	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向(左から) * 横方向(右から) 縦方向(左から) 縦方向(右から)	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページの画像の位置を指定します。 メモ: 配置は、ページの画像数とページの方向によって異なります。
原稿セット方向 自動 * 横 縦	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページのドキュメントの位置を指定します。
ページ枠 なし * 実線	[ページ/面]を使用する場合に、各ページ画像に枠線を印刷します。
部数 1 ~ 9999(1*)	各印刷ジョブの部数を指定します。
印刷領域 普通 * ページに合わせる 用紙全体	1 枚の用紙の印刷領域を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

設定

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL エミュレーション PS エミュレーション *	プリンタ言語を設定します。 メモ: プリンタで設定した標準言語にかかわらず、ソフトウェアから他の言語の印刷データを送信することができます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
待機中のジョブ オフ* オン	消耗品を必要とする印刷ジョブを保持し、不足している消耗品を必要としないジョブが印刷できるようにします。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
ジョブ保留タイムアウト 0 ~ 255(30*)	使用できないリソースを必要とするジョブを保持し、印刷キュー内の他のジョブの印刷を続行する前にプリンタがユーザーの介入を待つ時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
プリンタ使用方法 送信最大ビット速度 最大イールド*	カラーイメージングユニットが印刷中にどのように動作するかを決定します。 メモ: • [最大イールド]に設定されている場合は、カラーイメージングユニットが、モノクロのみのページのグループを印刷しているときに減速したり停止したりします。 • [送信最大ビット速度]に設定されている場合は、カラーイメージングユニットが、カラーページを印刷中かブラックのページを印刷中かに関係なく、印刷中に常に動作します。
ダウンロード先 RAM* ディスク	プリンタにダウンロードされたフォントやマクロなど、すべての常駐リソースを保存する場所を指定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
リソース保存 オフ* オン	利用可能なメモリよりも多くの容量を必要とするジョブを受信した場合に、フォントやマクロなどのダウンロードされたリソースをプリンタでどのように処理するかを指定します。 メモ: • [オフ]に設定すると、メモリが必要とされるまで、ダウンロードされたリソースは保持されます。使用していないプリンタ言語に関連するリソースは削除されます。 • [オン]に設定すると、プリンタはすべての言語スイッチでダウンロード済みの常駐リソースをすべて保持します。必要に応じて、プリンタは常駐リソースを削除する代わりに、メモリ不足のメッセージを表示します。
[すべて印刷]の順序 アルファベット順* 新しい順 古い順	[すべて印刷]が選択されたとき、保留またはコンフィデンシャルジョブをどの順序で印刷するかを指定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

画質

メニュー項目	説明
印刷解像度 300 dpi 600 dpi* 1200 dpi 1200 Image Q 2400 Image Q	印刷出力におけるテキストと画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度は、ドット/インチ (dpi) または画質で指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ピクセルブースト オフ* フォント 水平 垂直 双方向 孤立	特定領域のピクセル数を増やして鮮明度を高めることで、テキストと画像を見やすくすることができます。
トナー濃度 1-10 (8*)	テキストイメージの明るさを指定します。
ハーフトーン 標準* 詳細	印刷出力を向上して鋭いエッジの滑らかな線にします。
明度 -6 ~ 6(0*)	印刷出力の明るさを調整します。
コントラスト 0 ~ 5(0*)	印刷出力のコントラストを調整します。
灰色補正 自動* オフ	イメージに適用されるコントラスト補正を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ジョブアカウント

メモ: このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

メニュー項目	説明
ジョブアカウント オフ* オン	プリンタで受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを設定します。
ジョブアカウントのログ回数 Daily 毎週 毎月*	プリンタでログファイルを作成する頻度を指定します。
最後に行うログ操作 なし* 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	頻度のしきい値を経過したときに、プリンタが行う処理を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ジョブアカウントのログ回数]で指定します。
ログがほとんど満杯レベル オフ オン*	プリンタがログ操作がほとんど満杯レベルを実行する、ログファイルの最大サイズを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログ操作がほとんど満杯レベル なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ログ操作がほとんど満杯レベル]にて指定します。
ログ操作が満杯 なし * 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ディスクの使用領域が上限 (100MB) に達したときに、プリンタが行う処理を指定します。
ログのポスト先 URL	プリンタによるジョブ会計ログのポスト先を指定します。
ログを送信するための E メールアドレス	ジョブアカウントのログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス	ログファイル名として使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの標準のプレフィックスとして使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

XPS

メニュー項目	説明
エラーページを印刷 オフ * オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むテストページを印刷します。
最小線幅 1 ~ 30 (2 *)	1200 dpi で印刷されるすべてのジョブの最小ストローク幅を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

PDF

メニュー項目	説明
用紙に合わせて印刷 オフ* オン	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。
注釈 印刷する 印刷しない*	PDF 内の注釈を印刷するかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

PostScript

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オフ* オン	PostScript のエラー情報を含むページを印刷します。 メモ: エラーが発生した場合、ジョブの処理が停止し、プリンタによりエラーメッセージが印刷されて、残りの印刷ジョブがキャンセルされます。
PS スタートアップモードをロック オフ* オン	PostScript SysStart ファイルを無効化します。
イメージスムージング オフ* オン	解像度が低い画像のコントラストやシャープネスを強調します。 メモ: この設定は、解像度が 300 dpi 以上の画像には影響しません。
印刷待ちタイムアウト 無効 15 ~ 65535(40*)	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが他のデータを待つかどうかを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

PCL

メニュー項目	説明
フォントソース 内蔵* ディスク フラッシュメモリ すべて	標準設定のフォント選択を含むソースを選択します。 メモ: [フラッシュメモリ]および[ディスク]は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。 [フラッシュメモリ]および[ディスク]を表示するには、読み取り保護または書き込み保護されていないことを確認してください。
フォント名 [利用可能なフォントの一覧] (Courier*)	指定したフォントソースからフォントを選択します。
シンボルセット [利用可能なシンボルセットの一覧](10U PC-8*)	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: シンボルセットは英数字、句読点、および特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ピッチ 0.08 ～ 100(10*)	固定幅または等幅フォントのピッチを指定します。 メモ: ピッチとは、横方向 1 インチあたりの固定スペース文字の数のことです。
用紙の向き 縦* 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
1 ページ当たりの行数 1～255	PCL® データストリームで印刷される各ページのテキストの行数を指定します。 メモ: - このメニュー項目によって、ページの初期設定の余白間に選択した数の要求された行を印刷させる縦方向の送りを有効にします。 - 米国向けの工場出荷時設定は、[60]になっています。米国以外の出荷時標準設定は[64]です。
PCL5 の最小線幅 1 ～ 2(30*)	初期最小ストローク幅を設定します。 メモ: 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。
PCLXL の最小線幅 1 ～ 2(30*)	
A4 サイズの幅 198 mm* 203 mm	A4 サイズの用紙の論理ページ幅を設定します。 メモ: 論理ページとは、データが印刷される物理的な用紙上のスペースのことです。
LF 後に CR を自動実行 オフ* オン	改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行します。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
CR 後に LF を自動実行 オフ* オン	キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行するかどうかを設定します。
トレイ番号変更 多目的フィーダー割り当て トレイ [x] 割当て 手差し用紙割り当て 手差し封筒を割当て	給紙トレイの割り当てが異なる別の印刷ドライバやカスタムアプリケーションで動作するようにプリンタを設定し、特定の給紙トレイを使用するようにします。 以下のオプションから選択します。 0 ～ 199—給紙トレイにユーザー定義値を割り当てるための数値。 200—プリンタで工場出荷時設定の給紙トレイの割り当てが使用されます。 201—給紙トレイで用紙フィーダーの選択コマンドが無視されます。
トレイ番号変更 出荷時標準設定を表示	各給紙トレイに割り当てられている出荷時設定値を表示します。
トレイ番号変更 標準設定に戻す	トレイ番号変更の値を工場出荷時設定に復元します。
印刷タイムアウト オフ オン* (90)	指定した時間(秒)アイドル状態が続いた場合に印刷ジョブを終了するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

HTML

メニュー項目	説明
フォント名 [フォントの一覧](Times *)	HTML ドキュメントに使用するフォントを設定します。
フォントサイズ 1 ~ 255(12*)	HTML ドキュメントで使用するフォントサイズを設定します。
倍率 1 ~ 255%(100*)	HTML ドキュメントを拡大/縮小します。
原稿の向き 縦* 横	HTML ドキュメントのページの用紙の向きを設定します。
余白 8 ~ 255 mm(19*)	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。
下地 印刷しない 印刷*	HTML ドキュメントの背景情報またはグラフィックスを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

イメージ

メニュー項目	説明
自動合わせ オフ オン*	イメージで利用可能な最適な用紙サイズと向きの設定を選択します。 メモ: [オン]に設定した場合、このメニュー項目では、イメージの拡大/縮小と向きの設定は上書きされます。
反転 オフ* オン	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: このメニュー項目は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
倍率 自動合わせ* 左上隅に固定 中央に固定 高さ/幅に合わせる 高さに合わせる 幅に合わせる	イメージ印刷領域に合わせてイメージを調整します。 メモ: [自動合わせ]を[オン]に設定すると、[倍率]は自動的に[自動合わせ]に設定されます。
原稿の向き 縦* 横 縦の反転 横の反転	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

用紙

トレイ設定

メニュー項目	説明
初期設定給紙トレイ トレイ [x] (1*) 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブの給紙トレイを設定します。 メモ: 多目的フィーダーは、[多目的フィーダー設定]が[トレイ]に設定されている場合のみ、表示されます。
用紙サイズ/タイプ トレイ [x] 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	各給紙トレイにセットされている用紙のサイズまたは用紙タイプを指定します。
代替サイズ オフ レター/A4 一覧のすべて*	要求したサイズの用紙が給紙トレイにセットされていない場合に、指定のサイズの用紙を代替で使用するかどうかを設定します。 メモ: • [オフ]に設定すると、必要なサイズの用紙をセットするように画面に指示が表示されます。 • [レター/A4]に設定すると、レターがセットされている場合は A4 サイズのドキュメントがレターに印刷され、A4 がセットされている場合はレターサイズのドキュメントが A4 に印刷されます。 • [一覧のすべて]に設定すると、レターと A4 の代替が行われます。
MP を構成する トレイ* 手差し 優先	プリンタで、多目的フィーダーにセットされている用紙をいつ選択するかを設定します。 メモ: • [トレイ]に設定した場合、多目的フィーダーはトレイのように扱われます。 • [手差し]に設定した場合、多目的フィーダーは手差しフィーダーのように扱われます。 • [優先]に設定すると、要求された給紙トレイや用紙のサイズに関係なく、多目的フィーダーに用紙がセットされている場合は多目的フィーダーから用紙が選択されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

用紙構成

ユニバーサル設定

メニュー項目	説明
測定単位 インチ ミリメートル	ユニバーサル用紙の測定方法を指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[インチ]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[ミリメートル]になっています。
縦長の幅 3 ~ 52 インチ(8.50*) 76 ~ 1321 mm(216*)	ユニバーサル用紙の縦長の幅を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
縦長の高さ 3 ～ 52 インチ(14＊) 76 ～ 1321 mm(356＊)	ユニバーサル用紙の縦長の縦の長さを設定します。
給紙方向 短辺＊ 長辺	プリンタが短辺と長辺のいずれから用紙を選択するかを設定します。 メモ: [長辺]は、長い方の辺がサポートされる最大幅よりも短い場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(＊)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

カスタムスキャンサイズ

メニュー項目	説明
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 幅 1 ～ 8.50 インチ(8.50＊) 25 ～ 216 mm(216＊) 高さ 1 ～ 14 インチ(14＊) 25 ～ 356 mm(297＊) 原稿の向き 縦＊ 横 2 in 1 スキャン オフ＊ オン	スキャンサイズ名を割り当てて、スキャン設定を構成します。

用紙の種類

メニュー項目	説明
普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル紙 ビニールラベル紙 ボンド紙 封筒 粗い封筒 レターヘッド紙 事前印刷用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙種[x]	セットされた用紙の粗さ、重量、方向を指定します。

コピー

コピー初期設定

メニュー項目	説明
コンテンツタイプ 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
コンテンツソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
片面/両面 片面->片面 * 片面->両面 両面->片面 両面->両面	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
挿入紙 なし * 各コピー部数の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ [x] (1 *) 多目的フィーダー	挿入紙の給紙トレイを指定します。
ページ集約 オフ * 縦 2 in 1 縦 4 in 1 横 2 in 1 横 4 in 1	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷するように指定します。
ページ枠を印刷 オフ * オン	単一のページに複数のページを印刷する場合に、各画像の周囲に枠線を配置します。
ソート(1 部ごと) オフ [1,1,1,2,2,2] オン [1,2,1,2,1,2] *	順番に複数部印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
コピー元のサイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 - このメニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
コピー先の給紙源 トレイ [x](1*) 多目的フィーダー 自動サイズ調整	コピージョブの給紙トレイを指定します。
濃度 -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
コピー部数 1 ~ 9999(1*)	部数を指定します。
ヘッダー/フッター 上部左 上部中央 上部右 下部左 下部中央 下部右	印刷出力にヘッダーまたはフッターを適用します。
オーバーレイ コンフィデンシャル コピー 下書き 至急 カスタム オフ*	コピージョブの各ページにオーバーレイ印刷する文字を指定します。
カスタムオーバーレイ	カスタムオーバーレイテキストを入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラー削除 なし * レッド グリーン ブルー 赤色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中に削除するカラーを指定し、そのカラーの削除設定を調整します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
下地調整 下地の検出 レベル	スキャン画像における下地の濃さを調節します。 メモ: 原稿から下地の色を削除する場合は、[下地の検出]を[自動]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[下地の検出]を[固定]に設定します。
自動中央揃え オフ * オン	コンテンツをページの中央に合わせます。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガポジ反転 オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ調整 -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端までスキャン オフ * オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3 *)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
フィルム区切り紙 オフ オン*	各 OHP フィルムの間に白紙を挿入します。
優先コピーを許可 オフ オン*	印刷ジョブに割り込んで、ページまたはドキュメントをコピーします。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	カスタムコピー設定をショートカットとして保存できるようにします。
サンプルコピー	サンプルコピーを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX

FAX モード

メニュー項目	説明
FAX モード アナログ* FAX サーバー 無効	FAX モードを選択します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

アナログ FAX 設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
FAX 名	FAX 機を識別します。
FAX 番号	FAX 番号を識別します。
Fax ID FAX 名 FAX 番号*	FAX 名または FAX 番号の FAX 受信者に通知します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
手差し FAX を有効化 オフ* オン	プリンタで FAX を手動で送受信する設定を行います。 メモ: - このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]または[G711]に設定されている場合には表示されません。 - このメニュー項目には、電話回線スプリッタと電話の受話器が必要となります。 - FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話回線で行います。 - 手動 FAX 機能に直接移動するには、キーパッドで # と 0 をタッチします。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等* ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送受信用に割り当てられた内部プリンタメモリ容量を設定します。 メモ: このメニュー項目により、メモリバッファ状態や FAX の失敗が防止されます。
FAX をキャンセル 許可* 許可しない	送信 FAX を送信前にキャンセルしたり、受信 FAX を印刷終了前に受信をキャンセルします。
発信者 ID オフ オン* 代替	FAX 送信者の電話番号を表示します。
FAX 番号のマスクング オフ* 左から 右から	送信 FAX 番号をマスクングする形式を指定します。
マスクングする桁数 0 ~ 58(0*)	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。
接続回線の検出を有効化 オフ オン*	電話回線がプリンタに接続されているかどうかを確認します。 メモ: - プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。 - このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]に設定されている場合には表示されません。
間違ったジャックの回線の検出を有効化 オフ* オン	電話回線がプリンタの正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 メモ: - プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。 - このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]に設定されている場合には表示されません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
使用中サポートの拡張を有効化 オフ オン*	同じ回線上の別の電話などの別のデバイスで電話回線が使用されているかどうかを確認します。 メモ: - このメニュー項目により、プリンタの電源をオンにした後は常に監視が行われます。 - このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]に設定されている場合には表示されません。
FAX 互換性の最適化	他の FAX 機との互換性を最適化するために、プリンタの FAX 機能を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX 送信設定

メニュー項目	説明
解像度 標準* 精細 高精細 超高精細	スキャンした画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度を高くするほど FAX 送信にかかる時間が長くなり、多くのメモリが必要となります。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混合]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
用紙の向き ポートレート* 横長	原稿の向きを指定します。
印刷面 オフ* 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
内容の種類 文字* 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー* カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
濃さ -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
PABX 経由 オフ* オン	プリンタで、ダイヤルトーンを待機することなく FAX 番号をダイヤルするかどうかを設定します。 メモ: 構内自動交換機(PABX)は、単一のアクセス番号で外部発信者に複数の回線を共有するための電話網です。
ダイヤルモード トーン* パルス	送信 FAX または受信 FAX のダイヤルモードを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス -4 ~ 4(0*)	各色のトナー使用量を調整します。
カラードロップアウト なし* 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
コントラスト 内容に合わせて最適化* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを設定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース* ノイズ レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。 写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端までスキャン オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
自動リダイヤル 0 ~ 9(5*)	受信側 FAX 機器のアクティビティレベルに応じて、リダイヤル回数を調整します。
リダイヤル間隔 1 ~ 200 分(3*)	FAX が正常に送信される確率を高めるために、リダイヤル再試行までの間隔を長くします。
ECM を有効化 オフ オン*	FAX ジョブのエラー訂正モード(ECM)を有効にします。 メモ: FAX 送信処理において、電話回線ノイズや低下した信号強度のために、FAX 送信で発生したエラーを ECM が検出および修正します。
FAX スキャンを有効化 オフ オン*	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。
FAX ドライバ オフ オン*	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存できるようにします。
速度優先 33600* 14400 9600 4800 2400	FAX 送信の最大速度を設定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャンプレビュー オフ* オン	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
カラー FAX スキャン有効化 標準設定でオフ* 標準設定でオン 使用しない 常に使用	FAX のカラースキャンを有効にします。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 オフ オン*	カラーの送信 FAX をすべてモノクロに変換します。
FAX 番号を確認 オフ* オン	ユーザーに FAX 番号を確認するように依頼します。
ダイヤルプレフィックス	ダイヤルプレフィックスを設定します。
ダイヤルプレフィックスルール プレフィックスルール [x]	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX 受信設定

メニュー項目	説明
FAX ジョブ待機中 なし* トナー トナーと消耗品	利用できない特定のリソースを要求する FAX ジョブを印刷キューから削除します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
呼び出し回数 1 ~ 25(3*)	受信 FAX の着信音の回数を設定します。
自動縮小 オフ オン*	ページに合わせて受信 FAX を縮小します。
トレイ指定 トレイ [x] 多目的フィーダー 自動*	受信 FAX を印刷する際の給紙トレイを指定します。
両面 オフ* オン	用紙の両面に印刷します。
挿入紙 なし* ジョブ前 ジョブ後	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
挿入紙のトレイ指定 トレイ [x] (1*) 多目的フィーダー	挿入紙の給紙トレイを指定します。
排紙トレイ 標準排紙トレイ	受信 FAX の排紙トレイを指定します。
FAX フッター オン オフ*	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。
FAX フッター日時スタンプ 受信* 印刷	受信 FAX の各ページの下に、タイムスタンプを印刷します。
FAX 保持 FAX 保持設定 オフ* 常にオン 手動 予約	受信 FAX がリリースされるまで印刷を保留します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
FAX 受信を有効化 オフ オン*	FAX を受信するようにプリンタを設定します。
発信者番号表示を有効化 オフ オン*	受信 FAX を送信している番号を表示します。
無記名の FAX をブロック オフ* オン	発信電話番号または FAX ID が設定されていない機器から送信された受信 FAX をブロックします。
禁止された FAX 一覧 禁止された FAX を追加	ブロックする電話番号を指定します。
受信の設定 すべて* 着信音 1 回のみで受信 着信音 2 回のみで受信 着信音 3 回のみで受信 着信音 1 回または 2 回のみで受信 着信音 1 回または 3 回のみで受信 着信音 2 回または 3 回のみで受信	受信 FAX の FAX 専用呼出音を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自動受信 オフ オン *	FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
手動受信コード 0 ~ 9(9*)	電話番号パッドでコードを手動で入力し、FAX 受信を開始します。 メモ: - このメニュー項目は、プリンタと電話が同じ回線を共有している場合のみ、表示されます。 - このメニュー項目は、FAX を手動で受信するようにプリンタを設定している場合のみ表示されます。
FAX 転送 印刷 * 印刷して転送 転送	受信 FAX の転送方法を指定します。
転送先 宛先 [x] タイプ ショートカット番号	受信 FAX の転送先を指定します。
確認用 E メール	FAX が正常に転送されると、確認用 E メールが送信されます。 メモ: この E メールは、FTP またはネットワークを共有する送信先に転送する場合のみ、送信されます。
送信最大ビット速度 33600 * 14400 9600 4800 2400	FAX 転送の最高速度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX カバーシートページ

メニュー項目	説明
FAX カバーシートページ 初期設定でオフ＊ 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX 送付状ページの設定を構成します。
宛先を含める オフ＊ オン	
送信者を含める オフ＊ オン	
送信者名	
本文を含める オフ＊ オン	
本文:	
ロゴを含める オフ＊ オン	
フッター[x]を含める オフ＊ オン	
フッター[x]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(＊)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX ログ設定

メニュー項目	説明
送信ログ ログを印刷 * ログを印刷しない エラー時のみ印刷	FAX の正常送信および送信エラーのログを印刷します。
受信エラーログ 印刷しない * エラー時に印刷	ファクス受信エラーのログを印刷します。
自動印刷ログ オン * オフ	すべての FAX アクティビティを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
給紙源を記録 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	ログを印刷する際に用紙を使用する給紙トレイを指定します。
ログ表示 リモート FAX 名 * ダイヤル番号	リモート FAX 名または FAX 番号で送信者を特定します。
ジョブログを有効化 オン * オフ	すべての FAX ジョブの概要を表示します。
通話ログを有効化 オン * オフ	FAX 発信履歴の概要を表示します。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ * 排紙トレイ[x]	印刷したログの排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

スピーカー設定

メニュー項目	説明
スピーカーモード 常にオフ 常にオン 接続されるまでオン *	FAX のスピーカーモードを設定します。
スピーカー音量 低 * 高	FAX のスピーカー音量を調整します。
着信音量 オフ オン *	着信音量を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX サーバー設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
送信先形式	FAX 送信先を指定します。 メモ: FAX 番号を使用する場合は、番号の前にシャープ(#)を入力します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
件名	FAX の件名とメッセージを指定します。
メッセージ	
アナログ受信を有効化 オフ* オン	アナログ FAX を受信するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX サーバー E メール設定

メニュー項目	説明
一次 SMTP ゲートウェイ	E メール送信用のプライマリ SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25 *)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25 *)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30 (30 *)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
SMTP の標準返信アドレスを常に使用する オフ オン *	FAX を送信するための SMTP 返信アドレスを指定します。
SSL/TLS を使用 無効 * 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して FAX を送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書が必要 オフ オン *	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書を指定します。
SMTP サーバー認証 認証不要 * ログイン/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証の種類を設定します。
デバイスから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ユーザーから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションユーザー ID およびパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ オン *	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ送信先を有効にします。
デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ * オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX サーバースキャン設定

メニュー項目	説明
イメージ形式 TIFF (.tif) PDF (.pdf) * XPS (.xps) TXT (.txt) RTF (.rtf) DOCX (.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
内容の種類 文字 テキスト/写真 * 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX 解像度 標準 * 精細 スーパーファイン ウルトラファイン	FAX の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9(5*)	出力の濃さを設定します。
用紙の向き ポートレート* 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混合]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 - この設定は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン*	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

E メール

E メール設定

メニュー項目	説明
プライマリ SMTP ゲートウェイ	E メール送信用のプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
プライマリ SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
セカンダリ SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
セカンダリ SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30 秒(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	Eメールの返信アドレスを指定します。
SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オン* オフ	SMTP サーバーで標準設定の返信アドレスを常に使用します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SSL/TLS 使用 無効 * ネゴシエーション 必須	暗号化されたリンクを使用して E メールを送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン *	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書が必要となります。
SMTP サーバー認証 使用しない * Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証の種類を設定します。
デバイスから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションユーザー ID およびパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ オン *	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ指定を有効にします。
SMTP サーバーのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
SMTP サーバーのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ * オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

E メール標準設定

メニュー項目	説明
件名	E メール の 件名 とメッセージを指定します。
メッセージ	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
形式 PDF (.pdf) * TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps) TXT (.txt) RTF (.rtf) DOC (.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識 (OCR) の設定を行います。 メモ: このメニュー項目は、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合にのみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b 高圧縮 オフ * オン セキュア オフ * オン 検索可能 オフ * オン アーカイブ (PDF/A) オフ * オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。
内容の種類 文字 テキスト/写真 * 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿に基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー * 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ -4 ~ 4(0 *)	スキャンした画像の濃さを調整します。
用紙の向き ポートレート * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: 工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス -4 ~ 4(0 *)	各色のトナー使用量を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラードロップアウト なし＊ 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ～ 255(128＊) 緑色 標準しきい値 0 ～ 255(128＊) 青色 標準しきい値 0 ～ 255(128＊)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ～ 9(5＊) 領域感度 1 ～ 9(5＊)	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化＊ 5 ～ 95	JPEG 形式のスキャン画像の品質を設定します。 メモ: 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 95 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 内容に合わせて最適化＊ 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース＊ ノイズ レベル -4 ～ 4(0＊)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
左右反転 オフ＊ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ＊ オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ～ 4(0＊)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(＊)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
端までスキャン オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
空白ページ 白紙の除去 空白ページの感度	空白ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
Eメールの最大サイズ 0 ~ 65535(0*)	各 Eメールのファイルサイズの上限を設定します。
サイズのエラーメッセージ	Eメールがファイルサイズの上限を超えた場合、プリンタから送信されるエラーメッセージを指定します。 メモ: 1,024 文字以下で入力します。
送信先を制限	指定したリストのドメイン名にのみ Eメールの送信を制限します。 メモ: カンマを使用して、各ドメインを区切ります。
自分にコピーを送信 表示しない* 標準設定でオン 標準設定でオフ 常にオン	自分自身に Eメールのコピーを送信します。
Eメール受信者を制限 オフ* オン	Eメール受信者数を制限します。
cc: /bcc:を使用 オフ* オン	Eメールの CC および BCC を有効にします。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮オプションを設定します。
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
文字/写真標準設定 5 ～ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ～ 95(50*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
E メールビット深度 1 ビット 8 ビット*	1 ビット画像を使用することで、文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[グレー]に設定されている場合にのみ、表示されます。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラーのみ印刷	送信に成功した E メールログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	ログを印刷する際に用紙を使用する給紙源を指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	E メールアドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: [オフ]を選択すると、Eメールの[送信先]画面に[ショートカットとして保存]ボタンが表示されません。
E メールによる画像送信方法 添付ファイル* Web リンク	E メールで画像を送信する方法を指定します。
送信後に E メール情報をリセットする オフ オン*	Eメールの送信後、標準設定の E メール情報に戻します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

Web リンク設定

メニュー項目	説明
サーバー	Web リンクとして E メールを送信するように、プリンタを設定します。
ログイン	
パスワード	
パス	
ファイル名	
Web リンク	

FTP

FTP 標準設定

メニュー項目	説明
形式 PDF (.pdf) * TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps) TXT (.txt) RTF (.rtf) DOCX (.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニューは、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合のみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b セキュア オフ * オン アーカイブ(PDF/A) オフ * オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。
内容の種類 文字 テキスト/写真 * グラフィックス 写真	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー * 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ -4 ~ 4(0 *)	スキャンした画像の濃さを調整します。
用紙の向き ポートレート * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 - メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス -4 ~ 4(0 *)	スキャン出力の各色のトナー使用量を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラードロップアウト なし * 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5 *) 領域感度 1 ~ 9(5 *)	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 * 5 ~ 95	JPEG 形式画像の品質を設定します。 メモ: 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 内容に合わせて最適化 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース * ノイズ レベル -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
端までスキャン オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
空白ページ 白紙の除去 空白ページの感度	空白ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真画像の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(50*)	スキャン画像の写真画像の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮オプションを設定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラーのみ印刷	成功した FTP スキャン送信のログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	FTP ログを印刷する際の給紙源を指定します。
FTP ビット深度 1 ビット 8 ビット*	1 ビット画像を使用することで、文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[グレー]に設定されている場合にのみ、表示されます。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	カスタム FTP 設定をショートカットとして保存します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

USB ドライブ

フラッシュドライブスキャン

メニュー項目	説明
形式 PDF(.pdf) * TIFF(.tif) JPEG(.jpg) XPS(.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: 設定は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニューは、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合のみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b セキュア オフ * オン アーカイブ(PDF/A) オフ * オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容の種類 文字 テキスト/写真 * グラフィックス 写真	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー * 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ～ 9(5 *)	スキャンした画像の濃さを調整します。
用紙の向き ポートレート * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 - このメニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス	各色のトナー使用量を調整します。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし * 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5 *) 領域感度 1 ~ 9(5 *)	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 * 5 ~ 95	JPEG 形式画像の品質を設定します。 メモ: 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 内容に合わせて最適化 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース * ノイズ レベル -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端までスキャン オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
空白ページ 白紙の除去 空白ページの感度	空白ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮を設定します。
スキャンビット深度 1 ビット 8 ビット*	1 ビット画像を使用することで、文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[グレー]に設定されている場合にのみ、表示されます。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

フラッシュメモリ印刷

メニュー項目	説明
コピー部数 1 ~ 9999(1*)	コピーの枚数を設定します。
給紙トレイ トレイ [x](1*) 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	印刷ジョブの給紙トレイを設定します。
部単位印刷 (1,1,1)(2,2,2) (1,2,3)(1,2,3)*	順番に複数部印刷します。
印刷面 片面* 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺* 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙の辺(長辺または短辺)が綴じられていないかどうかを確認します。 メモ: 選択したオプションに応じて、プリンタはページの各印刷情報を自動的にオフセットしてジョブを正しく綴じます。
ページ集約 オフ* [n] ページ/面	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向(左から)* 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページの画像の位置を指定します。 メモ: 配置は、ページの画像数とページの方角によって異なります。
原稿セット方向 自動* 横 縦	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページのドキュメントの位置を指定します。
ページ枠 なし* 実線	[ページ/面]を使用する場合に、各ページ画像に枠線を印刷します。
挿入紙 オフ* 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ [x](1*) 多目的フィーダー	挿入紙の給紙トレイを指定します。 メモ: 多目的フィーダーを表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
空白ページ 印刷しない* 印刷する	印刷ジョブで空白ページを印刷するかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ネットワーク/ポート

ネットワークの概要

メニュー項目	説明
アクティブアダプタ 自動* 標準ネットワーク ワイヤレス	ネットワークの接続方法を指定します。 メモ: ワイヤレスネットワークアダプタが取り付けられている場合のみ、[ワイヤレス]が表示されます。
ネットワーク状況	プリンタのネットワークの接続状態を示します。
プリンタにネットワークの状態を表示 オン* オフ	ディスプレイにネットワーク状態を表示します。
速度、通信モード	現在有効になっているネットワークカードの速度を示します。
IPv4	IPv4 アドレスを表示します。
すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
プリントサーバーをリセット	プリンタへのアクティブなネットワーク接続すべてをリセットします。 メモ: この設定により、すべてのネットワーク設定が削除されます。
ネットワークジョブのタイムアウト オフ オン* (90 秒)	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの秒数を設定します。
バナーページ オフ* オン	バナーページを印刷します。
ポートの範囲 9751:12000*	ポートをブロックしているファイアウォールの背後にあるプリンタに対して、有効なポート範囲を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ワイヤレス

メモ: このメニューは、Wi-Fi ネットワークに接続されているプリンタまたはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
モバイルアプリを使用した設定	Lexmark Mobile Assistant を使用して Wi-Fi 接続を設定します。

メニュー項目	説明
プリンタパネルで設定 ネットワークを選択 Wi-Fi ネットワークを追加 ネットワーク名 ネットワークモード インフラストラクチャ ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	操作パネルを使用して Wi-Fi 接続を設定します。 メモ: 802.1x - RADIUS は、EWS からのみ設定できます。
WPS(Wi-Fi Protected Setup) プッシュボタン方式を開始 暗証番号方式を開始	Wi-Fi ネットワークを確立して、ネットワークセキュリティを有効にします。 メモ: • [プッシュボタン方式を開始]を選択した場合、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方のボタンを一定時間内に押すと、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されます。 • [暗証番号方式を開始]では、プリンタの暗証番号がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されます。
ネットワークモード BSS の種類 インフラストラクチャモード *	ネットワークモードを設定します。
Wi-Fi ダイレクトを有効化 オン オフ *	wifi ダイレクト対応デバイスを有効化して、プリンタに直接接続します。
互換性 802.11b/g/n(2.4GHz) * 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz) 802.11a/n/ac(5GHz)	Wi-Fi ネットワークの規格を指定します。 メモ: 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz)および 802.11a/n/ac(5GHz)は、Wi-Fi オプションがインストールされている場合にのみ表示されます。
ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	プリンタを Wi-Fi デバイスに接続する際のセキュリティモードを設定します。 メモ: 802.1x - RADIUS は、EWS からのみ設定できます。
WEP 認証モード 自動 * オープン 共有	プリンタの WEP (Wireless Encryption Protocol) の種類を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。
WEP キーの設定	安全な Wi-Fi 接続のための WEP パスワードを指定します。
WPA2/WPA - Personal AES	WPA(Wi-Fi Protected Access)を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2/WPA - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有キーの設定	安全な Wi-Fi 接続のためのパスワードを指定します。

メニュー項目	説明
WPA2 - Personal AES	WPA2 を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2 - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
802.1x 暗号化モード WPA+ WPA2 *	802.1x 規格を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: - このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[802.1x - RADIUS]に設定されている場合にのみ表示されます。 802.1x - RADIUS は、EWS からのみ設定できます。
IPv4 DHCP を有効化 オン * オフ 静的 IP アドレスを設定 IP アドレス ネットマスク ゲートウェイ	動的ホスト構成プロトコル(DHCP)を有効にし、静的 IP アドレスを設定します。 メモ: DHCP は、サーバーで IP アドレスと構成情報をクライアントに動的に割り当てる標準プロトコルです。
IPv6 IPv6 を有効化 オン * オフ DHCPv6 を有効化 オン オフ * ステートレスアドレスの自動設定 オン * オフ DNS サーバーアドレス IPv6 アドレスの手動割り当て IPv6 ルーターの手動割り当て アドレスプレフィックス すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	プリンタの IPv6 設定を有効化して設定します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
PCL スマートスイッチ オフ オン *	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL 設定に切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン *	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。

メニュー項目	説明
ジョブバッファ オン オフ*	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: • [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。

イーサネット

メニュー項目	説明
ネットワーク速度	アクティブなネットワークアダプタの速度を表示します。
IPv4 DHCP を有効化 オン* オフ	動的ホスト構成プロトコル(DHCP)を有効にします。 メモ: DHCP は、サーバーで IP アドレスと構成情報をクライアントに動的に割り当てる標準プロトコルです。
IPv4 静的 IP アドレスを設定 IP アドレス ネットマスク ゲートウェイ	プリンタの静的 IP アドレスを設定します。
IPv6 IPv6 を有効化 オフ オン*	プリンタの IPv6 を有効にします。
IPv6 DHCPv6 を有効化 オフ* オン	プリンタの DHCPv6 を有効にします。
IPv6 ステートレスアドレスの自動設定 オフ オン*	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成エントリを受信できるように、ネットワークアダプタを設定します。
IPv6 DNS サーバーアドレス	DNS サーバーアドレスを指定します。
IPv6 IPv6 アドレス(手動割り当て)	IPv6 アドレスを割り当てます。
IPv6 IPv6 ルーター(手動割り当て)	IPv6 アドレスを割り当てます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
IPv6 アドレスプレフィックス 0 ~ 128(64*)	アドレスプレフィックスを指定します。
IPv6 すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 すべての IPv6 ルーターアドレス	すべての IPv6 ルーターアドレスを表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	プリンタの MAC (Media Access Control) アドレスを、LAA (Locally Administered Address) または UAA (Universally Administered Address) で示します。 メモ: プリンタの LAA は、手動で変更できます。
PCL スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファリング オフ オン*	印刷前にジョブをプリンタのハードディスクに一時的に保存します。 メモ: - このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。 - このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。
省電力型イーサネット オフ オン*	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合に、電力消費を節約します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

TCP/IP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
DHCP/BOOTP による NTP サーバーの更新を許可 オフ オン*	DHCP および BOOTP クライアントによる、プリンタの NTP 設定の更新を許可します。
ゼロコンフィグレーション名	ゼロコンフィグレーションネットワークのサービス名を指定します。
自動 IP を有効化 オフ* オン	IP アドレスを自動的に割り当てます。
DNS サーバーアドレス	現在のドメイン名システム (DNS) サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス 2	
バックアップ DNS アドレス 3	
ドメイン検索順序	ドメイン名のリストを指定して、ネットワーク上の異なるドメインに存在するプリンタとそのリソースを確認します。
DDNS を有効化 オフ* オン	動的 DNS 設定を更新します。
DDNS TTL 300 ~ 31536000 (3600*)	現在の DDNS 設定を指定します。
初期設定 TTL 5 ~ 254 (254*)	
DDNS 更新時間 300 ~ 31536000 (604800*)	
mDNS を有効化 オフ オン*	マルチキャスト DNS 設定を更新します。
WINS アドレス	Windows インターネットネームサービス (WINS) のサーバーアドレスを指定します。
BOOTP を有効化 オフ* オン	BOOTP によるプリンタの IP アドレスの割り当てを許可します。
制限サーバーリスト	TCP 接続のための IP アドレスを指定します。 メモ: - カンマを使用して、各 IP アドレスを区切ります。 - 最大 50 件の IP アドレスを追加できます。
制限サーバーリストのオプション すべてのポートをブロック* 印刷のみをブロック 印刷および HTTP のみをブロック	リスト内の IP アドレスがプリンタ機能にアクセスする方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
MTU 256 ~ 1500(1500*)	TCP 接続のための最大伝送単位 (MTU) パラメータを指定します。
RAW 印刷ポート 1 ~ 65535(9100*)	ネットワーク上で接続されるプリンタの RAW ポート番号を指定します。
アウトバウンドトラフィックの最高速度 オフ* オン	プリンタの最大転送レートを有効にします。
SSLv2 を有効化 オフ* オン	SSLv2 プロトコルを有効にします。
SSLv3 を有効化 オフ* オン	SSLv3 プロトコルを有効にします。
TLSv1.0 を有効化 オフ オン*	TLSv1.0 プロトコルを有効にします。
TLSv1.1 を有効化 オフ オン*	TLSv1.1 プロトコルを有効にします。
SSL 暗号リスト	SSL 接続または TLS 接続に使用する暗号アルゴリズムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

SNMP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 1 および 2c 有効 オフ オン* SNMP の設定を許可 オフ オン* プリンタポートモニタ MIB を有効化 オフ オン* SNMP コミュニティ	簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) のバージョン 1 および 2c を構成して、プリンタドライバとアプリケーションをインストールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 3 有効 オフ オン * 読み取り/書き込み認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 読み取り専用認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード ハッシュ値認証 MD5 SHA1 * 最低認証レベル 認証なし、暗号化なし 認証あり、暗号化なし 認証あり、暗号化あり * プライバシーアルゴリズム DES AES-128 *	SNMP バージョン 3 を構成して、プリンタのセキュリティをインストールおよび更新します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

IPSec

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
IPSec を有効化 オフ * オン	Internet Protocol Security (IPSec) を有効にします。
基本構成 初期設定 * 互換性 セキュア	IPSec の基本構成を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
DH (Diffie-Hellman) グループ提案 modp2048 (14) * modp3072 (15) modp4096 (16) modp6144 (17)	IPSec 暗号化を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
提案された暗号化方式 3DES AES *	ネットワークに安全に接続するために、暗号化方式と認証方式を指定します。 メモ: これらのメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
提案された認証方式 SHA1 SHA256 * SHA512	
IKE SA の寿命(時間) 1 2 4 8 24 *	新しい認証キーが生成されるまでの時間を設定します。 メモ: これらのメニュー項目は、[基本構成]が[セキュア]に設定されている場合にのみ、表示されます。
IPsec SA の寿命(時間) 1 2 4 8* 24	
IPSec デバイス証明書	IPSec 証明書を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有鍵で認証された接続 ホスト [x] アドレス キー	プリンタの認証済みの接続を設定します。 メモ: これらのメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
証明書認証接続 ホスト [x] アドレス[/サブネット] アドレス[/サブネット]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

802.1x

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
アクティブ オフ * オン	アクセスを許可する前に認証を要求するネットワークにプリンタが参加できるようにします。 メモ: このメニュー項目を設定するには、EWS にアクセスします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

LPD 設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
LPD タイムアウト 0 ~ 65535 秒(90*)	タイムアウト値を設定して、Line Printer Daemon (LPD) サーバーが停止または無効な印刷ジョブのために無制限に待機しないようにします。
LPD バナーページ オフ* オン	すべての LPD 印刷ジョブのバナーページを印刷します。 メモ: バナーページは、印刷ジョブの最初のページで、印刷ジョブの区切りとして使用され、印刷ジョブ要求の送信元を識別します。
LPD 最終ページ オフ* オン	すべての LPD 印刷ジョブの最終ページを印刷します。 メモ: 最終ページは、印刷ジョブの最後のページです。
LPD キャリッジリターン変換 オフ* オン	キャリッジリターン変換を有効にします。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

HTTP/FTP の設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
HTTP サーバを有効化 オフ オン*	EWS にアクセスして、プリンタの監視および管理を行います。
HTTPS を有効化 オフ オン*	ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア (HTTPS) 設定を構成します。
強制的に HTTPS で接続 オフ* オン	強制的にプリンタが HTTPS で接続するようにします。
FTP/TFTP を有効化 オフ オン*	FTP を使用して、ファイルを送信します。
ローカルドメイン	HTTP および FTP サーバーのドメイン名を指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
HTTP プロキシ IP アドレス	HTTP および FTP サーバーの設定を構成します。 メモ: これらのメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
FTP プロキシ IP アドレス	
HTTP 標準 IP ポート 1 ~ 65535(80*)	
HTTPS デバイス証明書	
FTP 標準 IP ポート 1 ~ 65535(21*)	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
HTTP/FTP 要求のタイムアウト 1 ~ 299(30*)	サーバー接続が停止するまでの時間を指定します。
HTTP/FTP 要求の再試行回数 1 ~ 299(3*)	HTTP/FTP サーバーへの接続を再試行する回数を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ThinPrint

メニュー項目	説明
ThinPrint を有効化 オフ オン*	ThinPrint を使用して印刷します。
ポート番号 4000 ~ 4999(4000*)	ThinPrint サーバーのポート番号を設定します。
帯域幅(ビット/秒) 100 ~ 1000000(0*)	ThinPrint 環境でデータを転送する速度を設定します。
パケットサイズ(KB) 0 ~ 64000(0*)	データ転送のパケットサイズを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

USB

メニュー項目	説明
PCL スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファリング オフ* オン	印刷前にジョブをプリンタのハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
Mac バイナリ PS オン 自動 * オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: • [オン]に設定すると、プリンタは Macintosh オペレーティングシステムを使用しているコンピュータからの RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。 • [自動]に設定すると、プリンタは Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用しているコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 • [オフ]に設定すると、プリンタは標準プロトコルを使用して PostScript 印刷ジョブをフィルタリングします。
USB ポートを有効化 オフ オン *	標準 USB ポートを有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

Google クラウド プリント

メニュー項目	説明
登録 登録	Google クラウドプリントサーバーにプリンタを登録します。
オプション Google クラウドプリントを有効化 オフ オン *	Google アカウントから直接印刷します。
オプション ローカルディスカバリを有効化 オフ オン *	登録ユーザーおよび同じサブネットの他のユーザーがプリンタにローカルにジョブを送信できるようにします。
オプション SSL ピア検証を有効化 オフ オン *	Google アカウントに接続するために、ピア証明書の信頼性を確認します。
オプション 常に画像として印刷 オフ * オン	PDF ファイルを画像として処理するように設定して高速で印刷できます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

Wi-Fi Direct

メモ: このメニューは、ダイレクト Wi-Fi ネットワークがアクティブなネットワークの場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SSID	Wi-Fi ネットワークの SSID (Service Set Identifier) を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
事前共有キーの設定	Wi-Fi 接続時にユーザーを認証および検証するための事前共有キー (PSK) を設定します。
設定ページに PSK を表示 オフ オン *	ネットワーク設定ページに PSK を表示します。
グループオーナー IP アドレス	グループオーナーの IP アドレスを指定します。
自動受け付けプッシュボタン要求 オフ * オン	ネットワークへの接続リクエストを自動的に受け付けます。 メモ: クライアントの自動受け付けはセキュリティ保護されません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (＊) は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

セキュリティ

ログイン方式

権限を管理

メニュー項目	説明
機能アクセス アプリ内のアドレス帳にアクセス アドレス帳を変更 ショートカット管理 プロファイルの作成 ブックマークの管理 フラッシュメモリ印刷 フラッシュメモリカラー印刷 フラッシュメモリスキャン コピー機能 カラーコピー印刷 カラー削除 E メール機能 FAX 機能 FTP 機能 保持された FAX をリリース 保留ジョブへのアクセス ユーザープロファイル デバイスの [ジョブをキャンセル] 言語設定 インターネット印刷プロトコル (IPP) リモートでスキャンを開始 B/W 印刷 カラー印刷	プリンタ機能へのアクセスを制御します。

メニュー項目	説明
管理者メニュー セキュリティメニュー ネットワーク/ポートメニュー 用紙メニュー レポートメニュー 機能設定メニュー 消耗品メニュー オプションカードメニュー SE メニュー デバイスメニュー	プリンタメニュー設定へのアクセスを制御します。
デバイス管理 リモート管理 ファームウェア更新 アプリケーション設定 操作パネルロック すべての設定をインポート/エクスポート データ完全消去	プリンタ管理オプションへのアクセスを制御します。
アプリ 新しいアプリケーション カードコピー スキャンセンター スキャンセンターユーザー定義 1 スキャンセンターユーザー定義 2 スキャンセンターユーザー定義 3 スキャンセンターユーザー定義 4 スキャンセンターユーザー定義 5 スキャンセンターユーザー定義 6 スキャンセンターユーザー定義 7 スキャンセンターユーザー定義 8 スキャンセンターユーザー定義 9 スキャンセンターユーザー定義 10 用紙とお気に入り	プリンタのアプリケーションへのアクセスを制御します。

ローカルアカウント

メニュー項目	説明
グループ/権限を管理 グループの追加 アクセス制御をインポート 機能アクセス 管理者メニュー デバイス管理 アプリ 全ユーザー アクセス制御をインポート 機能アクセス 管理者メニュー デバイス管理 アプリ 管理者	プリンタ機能、アプリケーション、およびセキュリティ設定へのグループまたはユーザーアクセスを制御します。
ユーザーの追加 ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード 暗証番号	ローカルアカウントを作成して、プリンタ機能へのアクセスを管理します。
ユーザー名/パスワードアカウント ユーザーの追加	
ユーザー名アカウント ユーザーの追加	
パスワードアカウント ユーザーの追加	
PIN アカウント ユーザーの追加	

初期設定のログイン方式

メモ: このメニューは、[ローカルアカウント]メニューの設定を行う場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
操作パネル ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード PIN	操作パネルにアクセスするための初期設定のログイン方式を指定します。
ブラウザ ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード PIN	ブラウザにアクセスするための初期設定のログイン方式を指定します。

USB デバイスをスケジュール

メニュー項目	説明
スケジュール 新スケジュールを追加	USB ポートへのアクセスをスケジュールします。

セキュリティ監査ログ

メニュー項目	説明
監査を有効化 オフ* オン	セキュリティ監査ログとリモート Syslog にイベントを記録します。
リモート Syslog を有効化 オフ* オン	監査ログをリモートサーバーに送信します。
リモート Syslog サーバー	リモート Syslog サーバーを指定します。
リモート Syslog ポート 1 ~ 65535(514*)	リモート Syslog ポートを指定します。
リモート Syslog 方式 通常の UDP* スプリットトンネリング	ログに記録されたイベントをリモートサーバに送信する Syslog 方式を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
リモート Syslog ファシリティ 0 - カーネルメッセージ 1 - ユーザーレベルメッセージ 2 - メールシステム 3 - システムデーモン 4 - セキュリティ/承認メッセージ * 5 - Syslog で内部的に生成されたメッセージ 6 - ラインプリンタサブシステム 7 - ネットワークニュースサブシステム 8 - UUCP サブシステム 9 - クロックデーモン 10 - セキュリティ/承認メッセージ 11 - FTP デーモン 12 - NTP サブシステム 13 - ログ監査 14 - ログアラート 15 - クロックデーモン 16 - ローカル使用 0(local0) 17 - ローカル使用 1(local1) 18 - ローカル使用 2(local2) 19 - ローカル使用 3(local3) 20 - ローカル使用 4(local4) 21 - ローカル使用 5(local5) 22 - ローカル使用 6(local6) 23 - ローカル使用 7(local7)	リモートサーバーにログイベントを送信する際に、プリンタが使用するファシリティコードを指定します。
ログ記録するイベントの重要度 0 - 緊急 1 - アラート 2 - クリティカル 3 - エラー 4 - 警告 * 5 - 通知 6 - 情報 7 - デバッグ	メッセージとイベントを記録するための優先度レベル条件を指定します。
リモート Syslog にログ記録しないイベント オフ * オン	重要度に関係なく、すべてのイベントがリモートサーバーに送信されます。
管理者の E メールアドレス	記録されたイベントの E メール通知が管理者に送信されます。
ログ消去 E メールアラート オフ * オン	ログエントリが削除された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
E メールログラップアラート オフ * オン	E メールログラップアラート—ログが満杯になり、最も古いエントリの上書きが開始される場合、E メール通知が管理者に送信されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログ満杯時の動作 古いエントリをラップオーバーする * ログを E メール送信し、全エントリを削除	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、ログ保存の問題を解決します。
E メール % フルアラート オフ * オン	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、E メール通知が管理者に送信されます。
% 満杯アラートレベル 1 ~ 99(90 *)	
ログエクスポート E メールアラート オフ * オン	ログがエクスポートされた場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ設定変更 E メールアラート オフ * オン	[監査を有効化]が設定された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログの行末尾 LF(\n) * CR(\r) CRLF(\r\n)	ログファイルの各行の末尾の終了方法を指定します。
エクスポートにデジタル署名 オフ * オン	エクスポートされた各ログファイルにデジタル署名を追加します。
ログをクリア	すべての監査ログを削除します。
ログをエクスポート Syslog(RFC 5424) Syslog(RFC 3164) CSV	セキュリティログをフラッシュメモリにエクスポートします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ログイン制限

メニュー項目	説明
ログイン失敗許容回数 1 ~ 10(3 *)	[ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。
ログイン失敗許容時間 1 ~ 60 分(5*)	[ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。
ロックアウト時間 1 ~ 60 分(5*)	ロックアウト時間を指定します。
Web ログインのタイムアウト 1 ~ 120 分(10*)	ユーザーが自動的にログオフされる前のリモートログインの遅延を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

コンフィデンシャル印刷設定

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数 2 ~ 10	無効な PIN を入力できる回数を設定します。 メモ: • 値を 0 にすると、この設定はオフになります。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。 • このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときにこのメニュー項目が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。
期限切れジョブの繰り返し オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	繰り返す印刷ジョブの有効期限を設定します。
期限切れジョブの確認 オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	残りのコピーを印刷する前に、ユーザーが印刷品質を確認するためのコピーを実行する有効期限を設定します。
期限切れジョブの予約 オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。
すべてのジョブを保留にする オフ * オン	すべての印刷ジョブを保留にするように、プリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持 オフ * オン	同じファイル名の別のドキュメントを、印刷ジョブを上書きせず印刷するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ソリューション LDAP 設定

使用	目的
LDAP 照会をフォロー オフ* オン	ドメイン内の異なるサーバーでログインしているユーザーアカウントを検索します。
LDAP 証明書の確認 いいえ* はい	LDAP 証明書の検証を有効にします。

ディスク暗号化

メモ: このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

メニュー項目	説明
状況 有効 無効	ディスク暗号化を有効にするかどうかを決定します。
暗号化を開始	プリンタまたはハードディスクが盗難された場合に機密データの損失を防ぎます。 メモ: ディスク暗号化を有効にすると、ハードディスクの内容がすべて消去されます。必要に応じて、暗号化を開始する前にプリンタの重要データをバックアップします。

一時データファイルの消去

メニュー項目	説明
オンボードメモリに保存 オフ* オン	プリンタのメモリに保存されているすべてのファイルを削除します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

モバイルサービス管理

使用	目的
AirPrint 印刷する オフ オン*	AirPrint 印刷を有効にします。

その他

メニュー項目	説明
保護された機能 表示 * 非表示	ユーザーに与えられたアクセス権に関係なく、機能アクセス制御 (FAC) で保護される機能をすべて表示します。 メモ: FAC は特定のメニューや機能へのアクセスを管理したり、それらを完全に無効化したりします。
印刷許可 オフ * オン	印刷前のユーザーログインを許可します。
標準設定の印刷許可ログイン	印刷許可に関する標準設定のログインを設定します。
セキュリティリセット設定 [ゲスト]アクセスを有効化 * 効果なし	セキュリティリセットジャンパ使用時の動作を指定します。 メモ: - ジャンパは、コントローラボードのロックアイコンの横にあります。 「ゲスト」アクセスを有効にすると、ログインしていないユーザーに完全なアクセス制御が提供されます。 「効果なし」を選択すると、プリンタのセキュリティ設定はリセットされません。
パスワードの最小の長さ 0 ~ 32(0 *)	パスワードの最小文字数を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

レポート

メニュー設定ページ

メニュー項目	説明
メニュー設定ページ	プリンタの環境設定、印刷設定および構成に関するレポートを印刷します。

デバイス

メニュー項目	説明
デバイス情報	プリンタに関する情報が記載されているレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタの使用法と消耗品の状態に関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
監査レポート	プリンタのシリアル番号やモデル名などに関するレポートを印刷します。

印刷する

メニュー項目	説明
フォント一覧を印刷 PCL フォント PS フォント	サンプルおよび各プリンタ言語で使用可能なフォントのサンプルと情報を印刷します。

メニュー項目	説明
ファイルディレクトリを印刷	フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているリソースを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクがある場合にのみ表示されます。

ショートカット

メニュー項目	説明
すべてのショートカット	プリンタに保存されているショートカットのレポートを印刷します。
FAX ショートカット	
コピーショートカット	
E メールショートカット	
FTP ショートカット	
ネットワークフォルダのショートカット	

FAX

メニュー項目	説明
FAX ジョブログ	送信された過去 200 件の FAX ジョブに関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、着信拒否された過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。

ネットワーク

メニュー項目	説明
ネット設定ページ	プリンタで設定されているネットワーク設定およびワイヤレス設定が記載されているページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。

ヘルプ

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
接続ガイド	プリンタをローカル接続(USB)またはネットワーク接続する方法を説明します。
コピーガイド	コピーの作成および設定の構成に関する情報を提供します。
E メールガイド	Eメールの送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX の送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FTP ガイド	ドキュメントのスキャンおよび設定の構成に関する情報を提供します。
情報ガイド	プリンタのその他の情報源について情報を提供します。

メニュー項目	説明
用紙ガイド	用紙および特殊用紙のセット方法を説明します。
モノクロ品質ガイド	モノクロ印刷品質の設定を説明します。
移動ガイド	プリンタの移動、配置、搬送に関する情報を提供します。
印刷品質ガイド	印刷品質の問題を解決する方法を説明します。
消耗品ガイド	消耗品の注文に関する情報を提供します。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

メニュー項目	説明
印刷品質テストページ	サンプルページを印刷し、印刷品質の不良を特定して修正します。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [メニュー設定ページ]をタッチします。

プリンタを保護する

セキュリティスロットの場所

プリンタにはセキュリティロック機能があります。大半のノート型パソコンと互換性のあるセキュリティロックを図に示した場所に取り付けて、プリンタの盗難を防止できます。



プリンタメモリを消去する

揮発性メモリまたはバッファされているデータを消去するには、プリンタの電源をオフにします。

非揮発性メモリまたは個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、および埋め込みソリューションを消去するには、以下を行います。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [未使用時の消去]をタッチします。
- 2 [不揮発性メモリにあるすべての情報を消去]チェックボックスを選択し、[消去]をタッチします。
- 3 ディスプレイに表示される手順に従います。

プリンタハードディスクメモリを消去する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [未使用時の消去]をタッチします。
- 2 [ハードディスクのすべての情報を消去]のチェックボックスを選択し、[消去]をタッチします。
- 3 ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ: このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

プリンタのハードディスクを暗号化する

このプロセスにより、ハードディスクの内容がすべて消去されます。必要に応じて、暗号化を開始する前にプリンタの重要データをバックアップします。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [セキュリティ] > [ディスクの暗号化] > [暗号化を開始する]にタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ:

- データを損失することがないように、暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。
- このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- 暗号化の完了後、プリンタは自動的に再起動します。

初期状態のデフォルト設定を復元する

ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [出荷時標準設定を復元] > [設定を復元] > [すべての設定を復元] > [復元] > [開始]をタッチします。

詳細については、「[プリンタメモリを消去する](#)」、137 ページ を参照してください。

揮発性に関する記述

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷ジョブやコピージョブ時にユーザーデータを一時的にバッファに格納するために標準的なランダムアクセスメモリ(RAM)を使用します。
不揮発性メモリ	本機では、2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND(フラッシュメモリ)の 2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステム(OS)やプリンタの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、組込みソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のプリンタには、ハードディスクドライブが搭載されている場合があります。プリンタのハードディスクは、各プリンタ固有の機能に対応するように設計されています。ハードディスクがあることにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータをプリンタが保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタを廃棄する
- プリンタのハードディスクを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者がプリンタを修理する
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社に売却される

ハードドライブの廃棄

- **消磁** – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破碎** – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **裁断** – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: すべてのデータの完全な消去を確実にするには、データが保存されていたすべてのハードディスクを物理的に破壊します。

プリンタのメンテナンス

警告—破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

スピーカー音量の調整

標準設定の内部スピーカー音量を調整する

セッションをログアウトしたり、プリンタがスリープまたはハイバネートモードから復帰したり、または電源オンリセットを実行すると、スピーカー音量が標準設定値にリセットされます。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [タッチスクリーンのタッチ音の設定]

- 2 音量を選択します。

メモ: 静音モードが有効になっている場合、警告音はオフになります。

FAX スピーカー設定を構成する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [スピーカー設定]をタッチします。

- 2 以下の操作を実行します。

- [スピーカーモード]を[常にオン]に設定します。
- [スピーカー音量]を[高]に設定します。
- 着信音量を有効にします。

ネットワーク

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する

操作パネルを使用する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス]

- 2 [プリンタパネルで設定]を選択して、ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ: Wi-Fi ネットワーク対応のプリンタ機種では、初期セットアップ中に Wi-Fi ネットワークの設定を求めるメッセージが表示されます。

Lexmark Mobile Assistant を使用する

- 1 お使いのモバイルデバイスに応じて、Google Play ストアまたは App Store から Lexmark Mobile Assistant アプリケーションをダウンロードします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [モバイルアプリを使用した設定] > [続行してプリンタ ID を確認]
- 3 モバイルデバイスからアプリケーションを起動して、利用規約に同意します。
- 4 権限を付与します。
- 5 [Wi-Fi 設定を開始]をタップし、プリンタを選択します。
- 6 Wi-Fi ネットワークを選択して、資格情報を入力します。
- 7 [Wi-Fi 設定を終了]をタップします。

Wi-Fi Protected Setup(WPS)を使用してワイヤレスネットワークにプリンタを接続する

カスタマイズを開始する前に、以下の点を確認してください。

- アクセスポイント(無線ルーター)が WPS(Wi-Fi Protected Setup)認定または互換である。詳細については、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタに取り付けられている。詳細については、アダプタに付属の説明書を参照してください。

プッシュボタン方式を使用する場合

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [Wi-Fi Protected Setup] > [プッシュボタン方式を開始]
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

個人 ID 番号方式(PIN)を使用する場合

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [Wi-Fi Protected Setup] > [PIN 方式を開始]
- 2 8 桁の WPS PIN をコピーします。
- 3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、Web ページを正しく読み込むために、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。
- 4 WPS の設定を行います。詳細については、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
 - 5 8 桁の PIN を入力して変更を保存します。

内蔵ソリューションポートを取り付けた後でプリンタのポート設定を変更する

メモ:

- 静的な IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合は、設定を変更しないでください。
- IP アドレスの代わりにネットワーク名を使用するようにコンピュータが設定されている場合は、設定を変更しないでください。
- 以前はイーサネット接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス内蔵ソリューションポート (ISP) を追加する場合は、プリンタをイーサネットネットワークから切り離します。

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 新しい ISP を追加したプリンタのショートカットメニューから、プリンタのプロパティを開きます。
- 3 リストからポートを設定します。
- 4 IP アドレスを更新します。
- 5 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」から、プリンタの一覧に移動して、「+ > IP」の順に選択します。
- 2 アドレスフィールドに IP アドレスを入力します。
- 3 変更を適用します。

Wi-Fi ネットワークの無効化

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] > [標準ネットワーク] をタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

シリアル印刷を設定する (Windows のみ)

- 1 プリンタでパラメータを設定します。
 - a コントロールパネルから、ポート設定のメニューを選択します。
 - b シリアルポート設定のメニューを選択し、必要に応じて、設定を調整します。
 - c 変更を適用します。
- 2 コンピュータでプリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。
- 3 [プリンタプロパティ] を開き、リストから [COM ポート] を選びます。
- 4 [デバイスマネージャ] で COM ポートのパラメータを設定します。

メモ:

- シリアル印刷では印刷速度が遅くなります。
- プリンタのシリアルポートにシリアルケーブルが接続されていることを確認します。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

⚠ 注意—感電危険: プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

メモ:

- 数か月に 1 回この作業を実施します。
- 不適切な取り扱いにより生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 標準排紙トレイと多目的フィーダーから用紙を取り除きます。
- 3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタ周辺の埃、糸くず、用紙の切れ端を取り除きます。
- 4 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布を使用して、プリンタの外側を拭きます。

メモ:

- 家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。
- 清掃後にプリンタのすべてのエリアが乾いていることを確認してください。

- 5 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

スキャナを清掃する

- 1 スキャナカバーを開きます。

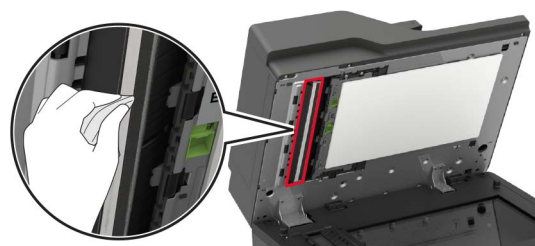


2 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

- ADF ガラス



- ADF ガラスパッド



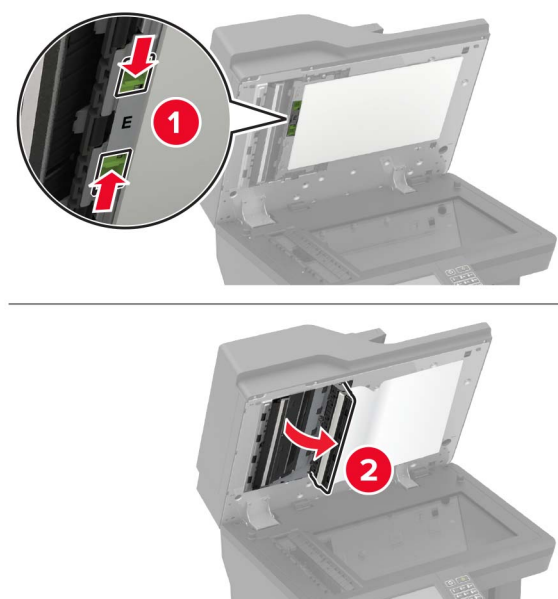
- 原稿台ガラス



- スキャナガラスパッド

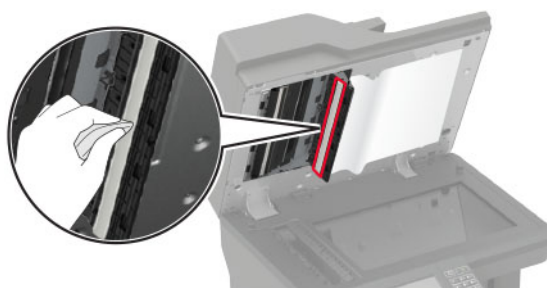


3 ドア E を開きます。

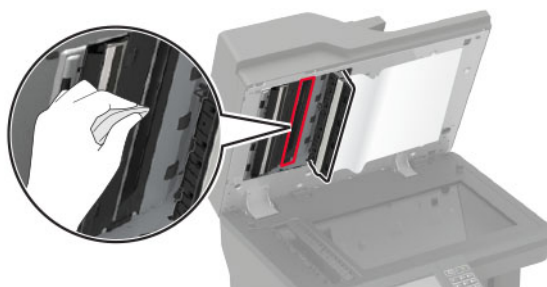


4 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

- ドア E の ADF ガラスパッド



- ドア E の ADF ガラス



5 ドア E を閉じてから、スキャナカバーを閉じます。

部品と消耗品を注文する

米国で部品および消耗品を注文するには、お住まいの地域の Lexmark 認定消耗品販売店について、1-800-539-6275 までお電話でお問い合わせください。他の国または地域については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

部品と消耗品の状況を確認する

- 1 ホーム画面で、[状態／消耗品]をタッチします。
- 2 確認したい部品または消耗品を選択します。

メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。

Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する

Lexmark プリンタは Lexmark の純正部品および純正消耗品を使用して最高の機能を発揮するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。保証の対象にも影響します。サードパーティ製の部品や消耗品の使用による損傷は、保証の対象外となります。すべての寿命インジケータは、純正の部品および消耗品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の部品や消耗品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ出力は、ISO/IEC 19752 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与える可能性があります。

Lexmark MX721、MX722、MX725 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	アジア太平洋	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ	オーストラリアおよびニュージーランド	グローバル
リターンプログラムトナーカートリッジ	58D1000	58D2000	58D3000	58D4000	58D5000	58D6000	58D000G
大容量リターンプログラムトナーカートリッジ	58D1H00	58D2H00	58D3H00	58D4H00	58D5H00	58D6H00	58D0H0G

¹ 契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。

² Lexmark MX722 および MX725 プリンタ機種でのみサポートされています。

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	アジア太平洋	中南米	他の欧州諸国、 中東、アフリカ	オーストラリアおよびニュージーランド	グローバル
大容量法人向けリターンプログラムトナーカートリッジ ¹	58D1H0E	58D2H0E	58D3H0E	58D4H0E	58D5H0E	58D6H0E	なし
超大容量リターンプログラムトナーカートリッジ	58D1X00	58D2X00	58D3X00	58D4X00	58D5X00	58D6X00	58D0X0G
超大容量法人向けリターンプログラムトナーカートリッジ ^{1,2}	58D1X0E	58D2X0E	58D3X0E	58D4X0E	58D5X0E	58D6X0E	なし
超特大容量リターンプログラムトナーカートリッジ ²	58D1U00	58D2U00	58D3U00	58D4U00	58D5U00	58D6U00	58D0U0G
超特大容量法人向けリターンプログラムトナーカートリッジ ^{1,2}	58D1U0E	58D2U0E	58D3U0E	58D4U0E	58D5U0E	58D6U0E	なし

¹ 契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。

² Lexmark MX722 および MX725 プリンタ機種でのみサポートされています。

Lexmark XM5365 および XM5370 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	ヨーロッパ、中東、アフリカ	アジア太平洋	中南米
リターンプログラムトナーカートリッジ	25B3074	25B3079	25B3120	25B3124

Lexmark MB2770 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	アジア太平洋	中南米	他の欧州諸国、 中東、アフリカ	オーストラリアおよびニュージーランド
リターンプログラムトナーカートリッジ	B281000	B282000	B283000	B284000	B285000	B286000
大容量リターンプログラムトナーカートリッジ	B281H00	B282H00	B283H00	B284H00	B285H00	B286H00
超大容量リターンプログラムトナーカートリッジ	B281X00	B282X00	B283X00	B284X00	B285X00	B286X00

標準トナーカートリッジ

項目	グローバル
超大容量トナーカートリッジ	58D0XA0 ¹ B280XA0 ²
超特大容量トナーカートリッジ ³	58D0UA0
¹ Lexmark MX721 プリンタ機種でのみサポートされています。	
² Lexmark MB2770 プリンタ機種でのみサポートされています。	
³ Lexmark MX722 および MX725 プリンタ機種でのみサポートされています。	

イメージングユニットを注文する

長期間、印刷量がきわめて低い場合、トナーが消耗する前に、イメージングユニットの部品が劣化する可能性があります。

項目	Lexmark 返却プログラム	法人向け返却プログラム*	標準
イメージングユニット	58D0Z00	58D0Z0E	58D0ZA0
* このイメージングユニットは、契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。			

メンテナンスキットを注文する

サポートされているフューザータイプを確認するには、ドア A を開き、トナーカートリッジとイメージングユニットを取り外します。フューザーの前面に表示されている 2 桁のフューザータイプ (00、01 など) を確認します。

警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

メモ:

- 特定のタイプの用紙を使用するには、メンテナンスキットをより頻繁に交換しなければならない場合があります。
- セパレーターアセンブリ、フューザー、ピックアップローラーアセンブリ、転送ローラーはメンテナンスキットに含まれ、必要に応じて個別に注文および交換できます。
- メンテナンスキットの交換の詳細については、同梱されているマニュアルを参照してください。

リターンプログラムフューザーメンテナンスキット

フューザーメンテナンスキットのタイプ	部品番号
タイプ 00	41X2233
タイプ 01	41X2234
タイプ 02	41X2235
タイプ 03	41X2236
タイプ 04	41X2237
タイプ 11	41X2242
タイプ 13	41X2243
タイプ 32	41X2250

フューザーメンテナンスキットのタイプ	部品番号
タイプ 33	41X2251
タイプ 35	41X2252
タイプ 36	41X2253

標準フューザーメンテナンスキット

フューザーメンテナンスキットのタイプ	部品番号
タイプ 05	41X2238
タイプ 06	41X2239
タイプ 07	41X2240
タイプ 08	41X2241
タイプ 17	41X2244
タイプ 19	41X2245

ローラーメンテナンスキット

項目	部品番号
プリンタエンジンローラーメンテナンスキット	41X2352

自動原稿フィーダーメンテナンスキット

項目	部品番号
ADF メンテナンスキット	41X2351

消耗品通知を設定する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

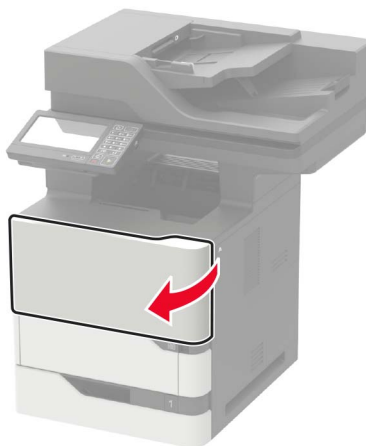
- 2 [設定] > [デバイス] > [通知]をクリックします。
- 3 [消耗品]メニューの[消耗品のカスタム通知]をクリックします。
- 4 各消耗品の通知を選択します。
- 5 変更を適用します。

消耗品を交換する

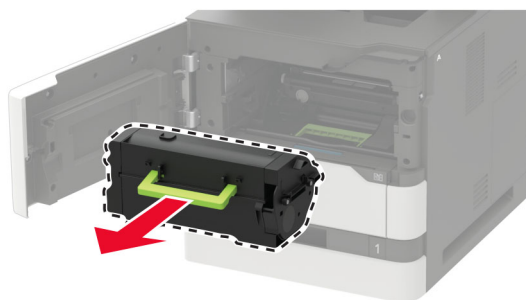
トナーカートリッジの交換

- 1 ドア A を開きます。

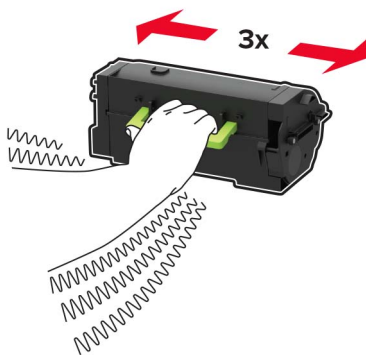
警告—破損の恐れあり： 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



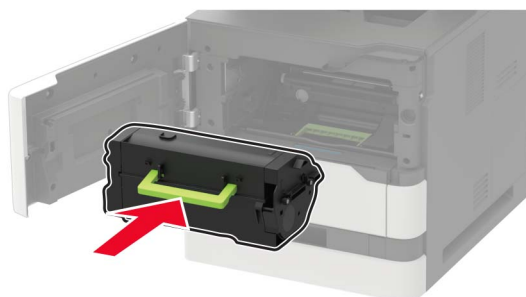
- 2 使用済みトナーカートリッジを取り外します。



- 3 新しいトナーカートリッジをパッケージから取り出して振り、カートリッジ内のトナーの偏りをなくします。



- 4 新しいトナーカートリッジを挿入します。

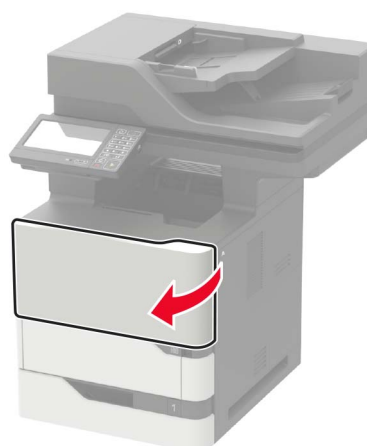


- 5 ドアを閉じます。

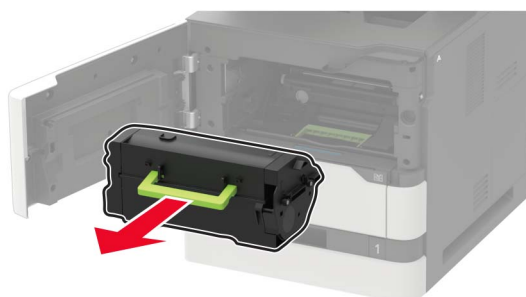
イメージングユニットの交換

- 1 ドア A を開きます。

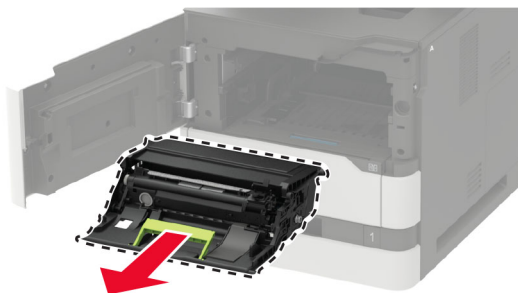
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



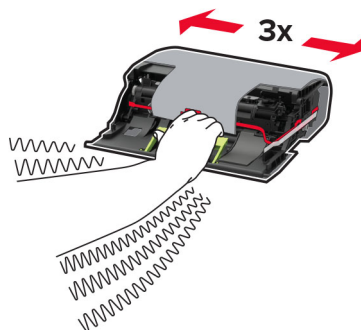
- 2 トナーカートリッジを取り外します。



- 3 使用済みイメージングユニットを取り外します。



- 4 新しいイメージングユニットをパッケージから取り出して振り、カートリッジ内のトナーの偏りをなくします。



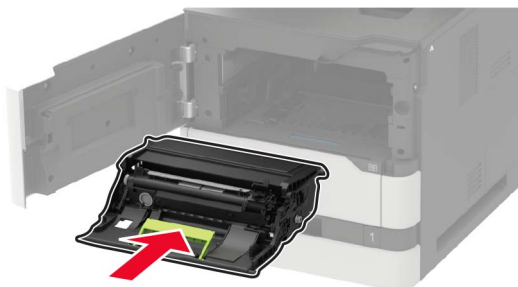
警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり: 感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。

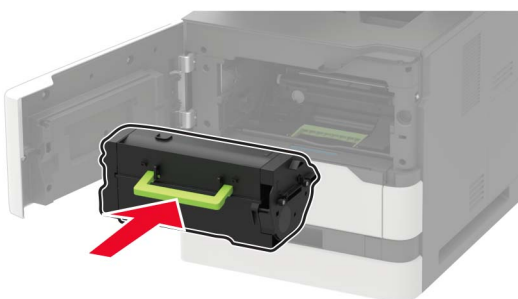


- 5 梱包材を取り除きます。

6 新しいイメージングユニットを挿入します。



7 トナーカートリッジを挿入します。



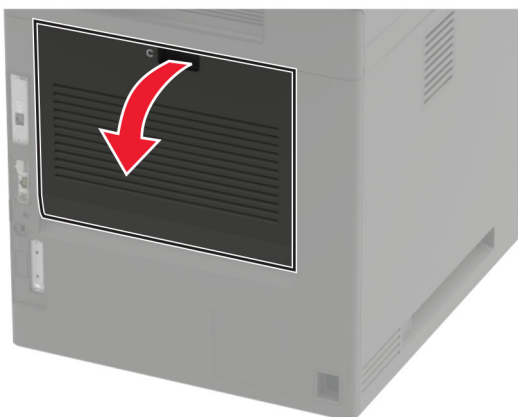
8 ドアを閉じます。

フューザーを交換する

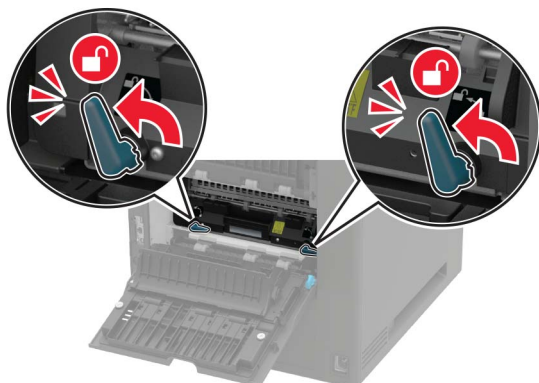
1 ドア C を開きます。

注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

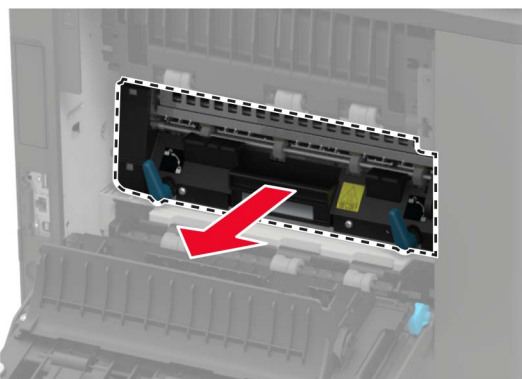
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 フューザーのロックを解除します。

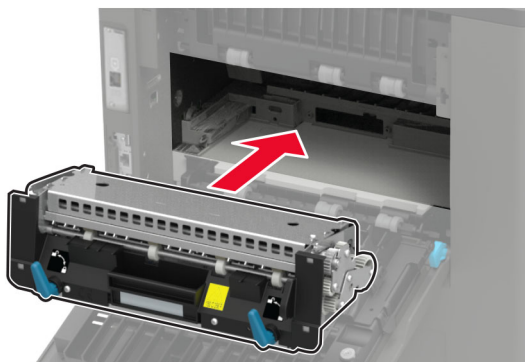


3 使用済みのフューザーを取り外します。

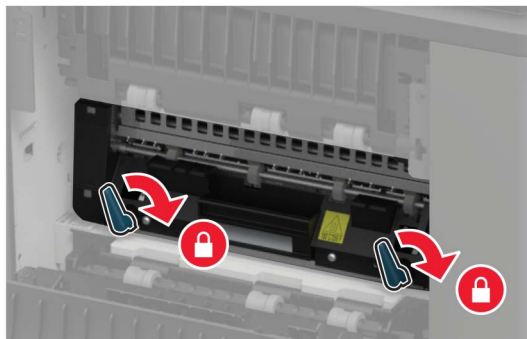


4 新しいフューザーを梱包から取り出します。

5 新しいフューザーを、所定の位置でカチッという音ができるまで挿入します。



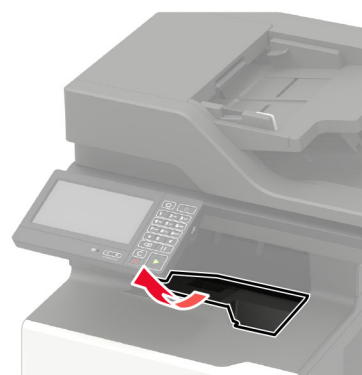
6 フューザーをロックします。



7 ドアを閉じます。

ホットロールフューザーの交換

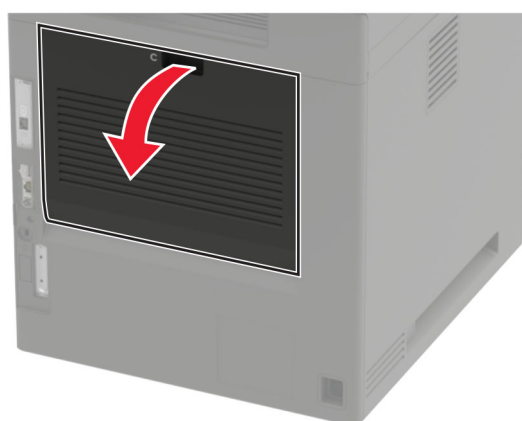
1 標準排紙トレイカバーを取り外します。



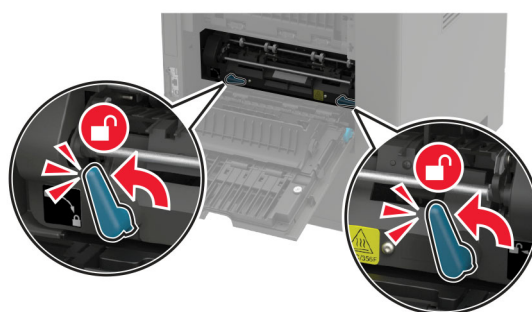
2 ドア C を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

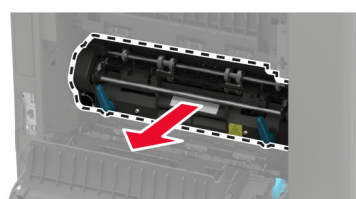
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



3 ホットロールフューザーのロックを解除します。

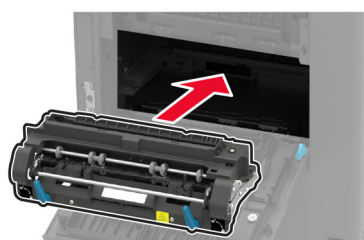


4 使用済みのホットロールフューザーを取り外します。

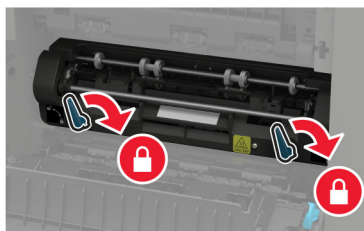


5 新しいホットロールフューザーを梱包から取り出します。

6 新しいホットロールフューザーを、所定の位置にカチッと音がするまで挿入します。

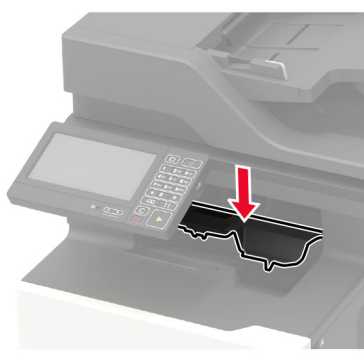


- 7 ホットロールフューザーをロックします。



- 8 ドアを閉じます。

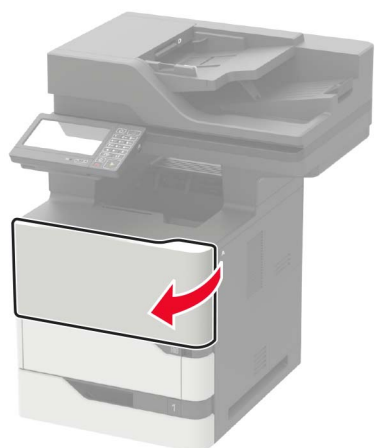
- 9 標準排紙トレイカバーを取り付けます。



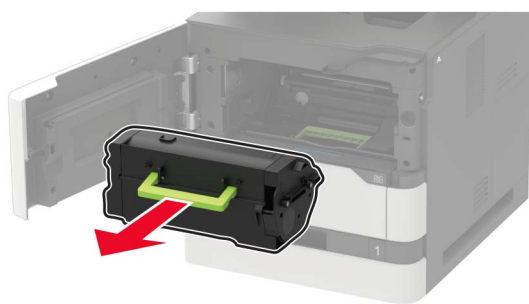
転写ローラーを交換する

- 1 ドア A を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 トナーカートリッジを取り外します。



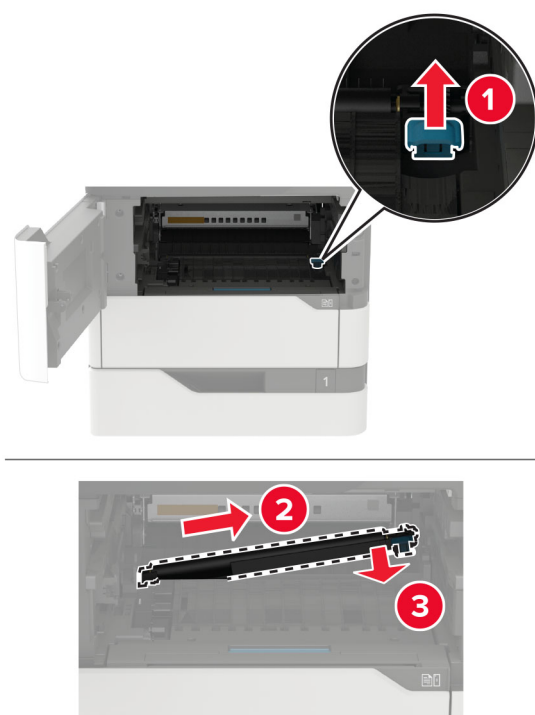
3 イメージングユニットを取り外します。



4 使用済みの転写ローラーを取り外します。

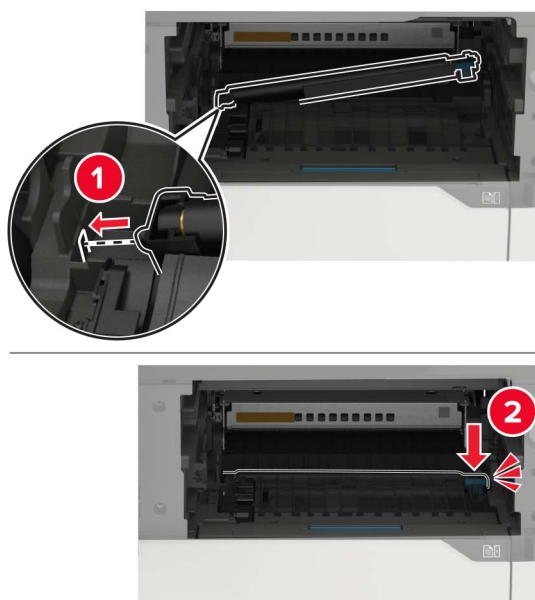


注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

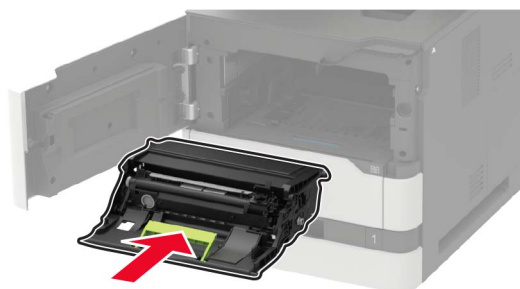


5 新しい転写ローラーを梱包から取り出します。

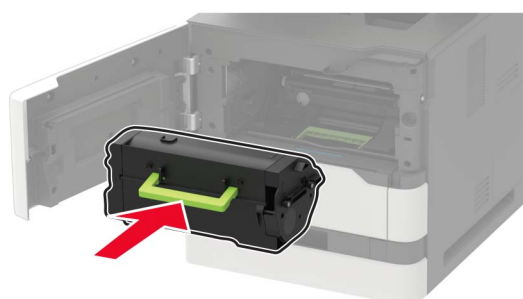
6 新しい転写ローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 イメージングユニットを挿入します。



8 トナーカートリッジを挿入します。



9 ドアを閉じます。

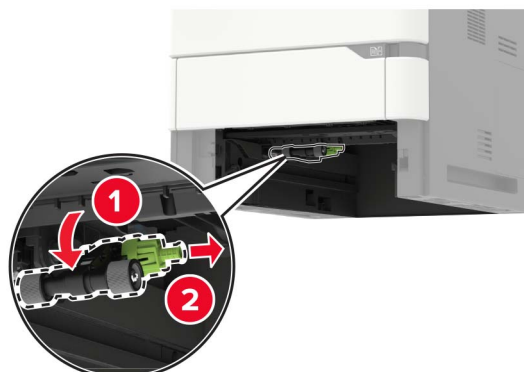
ピックローラーを交換する

1 トレイを取り外します。

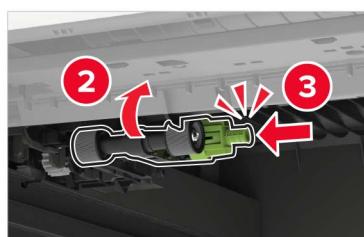
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



- 2 使用済みのピックアップローラーを取り外します。



- 3 新しいピックアップローラーを梱包から取り出します。
- 4 新しいピックアップローラーを取り付けます。



- 5 トレイを挿入します。

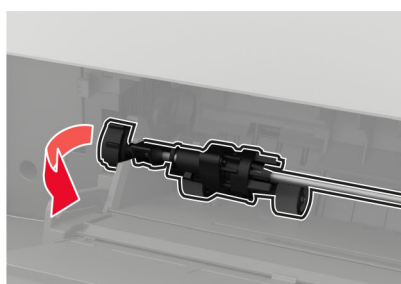
多目的フィーダーのピックアップローラーを交換する

- 1 多目的フィーダーを開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

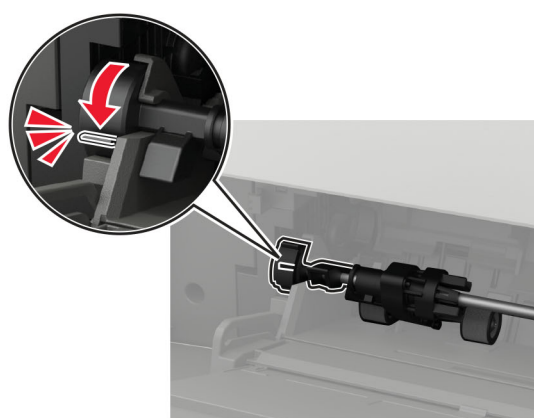
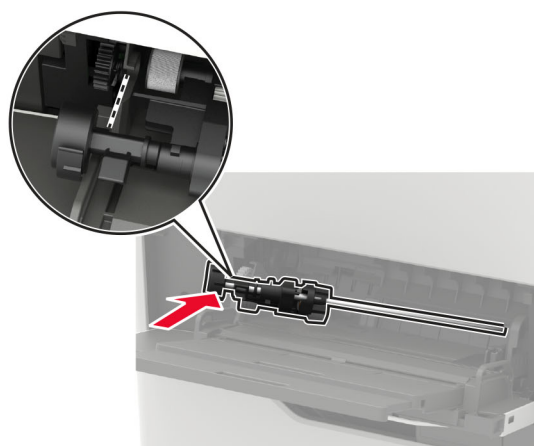
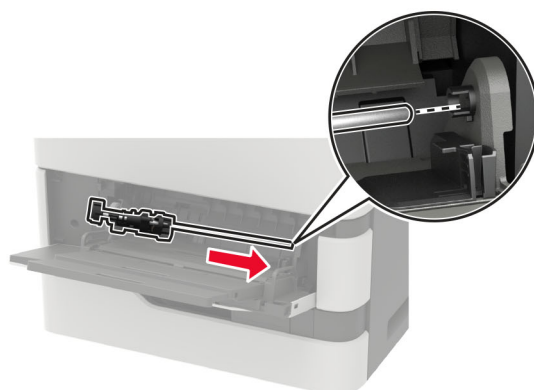


2 使用済みのピックアップローラーを取り外します。



3 新しいピックアップローラーを梱包から取り出します。

4 新しいピックローラーを取り付けます。



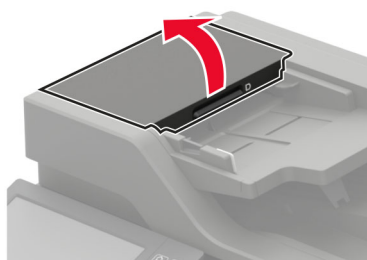
5 多目的フィーダを閉じます。

ADF ピックローラーを交換する

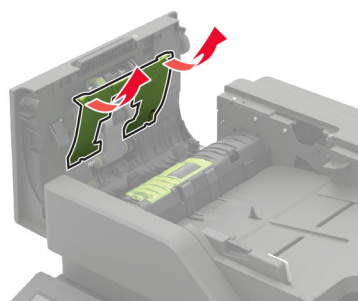
1 プリンタの電源を切ります。

2 ドア D を開きます。

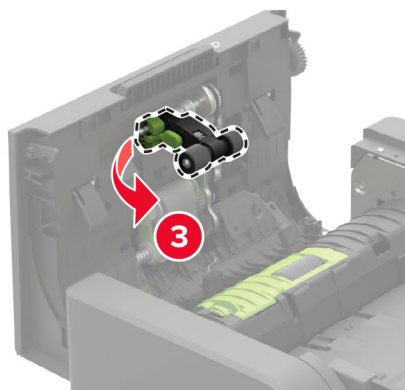
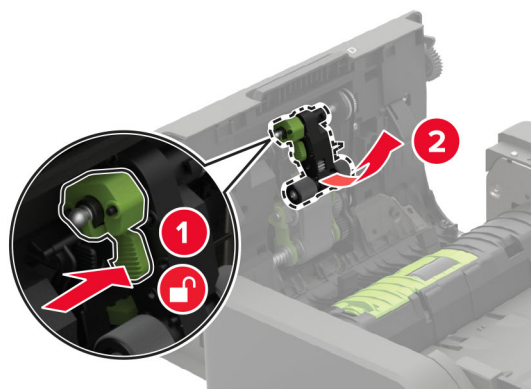
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



3 ADF ピックローラーカバーを取り外します。



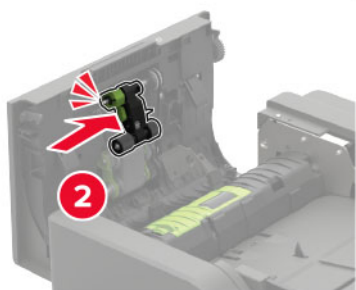
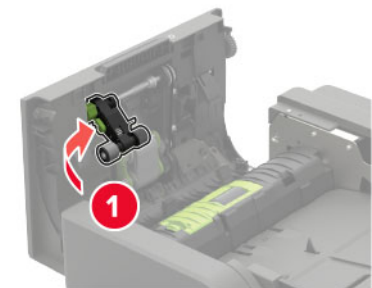
4 使用済みの ADF ピックローラーを取り外します。



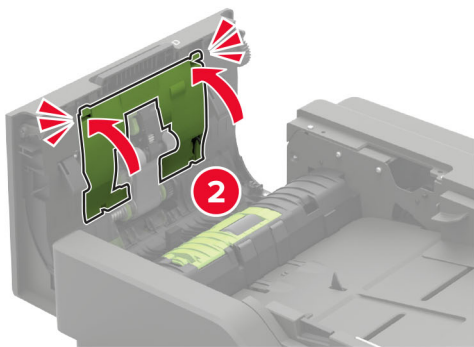
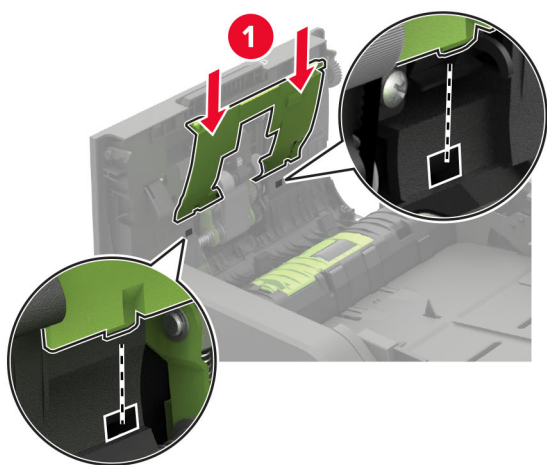
5 新しい ADF ピックローラーを取り出します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

6 ADF ピックローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF ピックローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。

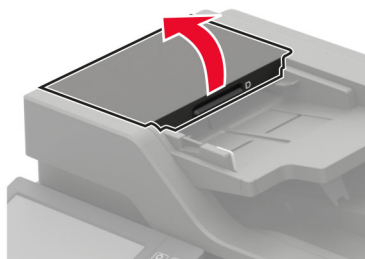


- 8 ドアを閉じます。
- 9 プリンタの電源を入れます。

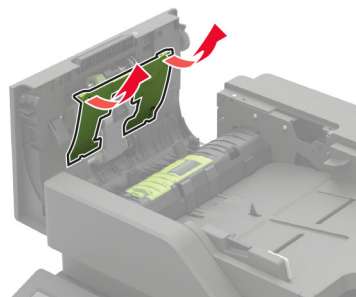
ADF 給紙ローラーを交換する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 ドア D を開きます。

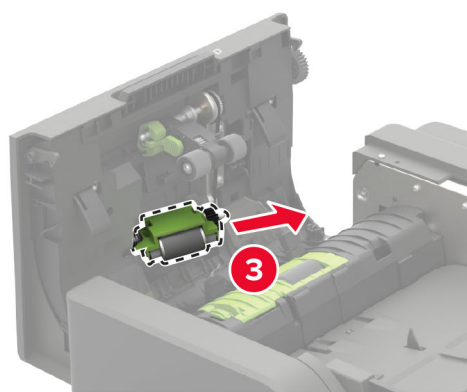
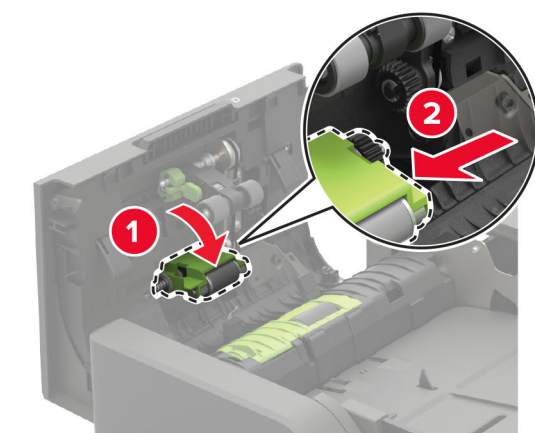
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



- 3 ADF ピックローラーカバーを取り外します。



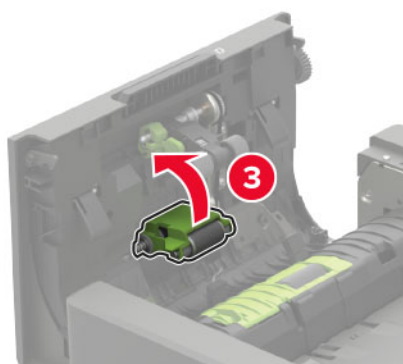
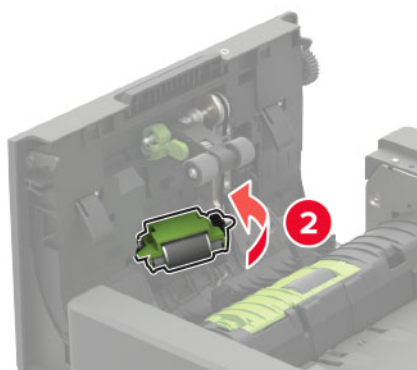
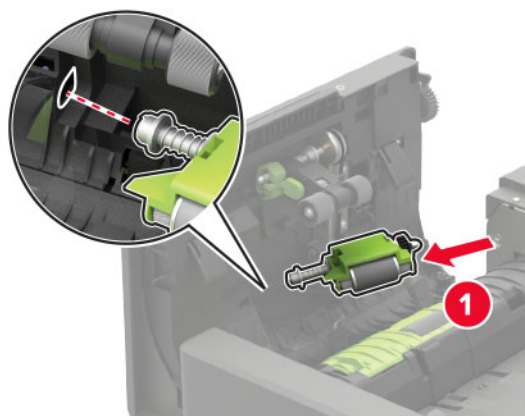
4 使用済みの ADF 給紙ローラーを取り外します。



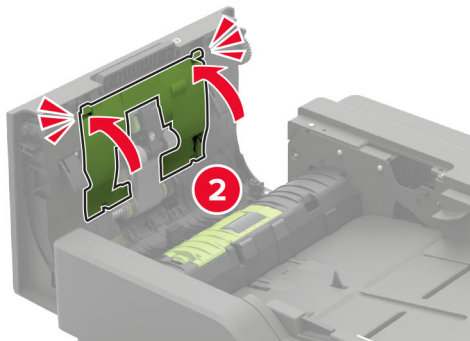
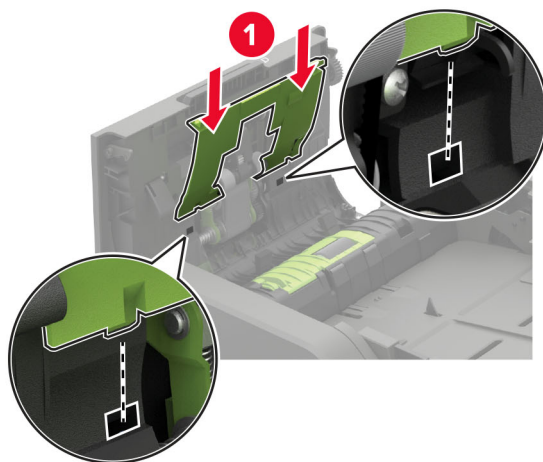
5 新しい ADF 給紙ローラーを取り出します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

6 新しい ADF 給紙ローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF ピックローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



8 ドアを閉じます。

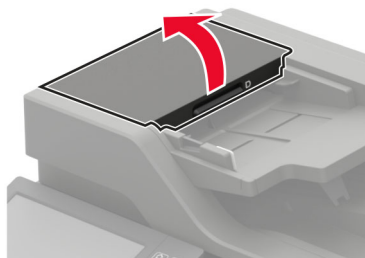
9 プリンタの電源を入れます。

ADF 区切りローラーを交換する

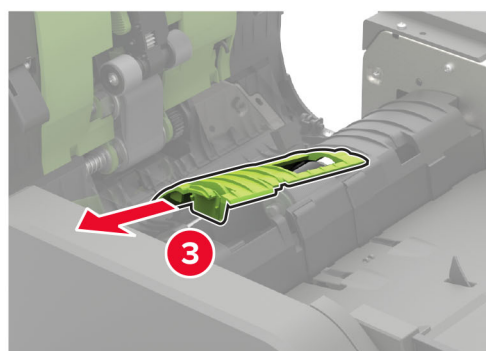
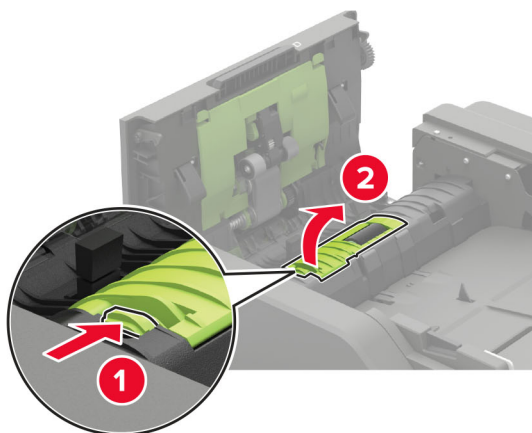
1 プリンタの電源を切ります。

2 ドア D を開きます。

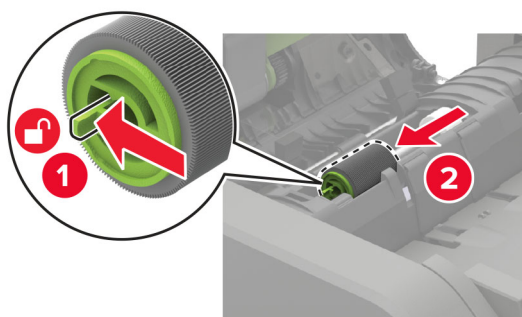
警告—破損の恐れあり： 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



3 ADF 区切りローラーカバーを取り外します。



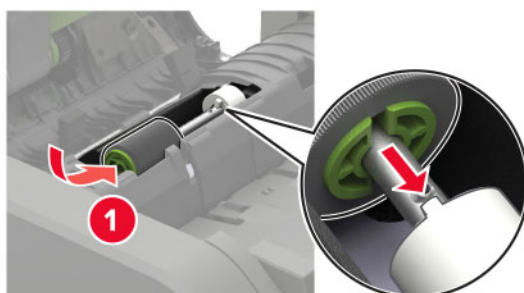
4 使用済みの ADF 区切りローラーを取り外します。



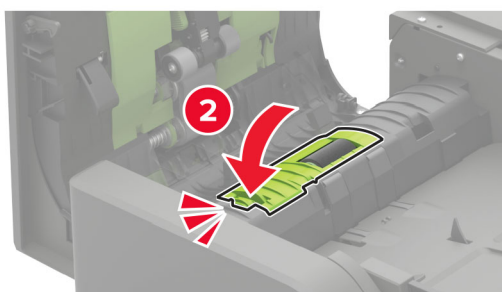
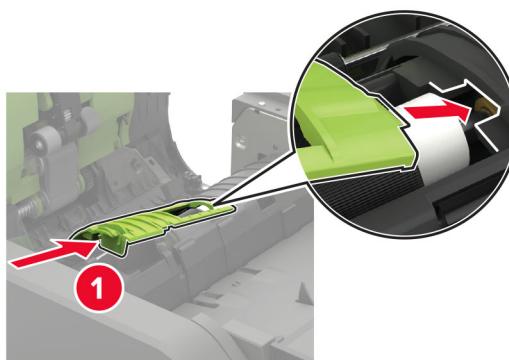
5 新しい ADF セパレーターローラーを開梱します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

6 ADF 区切りローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF 区切りローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。

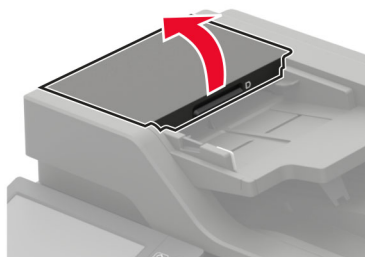


- 8 ドアを閉じます。
- 9 プリンタの電源を入れます。

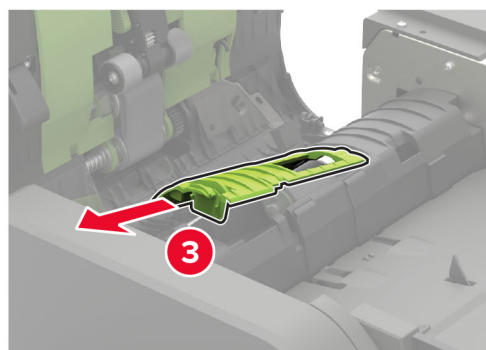
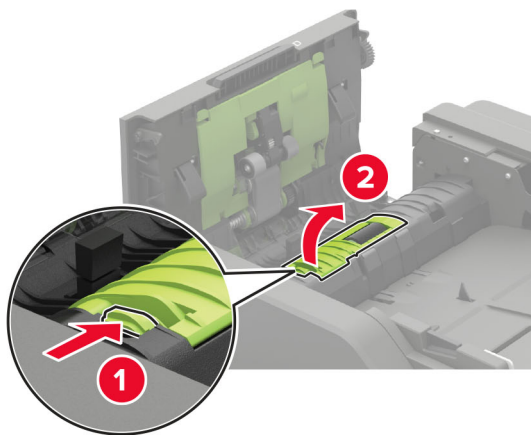
ADF トルクリミッタを交換する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 ドア D を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

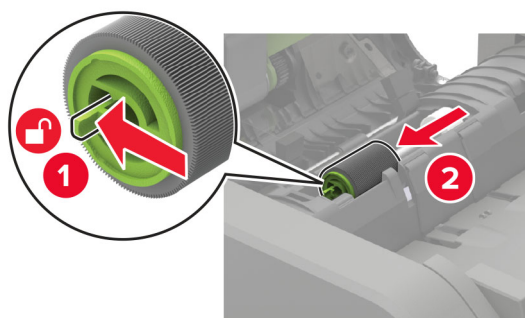


- 3 ADF 区切りローラーカバーを取り外します。

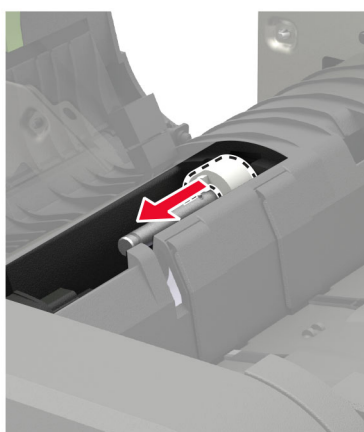


- 4 ADF 区切りローラーを取り外します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。



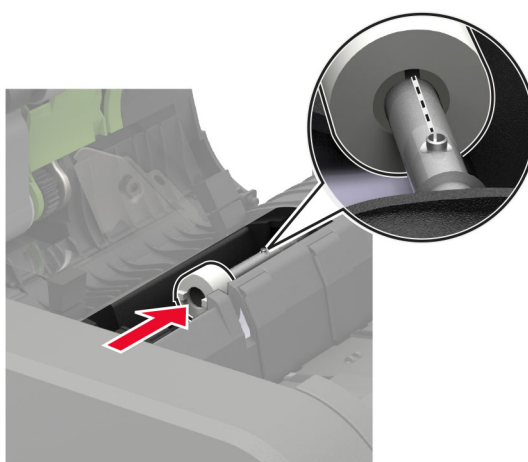
5 使用済みの ADF トルクリミッタを取り外します。



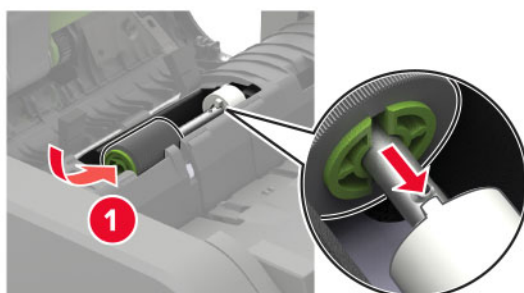
6 新しい ADF トルクリミッタを開梱します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

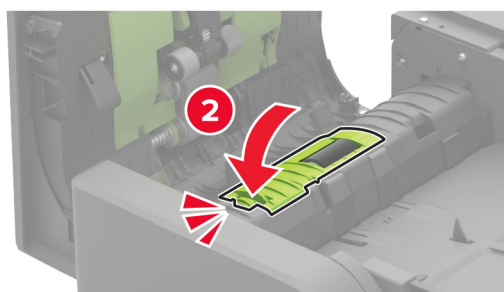
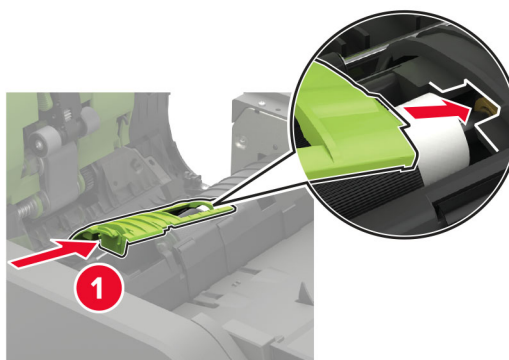
7 新しい ADF トルクリミッタを挿入します。



8 ADF 区切りローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



9 ADF 区切りローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



10 ドアを閉じます。

11 プリンタの電源を入れます。

プリンタを移動する

プリンタを別の場所に移動する

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 18 kg (40 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動するときは、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
- プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
- プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
- プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
- プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
- 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
- オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。
- 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
- プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

メモ: 不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを輸送する

輸送の手順については、<http://support.lexmark.com> にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。

電力と用紙を節約する

節電モードを設定する

エコモード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [Eco Mode]の順にタッチします。
- 2 設定を選択します。

スリープモード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [時間切れ] > [スリープモード]の順にタッチします。
- 2 プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

ハイバネートモード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [時間切れ] > [ハイバネートタイムアウト]の順にタッチします。
- 2 プリンタがハイバネートモードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

メモ:

- ハイバネートタイムアウトを作動させるには、[接続時のハイバネートタイムアウト]を[ハイバネート]に設定します。
- プリンタがハイバネートモードの場合、EWS は無効です。

プリンタディスプレイの明るさを調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [画面明るさ]をタッチします。
- 2 設定を調整します。

消耗品を節約する

- 用紙の両面に印刷します。

メモ: 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。

- 1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。
- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

リサイクル

Lexmark 製品のリサイクルプログラム

Lexmark 製品を返却してリサイクルするには、以下の手順に従います。

1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。

2 リサイクルする製品を選択します。

メモ: Lexmark 回収プログラムの一覧にないプリンタ消耗品およびハードウェアの場合でも、地元のリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。また、Lexmark では、一部の国と地域で梱包材のリサイクルも行っています。詳細については、www.lexmark.com/recycle で、お住まいの国と地域を選択してください。利用可能な梱包材リサイクルプログラムに関する情報は、製品リサイクルに関する情報の中に含まれています。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。そのダンボール箱は Lexmark がリサイクルします。

再利用やリサイクルのために Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark のカートリッジ回収プログラムを使用して、使用済みカートリッジを無料で Lexmark に返却し、再利用やリサイクルに役立てることができます。Lexmark に返却された空のカートリッジのほとんどが、リサイクル用に再利用されるか、別の製品にされます。また、カートリッジを返却するのに使用されるダンボール箱もリサイクルされます。

再利用やリサイクルのために Lexmark カートリッジを返却するには、以下の手順に従います。

1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。

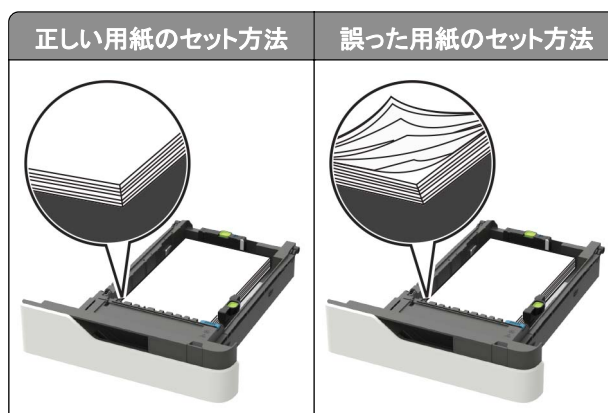
2 リサイクルする製品を選択します。

紙詰まりを取り除く

紙詰まりを防止する

用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置いてください。



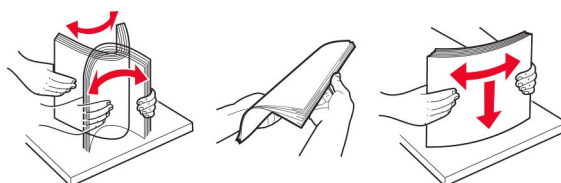
- 印刷中はトレイに用紙をセットしたり、トレイを取り外したりしないでください。
- 過度に多い量の用紙をセットしないでください。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。
- 用紙をトレイにスライドしないでください。図のように用紙をセットします。



- 用紙ガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎでないことを確認します。
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込みます。

推奨用紙を使用する

- 推奨用紙または特殊紙のみを使用します。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙、丸まっている用紙をセットしないでください。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。

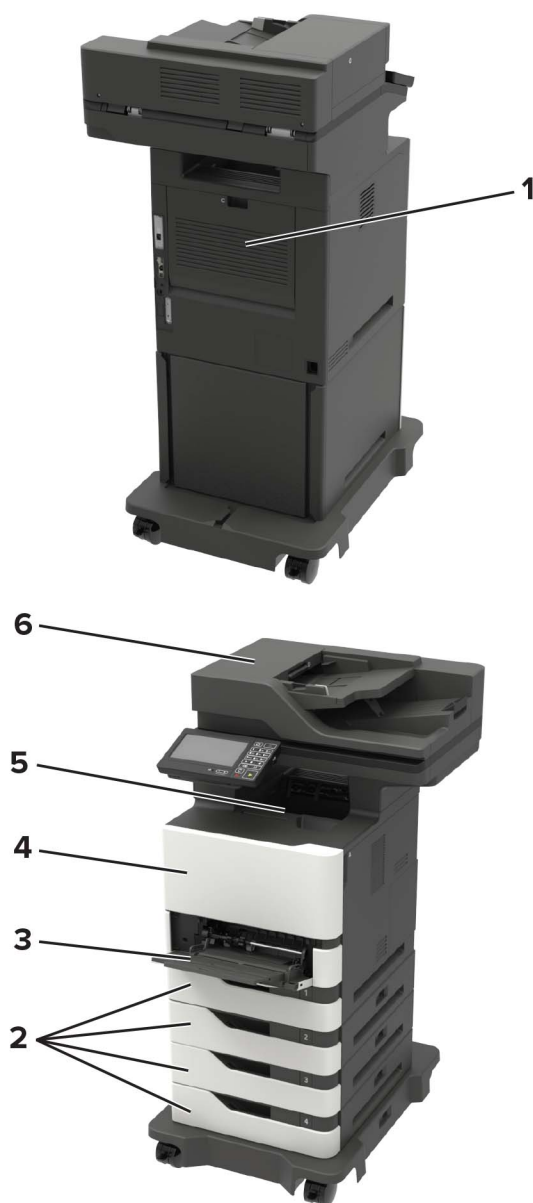


- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しないでください。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしないでください。
- コンピュータまたはプリンタ操作パネルで、用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認します。
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管します。

紙詰まりの場所を確認する

メモ:

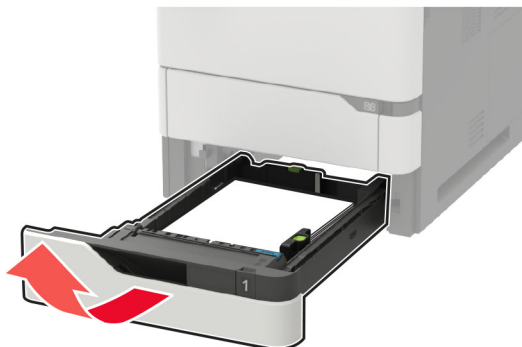
- 紙詰まりアシスト機能がオンに設定されている場合、紙詰まりを起こしたページが取り除かれた後、プリンタは空白ページまたは一部印刷されたページを排出します。空白ページがあるかどうか、印刷済み出力用紙を確認します。
- [紙詰まり回復]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙詰まりが発生したページを再印刷します。



	紙詰まりの場所
1	ドア C
2	トレイ
3	多目的フィーダー
4	ドア A
5	標準排紙トレイ
6	自動原稿フィーダー

トレイの紙詰まり

- 1 トレイを取り外します。



警告—破損の恐れあり: オプショントレイの内部のセンサーは、静電気によって故障することがよくあります。トレイにつまった用紙を取り除く前に、金属の表面に手を触れてください。

- 2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

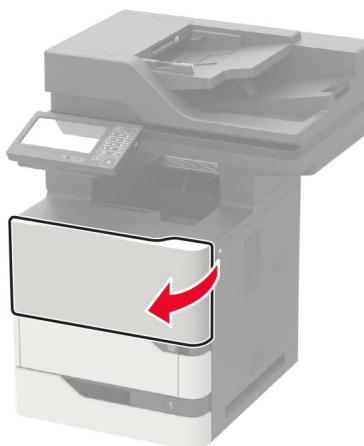


- 3 トレイを挿入します。

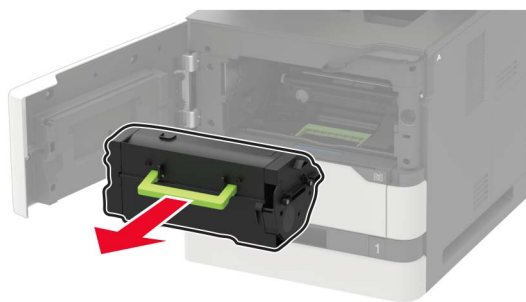
ドア A の紙詰まり

- 1 ドア A を開きます。

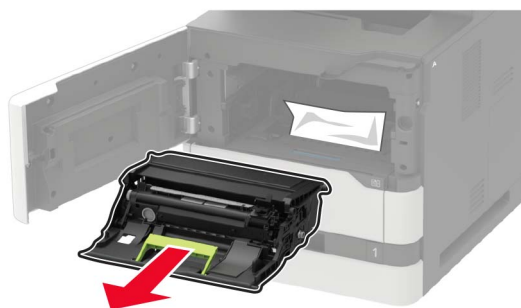
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 トナーカートリッジを取り外します。



3 イメージングユニットを取り外します。

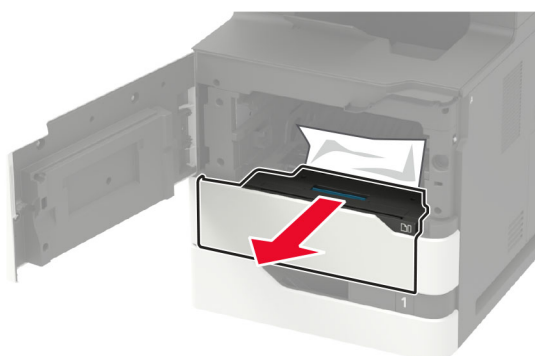


警告—破損の恐れあり：イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり：感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。

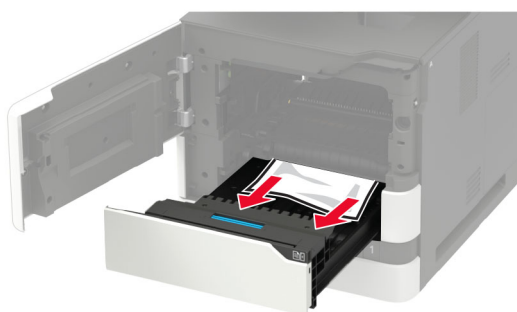


4 両面印刷ユニットを引き出します。



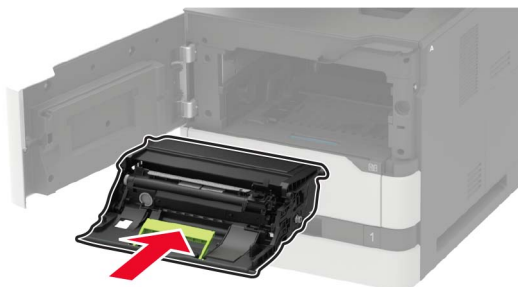
5 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

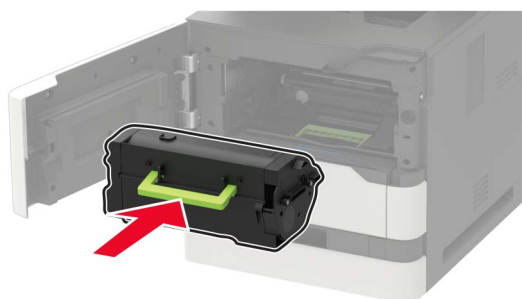


6 両面ユニットを挿入します。

7 イメージングユニットを挿入します。



8 トナーカートリッジを挿入します。

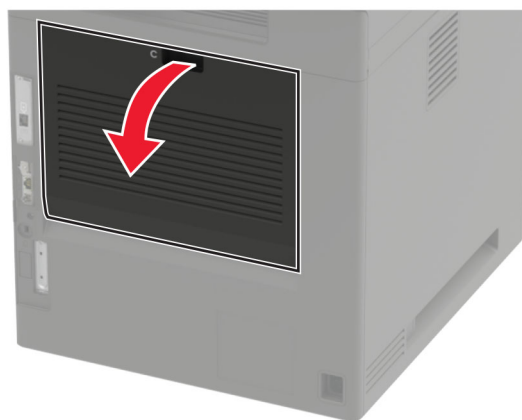


9 ドアを閉じます。

ドア C の紙詰まり

1 ドア C を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、表面を冷ましてから触れるようにしてください。



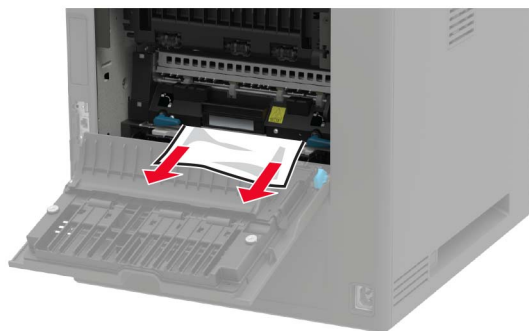
2 詰まっている用紙を次の場所から取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

- フューザーエリア



- フューザーエリアの下部



- 両面印刷エリア



3 ドアを閉じます。

標準排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



多目的フィーダーの紙詰まり

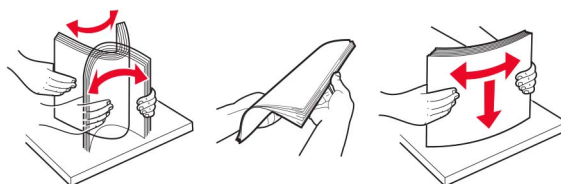
1 多目的フィーダーから用紙を取り除きます。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

3 ぼぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



4 用紙をセットし直します。

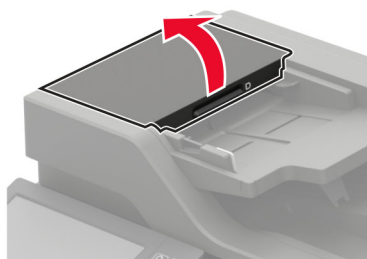


ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり

1 ADFトレイからすべての原稿を取り除いてください。

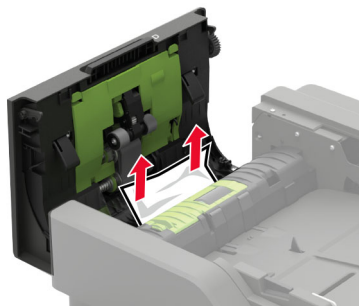
2 ドア D を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



3 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

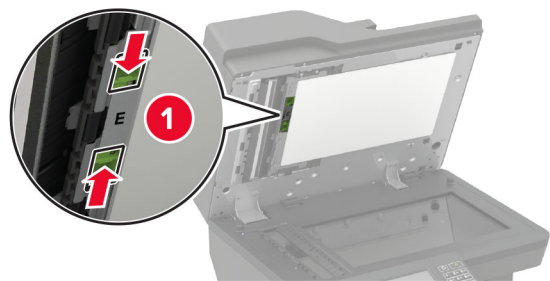


4 ドア D を閉じます。

5 スキャナカバーを開きます。

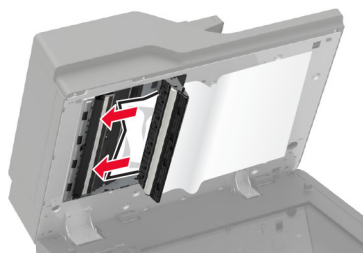


6 ドア E を開きます。



7 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



8 ドア E を閉じてから、スキャナカバーを閉じます。

トラブルシューティング

ネットワーク接続の問題

内蔵 Web サーバーを開けない

対応	はい	いいえ
手順 1 サポート対象のブラウザを使用しているかどうか確認します。 • Internet Explorer® バージョン 11 以降 • Microsoft Edge™ • Safari バージョン 10 以降 • Google Chrome™ バージョン 60 以降 • Mozilla Firefox バージョン 54 以降 ブラウザはサポート対象ですか？	手順 2 に進みます。	サポート対象のブラウザをインストールします。
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。 • ホーム画面 • [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション • ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認 メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プリンタの IP アドレスは正しいですか。	手順 3 に進みます。	アドレスフィールドにプリンタの正しい IP アドレスを入力します。
手順 3 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 4 ネットワーク接続が動作しているかどうかを確認します。 ネットワーク接続は動作していますか。	手順 5 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 5 プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルをしっかりと接続します。

対応	はい	いいえ
手順 6 Web プロキシサーバーが無効か確認します。 Web プロキシサーバーは無効ですか？	手順 7 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 7 内蔵サーバーにアクセスします。 内蔵 Web サーバーを開きましたか。	問題は解決しました。	連絡先 カスタマサポート 。

フラッシュメモリを読み取れない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタが他の印刷、コピー、スキャン、FAX ジョブを処理中でないか確認します。 プリンタは準備完了状態ですか？	手順 2 に進みます。	プリンタ他のジョブの処理を終了するまで待ちます。
手順 2 フラッシュメモリが正面の USB ポートに挿入されているかどうかを確認します。 メモ: 背面の USB ポートに挿入されている場合、フラッシュメモリは動作しません。 フラッシュメモリが正しいポートに挿入されていますか？	手順 3 に進みます。	フラッシュメモリを正しいポートに挿入します。
手順 3 フラッシュメモリのサポートを確認します。詳細については、 「サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ」 、42 ページ を参照してください。 フラッシュメモリが対応していますか？	手順 4 に進みます。	対応しているフラッシュメモリを挿入します。
手順 4 a USB ポートが有効になっているかどうかを確認します。詳細については、 「USB ポートを有効にする」 、189 ページ を参照してください。 b フラッシュドライブを取り外してから、挿入します。 プリンタはフラッシュメモリを認識していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

USB ポートを有効にする

ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [USB] > [USB ポートを有効にする]をタッチします。

プリンタの接続を確認する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ]をタッチします。
- 2 ネットワーク設定ページの最初のセクションを確認し、状態が[接続]であることを確認します。

状態が[未接続]の場合、LAN 破棄が有効ではないか、ネットワークケーブルが正常に動作していない可能性があります。サポートが必要な場合は、管理者に問い合わせてください。

ハードウェアオプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵オプションがあるかどうかを確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 3 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 a プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。 b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 c 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a 内蔵オプションがプリンタドライバで使用可能かどうか確認します。 メモ: 必要に応じて、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「 プリントドライバの使用可能なオプションを追加する 」、248 ページ を参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

フラッシュメモリ不良

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 不良のフラッシュメモリを交換します。
- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを無視し、印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

リソースのフラッシュメモリ空き領域が足りません

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[継続] を選択してメッセージを消し、印刷を続けてください。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- 容量が大きいフラッシュメモリを取り付けます。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

未フォーマットフラッシュメモリ検出

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 操作パネルの[続行]を選択して、デフラグを停止し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージがまだ表示される場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があるので交換する必要があります。

消耗品の問題

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致

この問題を解決するには、プリンタの地域に一致する正しい地域でカートリッジを購入するか、世界標準のカートリッジを購入します。

- 42 の後ろに続くメッセージの最初の番号は、プリンタの地域を示します。
- 42 の後ろに続くメッセージの 2 番目の番号は、カートリッジの地域を示します。

プリンタおよびトナーカートリッジの地域

地域	数値コード
世界標準または未定義の地域	0
北米(米国、カナダ)	1
欧州経済地域、西欧諸国、北欧諸国、スイス	2
アジア太平洋	3
中南米	4
その他の欧州諸国、中東、アフリカ	5
オーストラリア、ニュージーランド	6

地域	数値コード
無効な地域	9

メモ: プリンタとトナーカートリッジの地域設定を検索するには、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [問題に対処する] > [印刷品質テストページ]

Lexmark 以外の消耗品

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用をプリンタで続行するには、操作パネルで **X** と **#** を同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品のプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。詳細については、[「Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する」](#)、145 ページを参照してください。

X と **#** を 15 秒間同時に押し続けても印刷されない場合、消耗品使用量カウンタをリセットします。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成メニュー] > [消耗品使用量とカウンタ]
- 2 リセットする部品または消耗品を選択して、[スタート]を選択します。
- 3 警告メッセージを確認して[続行]を選択します。
- 4 **X** と **#** を同時に 15 秒間押し続けて、メッセージをクリアします。

メモ: 消耗品使用量カウンタをリセットできない場合は、購入した場所に消耗品を返品します。

給紙の問題

印刷時に封筒の封が閉じられる

対応	はい	いいえ
手順 1 a 乾燥した場所に保管されている封筒を使用してください。 メモ: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。 b 次のように印刷ジョブを送信します。 印刷時に封筒の封が閉じられますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 a 用紙のタイプが[封筒]に設定されていることを確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b 次のように印刷ジョブを送信します。 印刷時に封筒の封が閉じられますか。	Contact カスタマサポート 一にお問い合わせください。	問題は解決しました。

部単位印刷が動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [レイアウト] > [部単位印刷]をタッチします。 b [部単位印刷]を[オン]にします。 c ドキュメントを印刷します。 部単位印刷が適切に動作していますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開いて[部単位印刷]を選択します。 b ドキュメントを印刷します。 部単位印刷が適切に動作していますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 印刷する部数を減らします。 b ドキュメントを印刷します。 部単位印刷が適切に動作していますか。	問題は解決しました。	テクニカルサポートにカスタマサポートなど、プリンタの状況を示します。

トレイのリンクが動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに同じサイズおよびタイプの用紙がセットされているか確認します。 b 用紙ガイドの位置が正しいか確認します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b 接続されているトレイにセットされた用紙に合った用紙サイズと用紙のタイプを設定します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a [同一用紙サイズのトレイのリンク]が[自動]に設定されていることを確認します。詳細については、 「トレイのリンク」、35 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

紙詰まりが頻繁に発生する

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを取り外します。 b 用紙が正しくセットされていることを確認します。 メモ: - 用紙ガイドが正しい位置にあることを確認します。 - 重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。 - 推奨用紙サイズとタイプで印刷していることを確認します。 c トレイを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b 用紙サイズとタイプを正しく設定します。 c ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

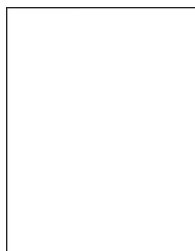
紙詰まりが発生したページが再印刷されない

対応	はい	いいえ
a ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [通知] > [紙詰まり内容の回復]をタッチします。 b [オン]または[自動]を選択します。 c 変更を適用します。 紙詰まりが発生したページは再印刷されましたか？	問題は解決しました。	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。

印刷の問題

印刷品質が悪い

空白または白のページ



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 プリンタで空白または白のページが印刷されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 a イメージングユニットに残っている梱包材をすべて取り外します。 1 トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 2 イメージングユニットに破損の兆候がないかを確認します。 メモ: フォトコンダクタードラムの接触面の位置がずれたり、曲がったりしていないかを確認します。 3 トナーの偏りをなくすために、イメージングユニットをしっかりと振ります。 4 イメージングユニット、トナーカートリッジの順に挿入します。 b ドキュメントを印刷します。 プリンタで空白または白のページが印刷されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 転写ローラーが正しく取り付けられているかを確認します。 転写ローラーは正しく取り付けられていますか？	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。
手順 4 a 転写ローラーを取り外してから、挿入します。 b ドキュメントを印刷します。 プリンタで空白または白のページが印刷されますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 プリンタで空白または白のページが印刷されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷が濃い



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b トナー濃度を薄くします。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [画質] c ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 用紙の表面が粗くないことを確認します。 テクスチャや粗さがある用紙に印刷していますか？	手順 5 に進みます。	手順 6 に進みます。
手順 5 a きめの粗い用紙を普通紙と交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 7 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

細かい線が正しく印刷されない



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 細かい線が正しく印刷されませんか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 a 印刷品質の設定を調整します。 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [印刷品質] > [ピクセルブースト] > [フォント] 2 トナー濃度を 7 に調節します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [印刷品質] b ドキュメントを印刷します。 細かい線が正しく印刷されませんか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

用紙が折れ曲がったりしわがよったりする

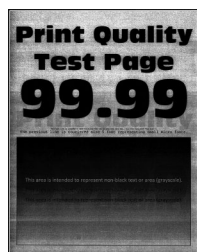


メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

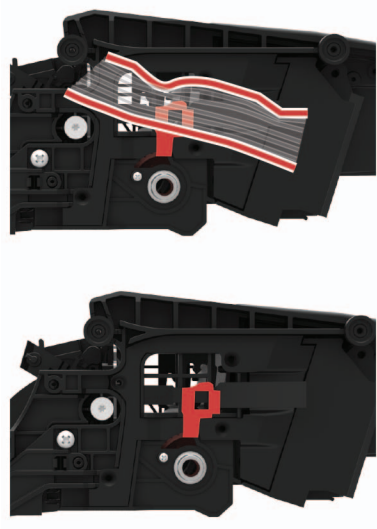
対応	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

グレーの背景



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源を切って 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b トナー濃度を薄くします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [印刷品質] c ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステムに応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。  メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。 c イメージングユニットを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

余白が正しくない



対応	はい	いいえ
手順 1 a 用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のサイズを指定します。 メモ: - 設定がセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

印刷が薄い



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b トナー濃度を濃くします。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [印刷品質] c ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステムに応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 印刷解像度が 600 dpi に設定されているかどうかを確認します。 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [印刷解像度] b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 5 a トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニットに残っている梱包材をすべて取り外します。 c イメージングユニットをよく振って、トナーの偏りをなくしてから挿入します。 d トナーカートリッジを挿入します。 e プリンタの電源を切って 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 f ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a 新しいメンテナンスキットを取り付けた後に問題が発生する場合は、キットに付属の転写ローラーが取り付けられているかどうかを確認します。 メモ: 必要に応じて、転写ローラーを交換してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 イメージングユニットの状態を確認します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [状態/消耗品] > [消耗品] イメージングユニットの寿命は近づいていますか？	手順 8 に進みます。	カスタマサポート にお問い合わせください。
手順 8 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

まだらな印刷やドット



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 トナー漏れの汚れがないか、プリンタをチェックします。 プリンタにトナー漏れはありませんか？	手順 3 に進みます。	カスタマサポート にお問い合わせください 。
手順 3 イメージングユニットの状態を確認します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [状態/消耗品] > [消耗品] イメージングユニットの寿命は近づいていますか？	手順 4 に進みます。	カスタマサポート にお問い合わせください 。
手順 4 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

用紙のカール



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a トレイのガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ: • セットした用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a トレイから用紙を取り出し、用紙を裏返します。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a セットした用紙に対応しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙に対応していない場合は、対応している用紙をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷が傾くまたは歪む



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

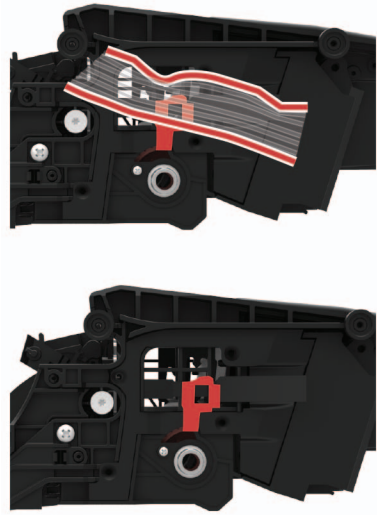
対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイのガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が傾いたり歪んだりしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a セットした用紙に対応しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙に対応していない場合は、対応している用紙をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が傾いたり歪んだりしていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a トレイのピックタイヤに破損や汚れの兆候がないかを確認し、必要に応じて交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が傾いたり歪んだりしていますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

ページが真っ黒になる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

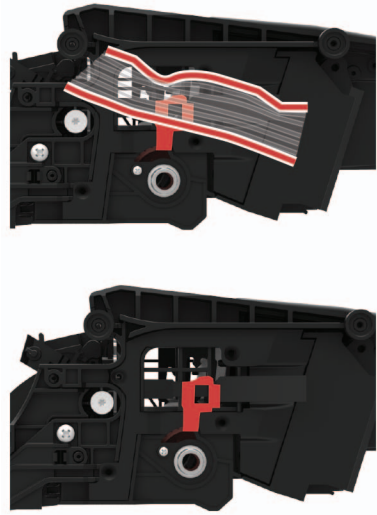
対応	はい	いいえ
手順 3 a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。  メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。 c イメージングユニットを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットに破損の兆候がないかを確認します。 イメージングユニットに破損はありませんか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	手順 5 に進みます。
手順 5 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

テキストまたは画像が切り取られる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であることを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。  メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。 c イメージングユニットを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

トナーがはがれ落ちる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、 [印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a フューザーを取り外してから、挿入します。 b ドキュメントを印刷します。 トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

横方向の薄い帯



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の薄い帯が印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の薄い帯が印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

縦方向の薄い帯



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の薄い帯が印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の白い線



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

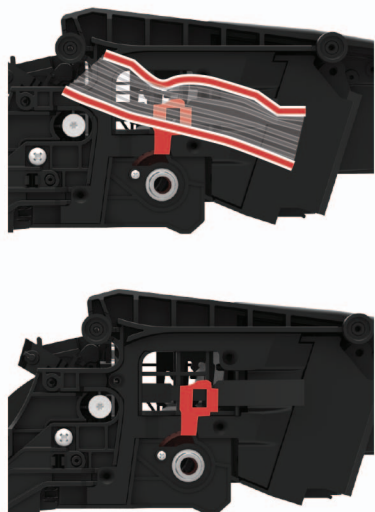
対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 印刷速度が遅い問題を修正します。詳細については、 「時間がかかる」、222 ページ を参照してください。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

縦方向の黒い帯



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

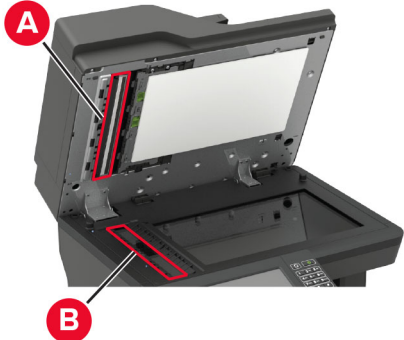
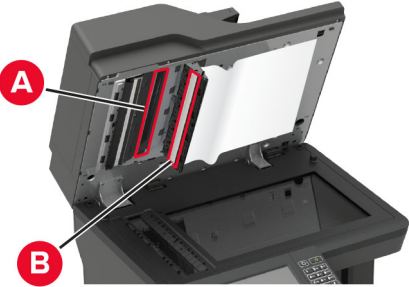
対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、トナーカートリッジの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。  メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。 c イメージングユニットを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a プリンタの右側に明るい光が入っていないかを確認し、必要に応じてプリンタを移動させます。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の黒い線

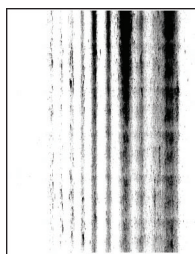


メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

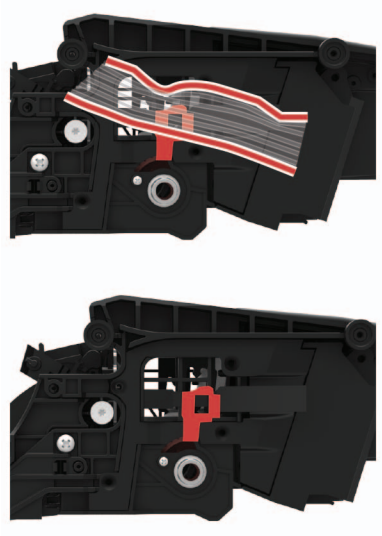
対応	はい	いいえ
手順 1 白紙を 1 枚用意し、ADF を使用して両面印刷を行います。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 2 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。 • ADF ガラスパッド(A)および ADF ガラス(B)  • ADF ガラス(A)およびドア C の ADF ガラスパッド(B)  縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステムに応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]の順に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a イメージングキットを取り外してから挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の感光体ドラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。  メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。 c イメージングユニットを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 印刷物に縦方向の黒いすじが現れて画像が抜けていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷物に縦方向の黒いすじが現れて画像が抜けていますか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷不良が繰り返し発生する



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 印刷品質テストページを使用して、繰り返し発生する異常の間隔が次の値のいずれかと等しいかどうかを確認します。 • 96.8 mm (3.81 インチ) • 47.8 mm (1.88 インチ) • 28.5 mm (1.12 インチ) 繰り返し発生する異常の間隔は、次の測定値のいずれかと一致していますか？	手順 2 に進みます。	間隔を記録して、 カスタマサポート にお問い合わせください。
手順 2 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷不良が繰り返し発生しますか？	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

コンフィデンシャル原稿およびその他の保持された原稿が印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、保留中のジョブのリストに原稿が表示されるかを確認します。 メモ: 原稿が一覧表示されない場合、[印刷して保持]オプションを使用して原稿を印刷します。 b 原稿を印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。 - 印刷ジョブを削除し、もう一度送信します。 - PDF ファイルの場合、新しいファイルを生成してから、原稿を印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取る可能性があります。 Windows の場合 [印刷設定]ダイアログを開きます。 [印刷と保持]セクションで、[重複ドキュメントを維持]を選択します。 - PIN を入力します。 - 印刷ジョブを再送信します。 Macintosh の場合 - ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられます。 - ジョブを個別に送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 - 一部の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。 - 印刷ジョブを再送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 - プリンタメモリを増設します。 - 印刷ジョブを再送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

時間がかかる

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていることを確認します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタが ECO モードまたは静音モードになっていないことを確認します。 - 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [デバイス] > [電源管理] > [ECO モード] - 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [デバイスの操作] > [静音モード] タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷設定] または [印刷] ダイアログから印刷解像度を指定します。 b 解像度を 600 dpi に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [印刷解像度] タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。 b 解像度を 600 dpi に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 5 a オペレーティングシステムに応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • 重い用紙は、印刷に時間がかかります。 • レターサイズ、A4、リーガルよりも幅の狭い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a [表面の粗さ]と[重さ]のプリンタ設定がセットされている用紙と一致していることを確認します。 メモ: 粗い用紙および重い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 保留中のジョブを削除します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 a プリンタが過熱していないことを確認します。 メモ: • 長い印刷ジョブの後には、プリンタを十分に冷まします。 • プリンタの操作環境の推奨温度を超えないようにします。詳細については、「プリンタの設置場所を選択する」、11 ページを参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	手順 9 に進みます。	問題は解決しました。
手順 9 a プリンタメモリを増設します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 印刷するドキュメントで[印刷]ダイアログボックスを開き、正しいプリンタが選択されているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a ポートが動作し、ケーブルがコンピュータとプリンタにしっかりと接続されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a プリンタソフトウェアを削除してから、再インストールします。 メモ: プリンタソフトウェアは http://support.lexmark.com を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

プリンタが応答していない

対応	はい	いいえ
手順 1 電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源をオンになっていますか？	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 4 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていませんか？	電源ボタンを押してプリンタを起動します。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつないでいるケーブルが正しいポートに接続されていることを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルを正しいポートに差し込みます。
手順 6 プリンタの電源を切ってハードウェアオプションを取り付けてから、プリンタの電源を入れます。 詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 正しいプリンタドライバをインストールします。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 8 に進みます。
手順 8 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。

トナーの濃さを調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [印刷品質]をタッチします。
- 2 トナーの濃さを調整します。
- 3 変更を適用します。

ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される

対応	はい	いいえ
手順 1 a 正しい用紙で印刷しているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	手順 2 に進みます。	正しいサイズとタイプの用紙をセットします。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ: プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ] b セットした用紙と設定が一致していることを確認します。 c ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a トレイがリンクされていることを確認します。 詳細については、 「トレイのリンク」、35 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しいトレイから印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

FAX に関するトラブル

FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 以下の機器のケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 • 電話 • ハンドセット • 留守番電話 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 発信音を確認します。 • FAX 番号に電話をかけて、正しく機能していることを確認します。 • オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。 発信音が聞こえますか？	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。
手順 4 電話の差し込み口を確認します。 - a 差し込み口に直接アナログ電話を接続します。 - b 発信音を聞いてください。 - c 発信音が聞こえない場合は、別の電話ケーブルをご利用ください。 - d やはり発信音が聞こえない場合は、アナログ電話を別の差し込み口に差し込んでください。 - e 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていることを確認します。 • 統合サービスデジタル通信網 (ISDN) 電話サービスを使用している場合、ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポートに接続します。詳細については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 • DSL を使用している場合、アナログでの使用をサポートしている DSL フィルタまたはルーターに接続します。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 • 構内交換機 (PBX) 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 6 一時的に他の機器の接続を切断して、他の電話サービスを無効にします。 a プリンタと電話回線間の他の機器（留守番電話、コンピュータ、モデムまたは電話回線スプリッタなど）を切断します。 b 割込通話およびボイスメールを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿をスキャンします。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台に正しくセットします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ショートカット番号を正しく設定します。 - ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されていることを確認してください。 - 電話番号を手動でダイヤルします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 トレイや多目的フィーダが空の状態でないことを確認します。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音待機回数の設定をチェックします。 a ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [呼び出し回数] の順にタッチします。 b 必要に応じて、設定を構成します。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 トナーカートリッジを取り付けます。 詳細については、同梱されている手順シートを参照してください。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	テクニカルサポートに カスタマサポート など、プリンタの状況を示します。

FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 印刷品質に問題がないことを確認します。 a 操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] に移動します。 b あらゆる印刷品質の問題を修正します。詳細については、 「印刷品質が悪い」、195 ページ を参照してください。 FAX の印刷品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 FAX の受信速度を下げてください。 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] b [送信最大ビット速度] メニューで、遅い送信速度を選択します。 FAX の印刷品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャンに関するトラブル

コンピュータからスキャンできない

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブを送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルがしっかり固定されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブを送信できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

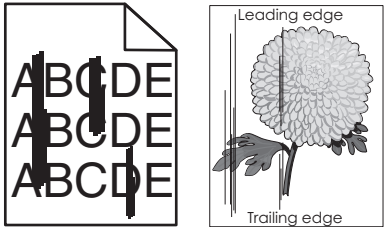
文書や写真の一部しかコピーされない

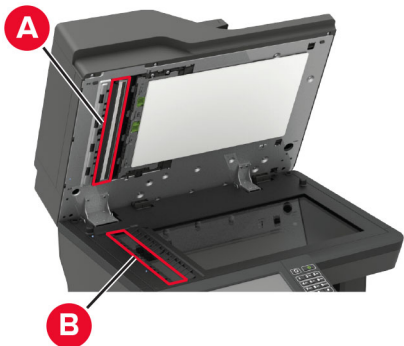
対応	はい	いいえ
手順 1 a 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 b 文書または写真をコピーします。 文書または写真は正しくコピーされていますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。 b 文書または写真をコピーします。 文書または写真は正しくコピーされていますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

コピー品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 a 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、原稿台ガラスと ADF ガラスを拭きます。 b 文書または写真の表を下にし、原稿台ガラスの左上隅に合わせてセットしてください。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 文書または写真の質を確認します。 b スキャン品質の設定を調整します。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

ADF からスキャンした場合に、出力紙に発生する縦方向の黒いすじ



対応	はい	いいえ
手順 1 a スキャナカバーを開きます。 b 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、ADF ガラスパッド(A)および ADF ガラス(B)を拭きます。  c スキャナカバーを閉じます。 縦方向のすじがスキャン文書に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a スキャナカバーを開きます。 b 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、ADF ガラス(A)およびドア E の ADF ガラスパッド(B)を拭きます。  c スキャナカバーを閉じます。 縦方向のすじがスキャン文書に発生しますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
手順 1 ケーブル接続をチェック確認します。 a イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されていることを確認してください。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 スキャンするファイルを確認します。 a ファイル名が保存先フォルダで既に使用されていないことを確認します。 b スキャンする文書または写真が他のアプリケーションで開かれていないことを確認します。 c スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 保存先の設定で[タイムスタンプを追加]または[既存ファイルを上書き]チェックボックスが選択されていることを確認します。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャナが閉じない

対応	はい	いいえ
スキャナユニットが閉じない原因となっている障害物を取り除きます。 スキャナユニットは正常に閉じましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
スキャンを妨害しているすべてのアプリケーションを閉じます。 スキャンに時間がかかる、またはコンピュータが停止してしまいませんか？	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

スキャナが反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 電源コードがプリンタと電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャナ登録の調整

- ホーム画面から[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]をタッチします。
- [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- 原稿台ガラスに印刷簡易テストページを配置し、[フラットベッド登録]をタッチします。
- [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- コピー簡易テストページを原稿と比較します。
メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[左余白]と[上余白]を調整します。
- コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 4](#) および [手順 5](#) を繰り返します。

ADF 登録を調整する

- ホーム画面から[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]をタッチします。
- [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- ADFトレイに印刷簡易テストページをセットします。
- [正面 ADF 登録]または[背面 ADF 登録]をタッチします。

メモ:

- 前面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を上にしてセットします。
- 背面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を下にしてセットします。

5 [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。

6 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[水平方向調整]と[上余白]を調整します。

7 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 5](#) および [手順 6](#) を繰り返します。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに連絡する前に、次の情報を確認してください。

- プリンタの問題
- エラーメッセージ
- プリンタ機種とシリアル番号

[http:](#) E メールまたはチャットによるサポートを受けるか、マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

電話によるテクニカルサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

アップグレードと移行

ハードウェア

使用可能な内蔵オプション

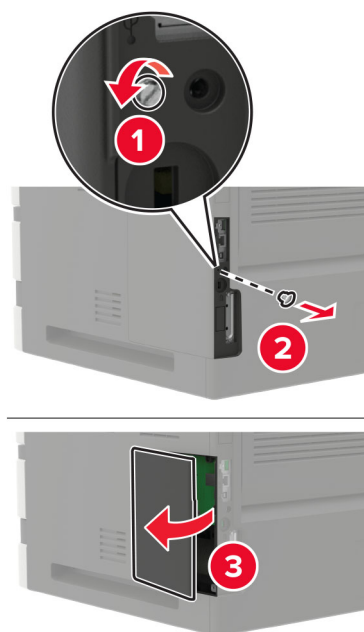
- フラッシュメモリ
- フォントカード
- ファームウェアカード
 - 用紙とバーコード
 - 規定
 - IPDS
- プリンタハードディスク
- 内蔵ソリューションポート
 - パラレル 1284-B インターフェイスカード
 - RS-232C シリアルインターフェイスカード
 - ファイバインターフェイスカード
 - N8370 802.11a/b/g/n ワイヤレスプリントサーバーインターフェイスカード

コントローラボードにアクセスする

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



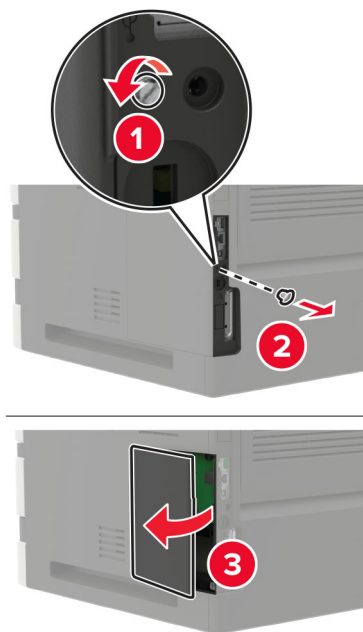
- 4 サポートされている内蔵オプションを取り付けます。詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。
- 5 アクセスカバーを閉じます。
- 6 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。
 **注意—傷害の恐れあり：**火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。
- 7 プリンタの電源を入れます。

メモ리카ードを取り付ける

-  **注意—感電危険：**感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 マイナスドライバーを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

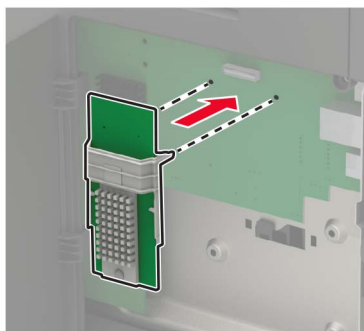
警告—破損の恐れあり：コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 メモリカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

5 メモリカードを、所定の位置でカチッと音がするまで挿入します。



6 アクセスカバーを閉じます。

7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

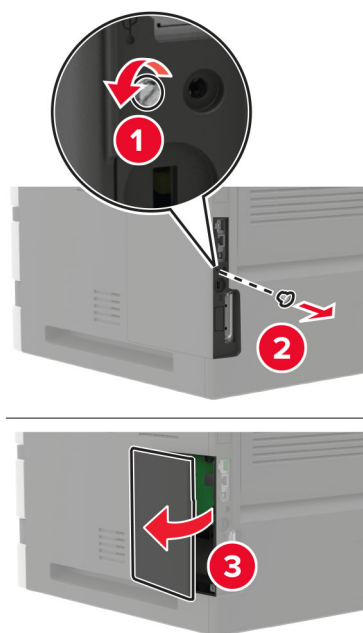
8 プリンタの電源を入れます。

オプションカードを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 マイナスドライバーを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

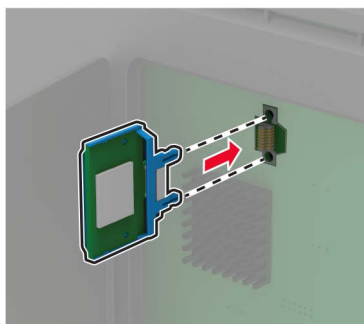
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



- 4 オプションカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

- 5 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

警告—破損の恐れあり: カードを正しく取り付けない場合、カードとコントローラボードが損傷するおそれがあります。

- 6 アクセスカバーを閉じます。
- 7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

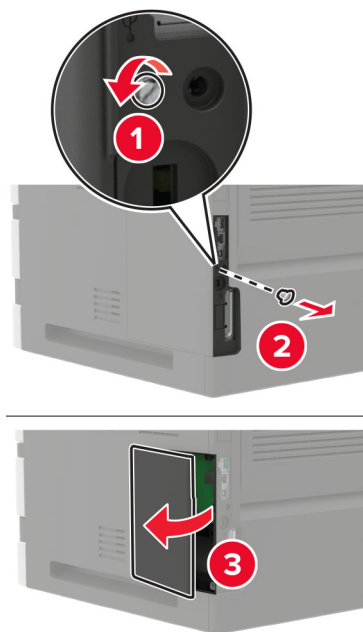
- 8 プリンタの電源を入れます。

プリンタハードディスクを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

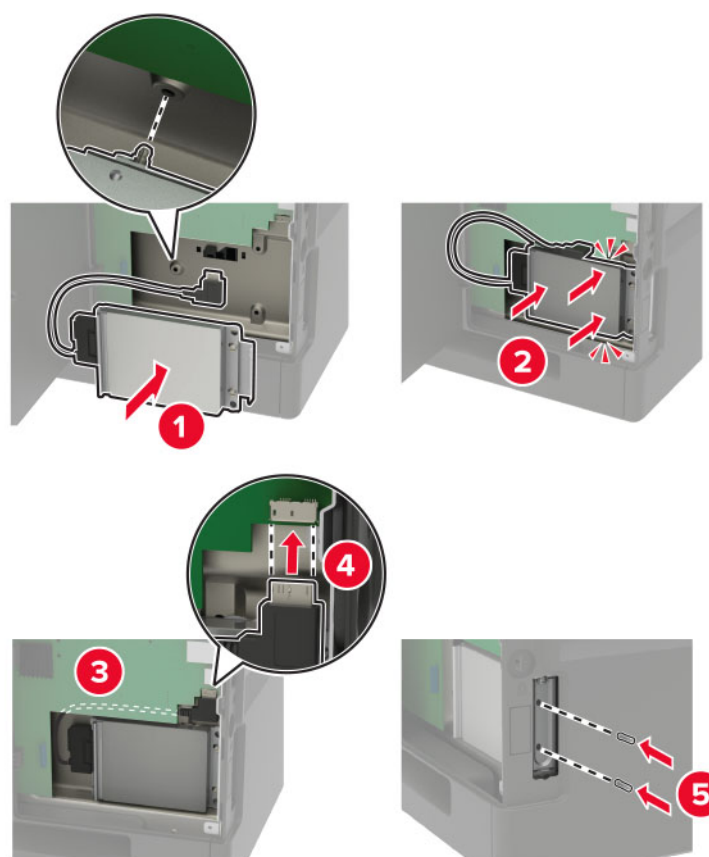
- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



- 4 ハードディスクを開梱します。
- 5 ハードディスクを接続し、次にハードディスクインターフェイスケーブルをコントローラボードに接続します。

警告—破損の恐れあり: ハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。



6 アクセスカバーを閉じます。

7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

8 プリンタの電源を入れます。

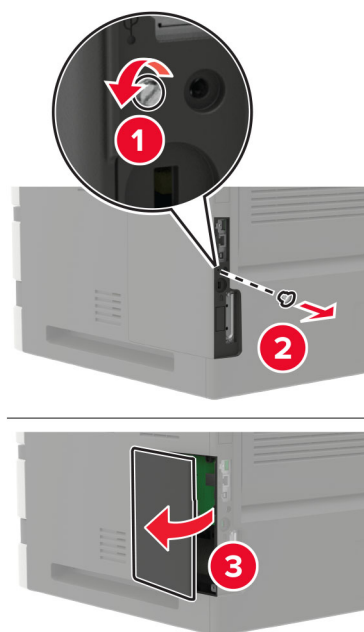
内蔵ソリューションポートを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

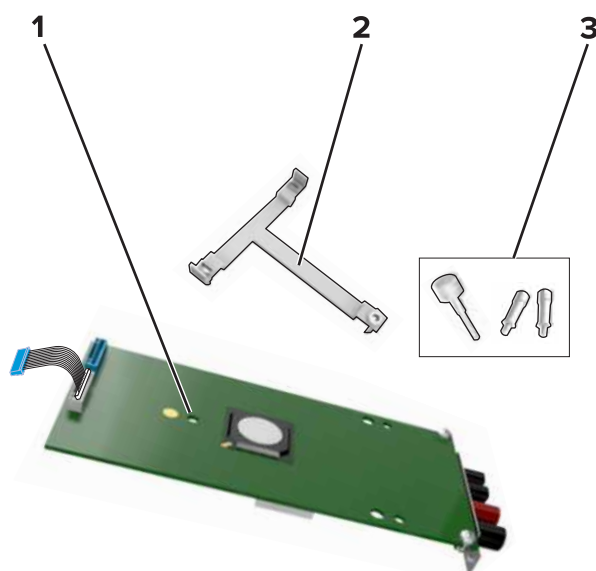
1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



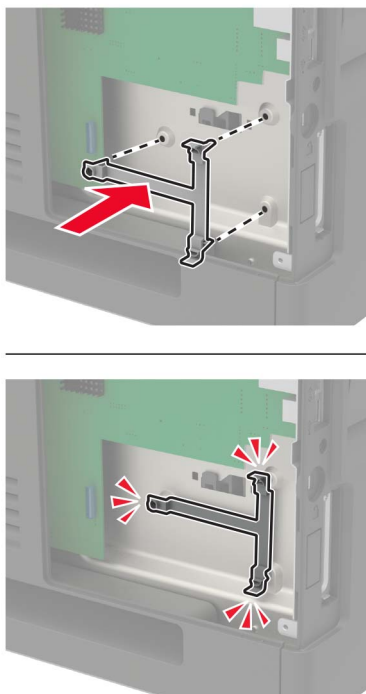
3 内蔵ソリューションポート(ISP)をパッケージから取り出す



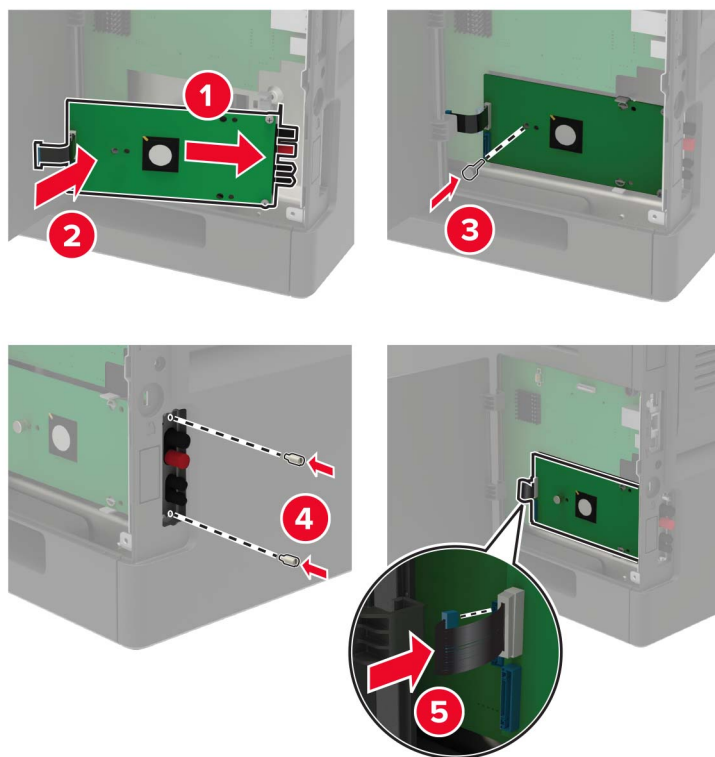
1	ISP
2	取り付けブラケット
3	つまみネジ

4 必要に応じて、プリンタハードディスクを取り外します。

5 ブラケットを、ボードユニットの所定の位置にカチッと音がするまで挿入します。

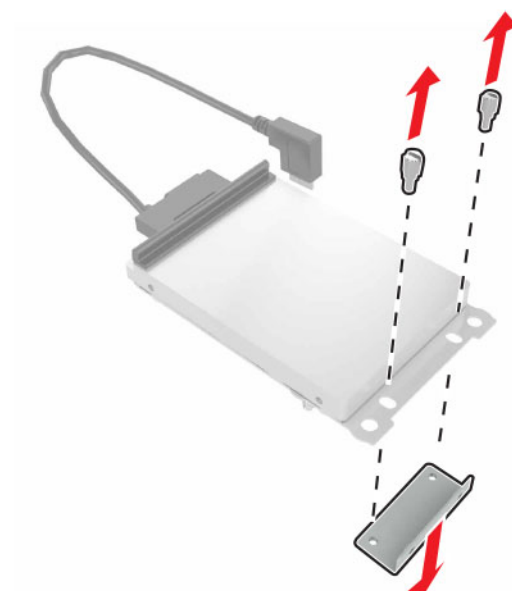


6 ブラケットに ISP を取り付けます。



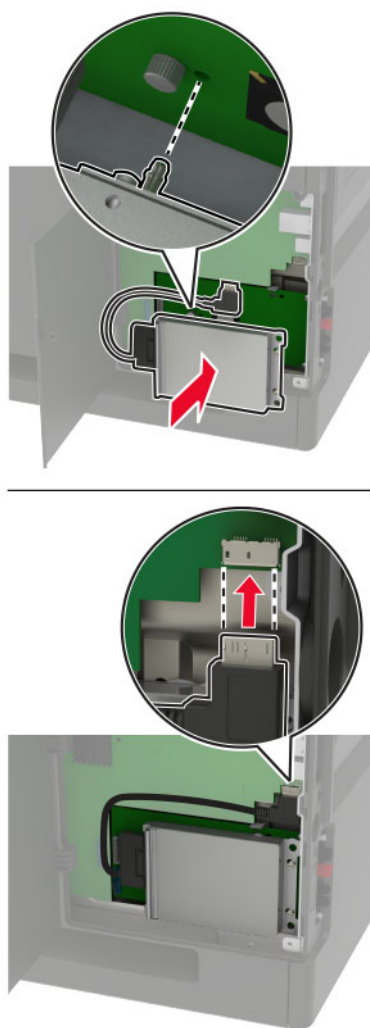
7 必要に応じて、ISP にハードディスクを取り付けます。

a ハードディスクブラケットを取り外します。



b ハードディスクを ISP に取り付けます。

警告—破損の恐れあり: ハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。



8 アクセスカバーを閉じます。

9 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

250 枚または 550 枚トレイを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

1 プリンタの電源を切ります。

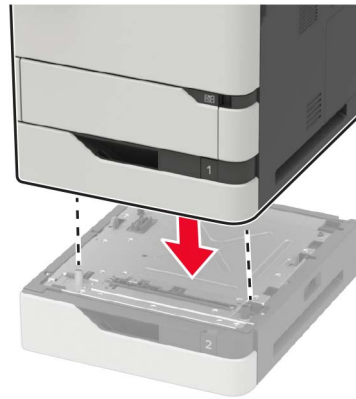
2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。

- 3 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

メモ: オプショントレイがすでに取り付けられている場合は、プリンタを持ち上げる前にトレイのロックを解除してください。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。

- 4 プリンタをオプショントレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量が 18 kg (40 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。



- 5 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

- 6 プリンタの電源を入れます。

必要に応じて、プリントドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。(⇒ [「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、248 ページ)。

2100 枚トレイを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

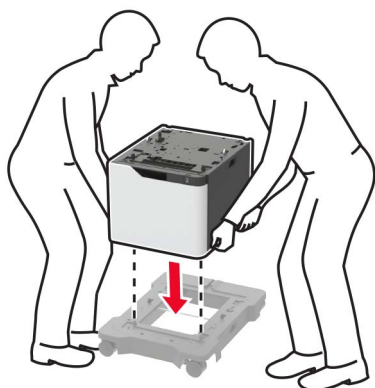
- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 トレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

メモ: オプショントレイがすでに取り付けられている場合は、プリンタを持ち上げる前にトレイのロックを解除してください。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。

- 4 キャスタベースにトレイを取り付けます。

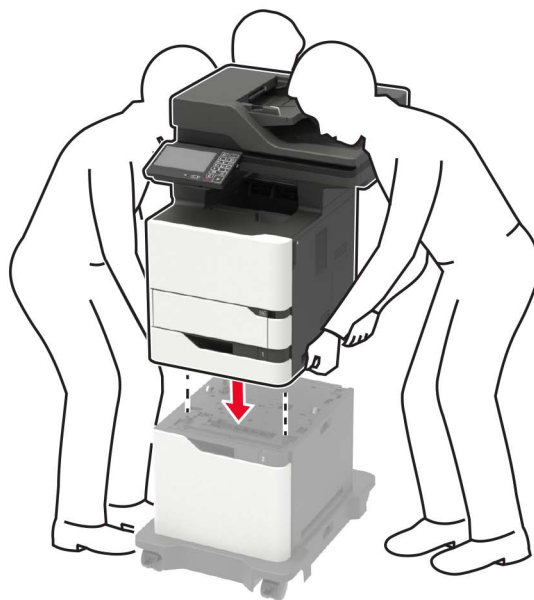
メモ: キャスタベースのホイールがロックされていることを確認します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: トレイの重量が 18 kg (40 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。



5 プリンタをトレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量が 18 kg (40 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。



6 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

7 プリンタの電源を入れます。

必要に応じて、プリンタドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。(⇒ [「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、248 ページ)。

ソフトウェア

プリンタソフトウェアをインストールする

- 1 ソフトウェアインストーラパッケージのコピーを取得します。
 - プリンタに付属のソフトウェア CD から
 - <http://support.lexmark.com> にアクセスし、お使いのプリンタとオペレーティングシステムを選択します。
- 2 インストーラを実行して、コンピュータ画面の手順に従います。
- 3 Macintosh ユーザーの場合は、プリンタを追加します。

メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションからプリンタの IP アドレスを取得します。

プリントドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 更新するプリンタを選択して、次のいずれかを実行します。
 - Windows 7 以降の場合は、[プリンタのプロパティ]を選択します。
 - それ以前のバージョンの場合は、[プロパティ]を選択します。
- 3 [設定]タブに移動して、[今すぐ更新 - プリンタに照会]を選択します。
- 4 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ]を選択します。
- 2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。
- 3 変更を適用します。

ファームウェア

構成ファイルをエクスポートまたはインポートする

構成設定をテキストファイルにエクスポートしてから、それをインポートし、他のプリンタに設定を適用できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 単一または複数のアプリケーション用の構成ファイルをエクスポートまたはインポートします。

単一のアプリケーションの場合

- a 内蔵 Web サーバーから、[アプリ] > 使用したいアプリケーション > [設定]をクリックします。
- b [エクスポート]または[インポート]をクリックします。

複数のアプリケーションの場合

- a 内蔵 Web サーバーから、[構成をエクスポート]または[構成をインポート]をクリックします。
- b 画面に表示される指示に従います。

ファームウェアを更新する

一部のアプリケーションを正しく動作させるためには、デバイスファームウェアの最小レベルが必要になります。デバイスファームウェアの更新の詳細については、Lexmark 担当者にお問い合わせください。

- 1 EWS で、[設定] > [デバイス] > [ファームウェアを更新]をクリックします。
- 2 参照して必要なフラッシュファイルを見つけます。
- 3 変更を適用します。

付録

製品情報

製品名:

Lexmark MB2770adwhe; Lexmark MX721ade、Lexmark MX721adhe; Lexmark MX722ade、Lexmark MX722adhe; Lexmark MX725adve、Lexmark XM5365、Lexmark XM5370 MFP

機種番号:

7464

機種:

036、037、096、336、337、388、396、836

免責

2018 年 12 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2018 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Google クラウド プリントおよび Google Chrome は、Google Inc. の商標です。Google Play は、Google LLC の商標です。

Macintosh、Mac、App Store、Safari は、Apple Inc. の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、および Internet Explorer は、米国およびその他の国々での Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Mopria®、Mopria® ロゴ、および Mopria® Alliance ロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc. の登録商標またはサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ライセンスに関する通知

この製品に関連するライセンスについての通知はすべて、インストールソフトウェア CD の CD:\NOTICES ディレクトリから表示できます。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

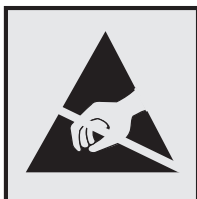
1 メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	片面: 57 (MB2770、MX721、MX722、XM5365、XM5370)、56 (MX725) 両面: 56 (MX721、XM5365)、57 (MB2770、MX722、XM5370)、55 (MX725)
スキャン中	56 (MB2770、MX721、MX722、XM5365、XM5370)、57 (MX725)
コピー中	60 (MB2770、MX721、MX722、XM5365、XM5370)、59 (MX725)
レディ状態	14 (MB2770、MX721、MX722、XM5365、XM5370)、28 (MX725)

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気感知に関する通知



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、マークから離れた場所のプリンタの金属フレームに触れてください。

紙詰まりの除去や消耗品の交換などのメンテナンス作業時に、静電気放電による損傷を防ぐため、マークがない場合でも、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

Energy Star(国際エネルギースター)プログラム

起動画面に「ENERGY STAR®」マークが表示される Lexmark 製品は、出荷時に EPA (Environmental Protection Agency) ENERGY STAR 要件に準拠するよう構成されていることが、Lexmark によって認定されています。



温度に関する情報

動作温度と相対湿度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F) および 15 ~ 80% RH
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの長期保存 ¹	15.3 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F) および 8 ~ 15% RH 最高湿球温度: 22.8°C (73°F)
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの短期輸送	-40 ~ 43.3°C (-40 ~ 110°F)

¹ 消耗品棚の寿命は約 2 年です。これは 22°C (72°F)、湿度 45% の標準的なオフィス環境における保管に基づいています。

² 湿球温度は空気温度と相対湿度によって決まります。

レーザーについて

本機は、米国においてクラス I (1) レーザー製品に対する DHHS 21 CFR、Chapter I、Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。2014

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。プリンタには、以下の仕様のレーザーを含む、メンテナンス不可能なプリントヘッドアセンブリがあります。

クラス: IIIb (3b) AlGaAs

公称出力電力 (ミリワット): 25

波長 (ナノメートル): 755 ~ 800

電力消費量

製品の消費電力

次の表に、本製品の電力消費特性を示します。

メモ：製品によっては適用されないモードがあります。

モード	説明	消費電力(W)
印刷	製品が入力データからハードコピー出力を生成しているとき。	片面：800(MX721、XM5365)、850(MB2770、MX722、XM5370)、750(MX725) 両面：580(MX721、XM5365)、640(MB2770、MX722、XM5370)、570(MX725)
コピー	製品が原稿のハードコピー出力を生成しているとき。	830(MX721、XM5365)、890(MB2770、MX722、XM5370)、810(MX725)
スキャン	製品が原稿のスキャンを行っているとき。	75(MX721、XM5365)、73(MB2770、MX722、XM5370)、158(MX725)
準備完了	印刷ジョブを待機中	高電力消費：41.5(MX721、XM5365)、42(MB2770、MX722、XM5370)、118(MX725) 低電力消費：31(MX721、XM5365)、32(MB2770、MX722、XM5370)、94(MX725)
スリープモード	製品が高レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	1.8(MX721、XM5365)、2(MB2770、MX722、MX725、XM5370)
休止モード	製品が低レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	0.2
オフ	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチはオフの状態のとき。	0.2

上記の表に示されている電力消費レベルは、時間的平均測定値です。瞬間的な電力は、この平均値を大きく上回る場合があります。

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることによって電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時の初期設定[スリープモードタイムアウト](分)：	15
----------------------------------	----

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を1～120分の間に変更できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

休止モード

この製品には、休止モードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。休止モードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる状態です。

休止モードに切り替えるには、次のいずれかの方法を使用します。

- 休止モードタイムアウトを使用する
- 電力モードの定期実行を使用する

すべての国または地域におけるこの製品の工場出荷時の休止モードタイムアウト	3 日
--------------------------------------	-----

ジョブが印刷された後から休止モードに切り替わるまでプリンタが待機する時間は、1 時間～ 1 か月の範囲で設定できます。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

合計の消費電力量

合計の消費電力量を計算することも、役に立つ場合があります。消費電力の単位はワットで表されているため、実際の消費電力量を計算するには、それぞれの運転モードにおける動作時間をかける必要があります。合計の消費電力量は、それぞれの運転モードにおける消費電力量を合計したものとなります。

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、アナログファクシミリカードを含む製品の規制に関する情報を提供しています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号:

LEX-M14-002

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、証明書番号 A11-0160001 によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M14-002
	A11-0160001JP

ワイヤレス製品に関する規制通知

このセクションに記載されている規制情報はワイヤレスモデルにのみ適用されます。

お使いのモデルがワイヤレスモデルかどうかを判別できない場合は <http://support.lexmark.com> を参照してください。

モジュールコンポーネントに関する通知事項

ワイヤレス機能を搭載しているモデルには、次のモジュールコンポーネントが搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル: LEX-M07-001、FCC ID: IYLLEXM07001、Industry Canada IC: 2376A-M07001

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm (8 インチ) 確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

日本の VCCI 規定

製品にこのラベルが表示されている場合、
次の要件を満たしています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用す
ると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な
対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電波障害について

警告

本製品は、EN55022/EN55032 クラス A 制限の放射要件および EN55024 の電磁波耐性要件に準拠しています。
本製品は、住宅環境での使用を目的としていません。

本製品はクラス A 製品です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こす場合があります。この場合には
使用者が適切な対策を講じる必要があります。

索引

数字

- 2100 枚トレイ
 - 設置 245
 - 用紙をセット 30
- 2100 枚トレイを取り付ける 245

アルファベット

- ADF 給紙ローラー
 - 交換 165
- ADF 給紙ローラーを交換する 165
- ADF 区切りローラー
 - 交換 168
- ADF 区切りローラーを交換する 168
- ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり 186
- ADF 登録
 - 調整 233
- ADF 登録を調整する 233
- ADF トルクリミッタ
 - 交換 171
- ADF ピックローラー
 - 交換 162
- ADF を使用する
 - コピー 45
- AirPrint
 - 使用 41
- Android デバイス
 - 印刷 40
- Cloud Connector プロファイル
 - 印刷 44
 - 作成 20
 - スキャンする 61
- Cloud Connector プロファイルを作成する 20
- EWS を開けない 188
- E メール
 - ショートカットを作成する 49
 - セットアップ 48
 - E メール設定を構成する 48
 - アドレス帳を使用する 49
 - 原稿台ガラスを使用する 48
 - 自動原稿フィーダー(ADF)を使用する 48
 - ショートカット番号を使用 49
 - プリンタを使用する 49
- E メール機能を設定する 48

- E メールショートカットを作成する 49
- E メール設定を構成する 48
- E メールを送信する 49
- FAX
 - FAX の初期設定 50
 - FAX の転送 58
 - FAX の保持 58
 - FAX ログの閲覧 58
 - 解像度を変更する 57
 - 原稿台ガラスを使用する 50
 - 自動原稿フィーダー(ADF)を使用する 50
 - ショートカットを作成する 57
 - 濃度を調整する 57
 - 日付および時刻の設定 56
 - 迷惑 FAX のブロック 58
- FAX 宛先ショートカットを作成する 57
- FAX 解像度
 - 変更 57
- FAX 機能を設定する 50
- FAX スピーカー設定を構成する 139
- FAX スピーカーの設定
 - 設定 139
- FAX の印刷品質が悪い 229
- FAX の初期設定
 - 国または地域固有 53
 - 標準電話回線接続 51
- FAX の設定
 - 国または地域固有 53
 - 標準電話回線接続 51
- FAX の転送 58
- FAX のトラブルシューティング
 - FAX の印刷品質が悪い 229
 - FAX を受信できない 228
 - FAX を送受信できない 227
 - FAX を送信できない 228
- FAX の保持 58
- FAX ログ
 - 表示 58
- FAX を送信する
 - コンピュータを使用する 56
 - 操作パネルを使用する 56
 - 予約済み 57
- FAX を予約送信する 57
- FCC 通知 255

- FTP アドレス
 - ショートカットを作成する 59
- FTP サーバー、スキャンする
 - 操作パネルを使用する 59
- FTP サーバーへのスキャンデータの送信
 - 操作パネルを使用する 59
- FTP ショートカットを作成する 59
- Google クラウド プリント
 - 使用 40
- ISP の取り付け後にプリンタポート設定を変更する 141
- Lexmark 以外の消耗品 192
- Lexmark モバイル印刷
 - 使用 40
- LINE ポート 14
- Mopria プリントサービス
 - 使用 40
- QR コード
 - 追加 20
- QR コードジェネレータを使用する 20
- RJ11 アダプタ 53
- USB ケーブル 14
- USB ポート 14
 - 有効化 189
- USB ポートの有効化 189
- Wi-Fi Protected Setup
 - ワイヤレスネットワーク 140
- Wi-Fi ネットワーク
 - 無効化 141
- Wi-Fi ネットワークの無効化 141

あ行

- 明るさを調整する
 - プリンタディスプレイ 175
- アダプタプラグ 53
- 圧縮ログのエクスポート 73
- 穴あき用紙
 - 用紙をセット 27, 34
- 暗号化
 - プリンタハードディスク 137
- 安全情報 8, 9
- イーサネットケーブル 14
- イーサネットポート 14
- イメージングユニット
 - 交換 150
 - 注文 147

印刷

AirPrint 133
Android デバイスから 40
Cloud Connector プロファイルから 44
Google クラウドプリントを使用する 40
コンピュータから 40
ディレクトリリスト 44
ネット設定ページ 190
フォントサンプルリスト 44
フラッシュメモリから 41
メニュー設定ページ 136
モバイルデバイスから 40, 41
印刷が曲がっている 207
印刷ジョブの保存 43
印刷のトラブルシューティング
印刷時に封筒の封が閉じられる 192
印刷ジョブが印刷されない 224
紙詰まりが発生したページが再印刷されない 195
コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保持されたドキュメントが印刷されない 220
時間がかかる 222
ジョブが正しくないトレイから印刷される 226
ジョブが正しくない用紙で印刷される 226
正しくないマージン 202
トレイのリンクが動作しない 193
頻繁な紙詰まり 194
フラッシュメモリを読み取れない 189
印刷品質
スキャナを清掃する 142
印刷品質テストページ 136
印刷品質のトラブルシューティング
印刷後の背景がグレーになる 200
印刷が薄い 202
印刷が傾いたり歪んだりしている 207
印刷が濃い 196
空白または白のページ 195
繰り返し発生する異常 220
細かい線が正しく印刷されない 198
縦方向の薄い帯 213
縦方向の黒い帯 214

縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける 218
縦方向の黒い線 217
縦方向の白い線 214
テキストまたは画像が切り取られる 210
トナーがはがれ落ちる 211
ページが真っ黒になる 207
まだらな印刷やドット 204
用紙が折れ曲がったりしわがよったりする 199
用紙が巻いてしまう 205
横方向の薄い帯 212
印刷品質メニュー 75
インジケータランプ
状態について理解する 16
エコ設定
設定 21
エコモード
設定 175
オプションカード
設置 238
オプションカードを取り付ける 238
オプションを取り付ける
プリンタハードディスク 239
音声ガイダンス
スピーチ速度 26
有効化 25
音声ガイダンスのスピーチ速度調整 26
音声ガイダンスの有効化 25
音声のパスワード
有効化 26
音声のパスワードの有効化 26

か行

拡大モード
有効化 26
拡大モードの有効化 26
確認印刷ジョブ 43
Macintosh コンピュータから印刷する 43
Windows から印刷する 43
カスタマサポート
使用 21
問い合わせ 234
カスタマサポートに問い合わせる 234
カスタマサポートを使用する 21
仮想キーボード
使用 26

カードコピー

セットアップ 18
カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致 191
壁紙を変更する 19
紙詰まり
設置場所 178
防止 177
紙詰まりが発生しているエリアにアクセスする 178
紙詰まり、取り除く
自動原稿フィーダー 186
標準排紙トレイ内 184
紙詰まりの場所を確認する 178
紙詰まりを取り除く
自動原稿フィーダー 186
多目的フィーダー 185
ドア A 180
ドア C 183
トレイ内 180
紙詰まりを防止する 177
画面の操作
ジェスチャを使用する 25
環境設定 175
揮発性に関する記述 138
揮発性メモリ 138
消去 137
空白ページ 195
繰り返し印刷ジョブ 43
Macintosh コンピュータから印刷する 43
Windows から印刷する 43
グループ
削除 23
追加 23
編集 23
グループを削除する 23
グループを追加する 23
グループを編集する 23
ケーブルを接続する 14
原稿
スキャンして FAX サーバーに送信する 61
原稿台ガラス
使用 45, 48, 50, 59
原稿台ガラスを使用する 45, 48, 50, 59
コピー 45
交換
多目的フィーダーのピックアップローラー 160
工場出荷状態に復元する 138

個人 ID 番号

有効化 26

個人 ID 番号方式 140

個人識別番号の有効化 26

[このプリンタについて]メニュー
73

コピー

原稿台ガラスを使用する 45

自動原稿フィーダー(ADF)を使用する 45

ショートカットを作成する 47

用紙の両面 46

コピーショートカットを作成する 47

コピーする

選択したトレイ 45

コピーの拡大 46

コピーの区切りとして挿入紙を挿入する

コピー 46

コピーの縮小 46

コピーのトラブルシューティング

コピー品質が悪い 230

スキナが反応しない 233

スキナユニットが閉じない 232

文書や写真の一部分しかコピー
されない 230

コピーを作成する 45

コントローラボード

アクセス 235

コントローラボードにアクセスする 235

コンピュータから印刷する 40

コンピュータへのスキャン 61

セットアップ 61

コンフィデンシャル印刷ジョブ 43

Macintosh コンピュータから印刷
する 43

Windows から印刷する 43

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する

Macintosh コンピュータから 43

Windows から 43

さ行

サイズの異なる用紙、コピー 45

サイズの異なる用紙をコピーする 45

サポートされているファイルタイプ 42

サポートされているフラッシュメモリ 42

サポートされている用紙サイズ 37

サポートされている用紙タイプ 38

サポートされている用紙の重さ 39

ジェスチャを使用して画面を操作する 25

自動原稿フィーダー(ADF)

使用 45, 48, 50, 59

自動原稿フィーダー(ADF)を使用する 45, 48, 50, 59

写真

コピー 45

写真をコピーする 45

使用

Lexmark 純正の消耗品 145

Lexmark 純正の部品 145

消耗品

節約 175

消耗品使用量カウンタ

リセット 192

消耗品使用量カウンタのリセット 192

消耗品通知

設定 148

消耗品通知を設定する 148

消耗品の状態

確認 145

消耗品を交換する

イメージングユニット 150

トナーカートリッジ 149

消耗品を節約する 175

消耗品を注文する

イメージングユニット 147

トナーカートリッジ 145

初期設定のスピーカー音量

調整 139

初期設定のスピーカー音量を調整する 139

ショートカットセンター

使用 18

ショートカットを作成する

Eメール 49

FAX 宛先 57

FTP アドレス 59

コピー 47

シリアル印刷

セットアップ 141

シリアル印刷を設定する 141

白い線 214

白のページ 195

スキナ

清掃 142

スキナを清掃する 142

スキャン

Cloud Connector プロファイル
へ 61

FTP サーバーへ 59

原稿台ガラスを使用する 59

自動原稿フィーダー(ADF)を使用する 59

スキャンして FAX サーバーに送信する 61

スキャンセンター

セットアップ 19

スキャンのトラブルシューティング

ADF からスキャンした場合に、出力紙に発生する縦方向の黒い
すじ 231

コピー品質が悪い 230

コンピュータからスキャンできない 229

スキナが反応しない 233

スキナユニットが閉じない 232

スキャンジョブが失敗した 232

スキャンに時間がかかりすぎる 232

スキャンによってコンピュータがフリーズする 232

文書や写真の一部分しかコピー
されない 230

スキャン品質の問題 231

スキャン文書に縦方向の黒い
すじ 231

スクリーンセーバーを管理する 19

スピーカー

初期設定の音量 139

スピーチ速度を調整する

音声ガイド 26

スライドショーを実行する 19

スリープモード

設定 175

清掃

プリンタの外観 142

プリンタの内部 142

セキュリティスロット

場所の特定 137

セキュリティスロットの場所 137

設定ファイルのエクスポート 73

設定ファイルをインポートする

EWS を使用する 248

設定ファイルをエクスポートする

EWS を使用する 248

節電モード

設定 175

騒音レベル 251

操作パネル

使用 15

操作パネルを使用する 15

た行

縦方向の黒い線 217

多目的フィーダー

用紙をセット 34

多目的フィーダーに用紙をセットする 34

多目的フィーダーの紙詰まり 185

多目的フィーダーのピックアップ
交換 160

着信識別サービス、FAX

接続 55

着信識別サービスに接続する 55

注文

メンテナンスキット 147

調整

スキャナ登録 233

通知 251, 252, 253, 254, 255

ディスプレイのカスタマイズ

使用 19

ディスプレイのカスタマイズを使用
する 19

ディスプレイのキーボード

使用 26

ディスプレイのカスタマイズする 19

ディレクトリリスト

印刷 44

ディレクトリリストを印刷する 44

デバイスウォータ

セットアップ 20

デバイスウォータを設定する 20

電源コードソケット 14

電源ボタンのランプ

状態について理解する 16

転写ローラー

交換 156

ドア A の紙詰まり 180

ドア C の紙詰まり 183

ドキュメント、印刷

コンピュータから 40

モバイルデバイスから 40

トナーカートリッジ

交換 149

注文 145

リサイクル 176

トナーの濃さ

調整 226

トナーの濃さを調整する 226

トナーの節約 46

トラブルシューティング

EWS を開けない 188

プリンタが応答していない 225

トラブルシューティング、FAX

FAX を受信できない 228

FAX を送受信できない 227

FAX を送信できない 228

トラブルシューティング、印刷

印刷時に封筒の封が閉じられ

る 192

印刷ジョブが印刷されない 224

紙詰まりが発生したページが再印
刷されない 195

コンフィデンシャルドキュメントお
よびその他の保持されたドキュ
メントが印刷されない 220

時間がかかる 222

ジョブが正しくないトレイから印刷
される 226

ジョブが正しくない用紙で印刷さ
れる 226

正しくないマージン 202

トレイのリンクが動作しない 193

頻繁な紙詰まり 194

部単位印刷が動作しない 193

トラブルシューティング、印刷品質

印刷後の背景がグレーにな

る 200

印刷が薄い 202

印刷が傾いたり歪んだりしてい
る 207

印刷が濃い 196

空白または白のページ 195

繰り返し発生する異常 220

細かい線が正しく印刷されな
い 198

縦方向の薄い帯 213

縦方向の黒い帯 214

縦方向の黒いすじが現れて印刷
が抜ける 218

縦方向の黒い線 217

縦方向の白い線 214

テキストまたは画像が切り取られ
る 210

トナーがはがれ落ちる 211

ページが真っ黒になる 207

まだらな印刷やドット 204

用紙が折れ曲がったりしわがよっ
たりする 199

用紙が巻いてしまう 205

横方向の薄い帯 212

トラブルシューティング、コピー

コピー品質が悪い 230

スキャナが反応しない 233

スキャナユニットが閉じない 232

文書や写真の一部分しかコピー
されない 230

トラブルシューティング、スキャン

ADF からスキャンした場合に、出
力紙に発生する縦方向の黒い
すじ 231

コピー品質が悪い 230

コンピュータからスキャンできな
い 229

スキャナが反応しない 233

スキャナユニットが閉じない 232

スキャンジョブが失敗した 232

文書や写真の一部分しかコピー
されない 230

トラブルシューティング、プリンタオ
プション

内蔵オプションが検出されな
い 190

トレイ

用紙をセット 27

トレイの紙詰まり 180

トレイのリンク 35

トレイのリンク解除 35

トレイを取り付ける 244

な行

内蔵オプション

内蔵ソリューションポート 235

ファームウェアカード 235

フォントカード 235

フラッシュメモリ 235

プリンタハードディスク 235, 239

内蔵オプション、追加

プリントドライバ 248

内蔵オプションを追加する

プリントドライバ 248

内蔵ソリューションポート

設置 240

内部オプションが検出されませ
ん 190

夏時間、構成 56

夏時間を構成する 56

日時

FAX 設定 56

ネット設定ページ

印刷 190

ネット設定ページを印刷する 190

は行

排出に関する通知 251, 255
ハイバネートモード
 設定 175
ハードウェアオプション
 設置 240, 245
 トレイ 244
 メモ리카ード 236
ハードウェアオプション、追加
 プリントドライバ 248
ハードウェアオプションを追加する
 プリントドライバ 248
ピックアップローラー
 交換 159
ファームウェア
 更新 249
ファームウェアを更新する
 フラッシュファイル 249
封筒
 用紙をセット 34
フォルダを作成する
 ブックマーク 22
フォントサンプルリスト
 印刷 44
フォントサンプルリストを印刷する 44
不揮発性メモリ 138
 消去 137
複数のページをコピーする
 1 枚の用紙へ 46
部単位印刷が動作しない 193
部単位印刷する 46
ブックマーク
 作成 21
 フォルダを作成する 22
ブックマークを作成する 21
プッシュボタン方式 140
部品と消耗品の状態を確認する 145
部品の状態
 確認 145
部品を交換する
 ADF 区切りローラー 168
 ADF トルクリミッタ 171
 ADF ピックローラー 162
 転写ローラー 156
 ピックアップローラー 159
 フューザー 152
 ホットロールフューザー 154
フューザー
 交換 152

フラッシュメモリ
 印刷 41
 スキャンする 60
フラッシュメモリから印刷する 41
フラッシュメモリにスキャンする 60
フラッシュメモリ不良 191
フラッシュメモリを読み取れない
 トラブルシューティング、印刷 189
プリンタ
 移動 11
 最小スペース 11
 設置場所を選択する 11
 搬送 174
プリンタオプションのトラブルシューティング
 内蔵オプションが検出されない 190
プリンタが応答していない 225
プリンタ構成 12
プリンタ周辺の温度 252
プリンタ周辺の湿度 252
プリンタ情報
 確認 10
プリンタ設定
 工場出荷状態に復元する 138
プリンタソフトウェアをインストールする 248
プリンタディスプレイ
 明るさを調整する 175
プリンタディスプレイの明るさを調整する 175
プリンタに関する詳細情報を見つける 10
プリンタの状態 16
プリンタの清掃 142
プリンタの設置場所を選択する 11
プリンタハードディスク
 暗号化 137
 設置 239
プリンタハードディスクメモリ 138
 消去 137
プリンタハードディスクメモリを消去する 137
プリンタポート 14
プリンタポート設定
 変更 141
プリンタメッセージ
 Lexmark 以外の消耗品 192
 カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致 191
 フラッシュメモリ不良 191

未フォーマットフラッシュメモリ検出 191
リソースのフラッシュメモリ空き領域が足りない 191
プリンタメニュー 62, 73
プリンタメモリを消去する 138
プリンタメモリを保護する 138
プリンタを移動する 11, 174
プリンタを接続する
 ワイヤレスネットワークに 139
プリンタを搬送する 174
プリントドライバ
 ハードウェアオプション、追加 248
ヘルプメニュー 135
ホットロールフューザー
 交換 154
ホーム画面
 アイコンの表示 18
 カスタマイズ 18
ホーム画面アイコンの表示 18
ホーム画面のアイコン
 使用 17
 表示 18
ホーム画面を使用する 17
保留ジョブ 43
 Macintosh コンピュータから印刷する 43
 Windows から印刷する 43

ま行

未フォーマットフラッシュメモリ検出 191
迷惑 FAX のブロック 58
メニュー
 802.1x 122
 E メール初期値設定 99
 E メール設定 98
 FAX 135
 FAX カバーシートページ 94
 FAX サーバー E メール設定 96
 FAX サーバースキャン設定 97
 FAX 受信設定 91
 FAX 送信設定 88
 FAX モード 86
 FAX ログ設定 94
 FTP 初期値設定 105
 Google クラウドプリント 125
 HTML 80
 HTTP/FTP の設定 123
 IPSec 121
 Lexmark に送信される情報 68

LPD 構成設定 122
PCL 78
PDF 78
PostScript 78
SNMP 120
TCP/IP 118
ThinPrint 124
USB 124
Web リンク設定 104
wifi ダイレクト 125
XPS 77
イーサネット 117
一時データファイルの消去 133
一般 FAX 設定 86, 95
イメージ 80
印刷 134
印刷品質 75
遠隔操作パネル 64
カスタムスキャンサイズ 82
基本設定 63
権限を管理 126
工場出荷状態に復元 69
コピー初期設定 83
コンフィデンシャル印刷設定 132
ショートカット 135
ジョブアカウント情報 76
スピーカー設定 95
セキュリティ監査ログ 129
設定 74
設定メニュー 69
その他 134
ソリューション LDAP 設定 133
通知 65
データ完全消去 72
デバイス 134
電源管理 67
トラブルシューティング 136
トレイ構成設定 81
ネットワーク 135
ネットワークの概要 114
表示されたホーム画面のアイコン 73
標準設定のログイン方式 128
フラッシュドライブスキャン 109
フラッシュドライブプリント 113
メニュー設定ページ 134
モバイルサービスの管理 133
ユーザー補助機能 68
ユニバーサル設定 81
用紙の種類 82
レイアウト 73
ローカルアカウント 128

ログイン制限 131
ワイヤレス 114
USB デバイスをスケジュー
ル 129
このプリンタについて 73
ディスク暗号化 133
メニュー設定ページ
印刷 136
メニューマップ 62
メモリカード
設置 236
メモリカードを取り付ける 236
メンテナンスキット
注文 147
モバイルデバイス
印刷 40, 41

や行

歪んだ印刷 207
ユニバーサル用紙サイズ
設定 27
ユニバーサル用紙サイズを設定す
る 27
用紙
ユニバーサルサイズ設定 27
用紙サイズ
設定 27
用紙サイズを設定する 27
用紙節約 46
用紙タイプ
設定 27
サポート 38
用紙タイプを設定する 27
用紙にしわがよる 199
用紙の折れ曲がり 199
用紙をセット
2100 枚トレイ 30
2100 枚トレイのレターヘッド
紙 30
用紙をトレイにセットする 27
予約印刷ジョブ
Macintosh コンピュータから印刷
する 43
Windows から印刷する 43

ら行

リサイクル
Lexmark 梱包 176
Lexmark 製品 176
トナーカートリッジ 176

リセット
消耗品使用量カウンタ 192
リソースのフラッシュメモリ空き領域
が足りない 191
両面コピー 46
留守番電話
セットアップ 51
レターヘッド紙
コピー 45
用紙をセット 27, 34
用紙をセット、2100 枚トレイ 30
レターヘッド紙にコピーする 45
連絡先
削除 23
追加 22
編集 23
連絡先を削除する 23
連絡先を追加する 22
連絡先を編集する 23

わ行

ワイヤレスネットワーク 139
Wi-Fi Protected Setup 140
プリンタに接続する 139
ワイヤレスネットワークに接続する
暗証番号方式を使用する 140
プッシュボタン方式を使用す
る 140